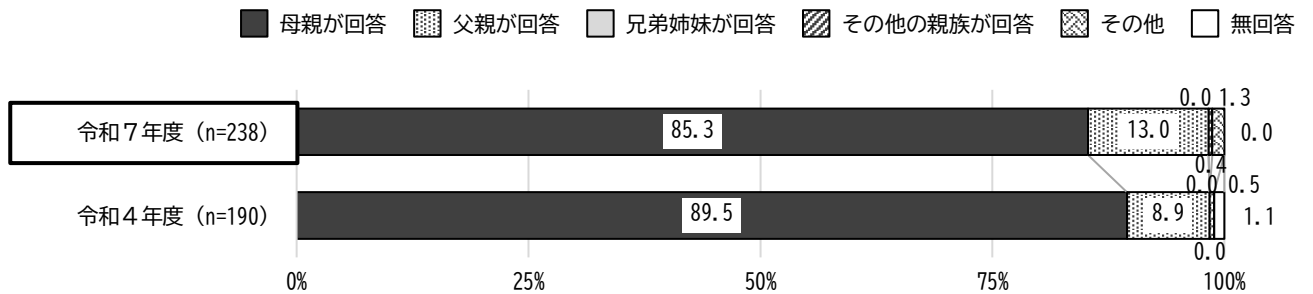


B 障がい児調査

1. 回答者について

問1 この調査票に回答するのは誰ですか。お子さん（宛名の方）から見た関係でお答えください。（単一回答）

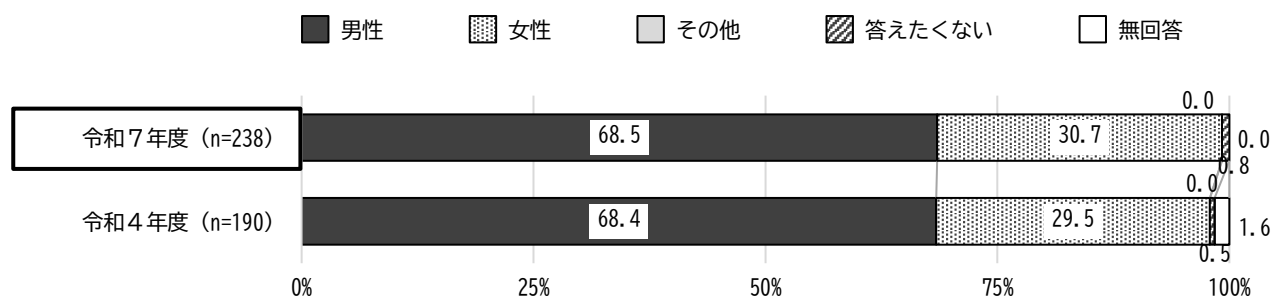
回答者について前回調査から「母親」が減少する一方、「父親」が増加し1割を超えています。



2. ご自身のことや生活について

問2 お子さん（宛名の方）の性別をご回答ください。（単一回答）

性別について前回調査から概ねそれぞれの割合に変化はなく、「男性」が約7割、「女性」が約3割となっています。

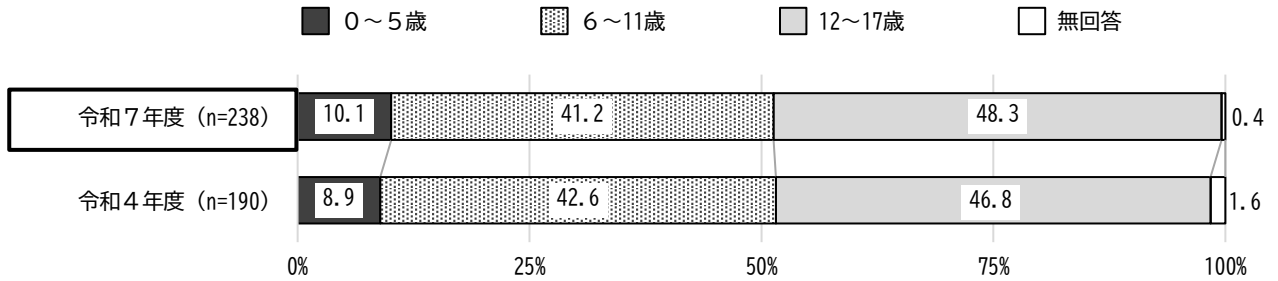


■ 年齢・手帳の種類 (単位：%)

		回答者数	男性	女性	答えたくない
全体		238	68.5	30.7	0.8
年齢	0～5歳	24	66.7	33.3	0.0
	6～11歳	98	68.4	30.6	1.0
	12～17歳	115	68.7	30.4	0.9
手帳の種類	身体障がい	58	55.2	43.1	1.7
	知的障がい	178	71.3	28.1	0.6
	精神障がい	19	73.7	26.3	0.0
	難病	25	48.0	48.0	4.0

問3 お子さん（宛名の方）の年齢をご回答ください。（9月1日現在、単一回答）

年齢について前回調査から概ねそれぞれの割合に変化はなく、「0～5歳」が約1割、「6～11歳」が約4割、「12～17歳」が約5割となっています。



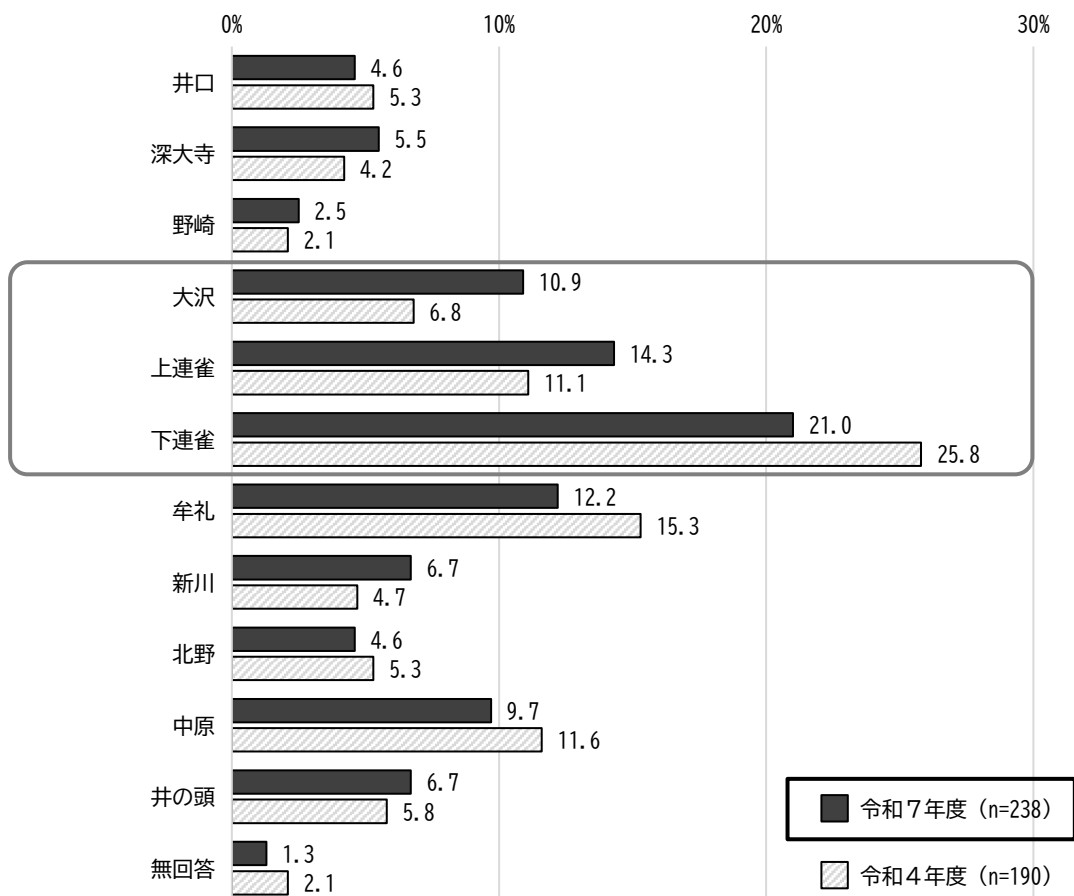
■ 性別・手帳の種類 (単位：%)

		回答者数	0～5歳	6～11歳	12～17歳
全体		238	10.1	41.2	48.3
性別	男性	163	9.8	41.1	48.5
	女性	73	11.0	41.1	47.9
手帳の種類	身体障がい	58	15.5	32.8	51.7
	知的障がい	178	9.0	42.7	47.8
	精神障がい	19	0.0	47.4	52.6
	難病	25	8.0	36.0	56.0

B 障がい児調査 2. ご自身のことや生活について

問4 お子さん（宛名の方）が住んでいる地域はどこですか。（単一回答）

住んでいる地域について「下連雀」が前回調査から減少し約2割となる一方、「上連雀」が増加し1割を超え、「大沢」も増加し約1割となっています。



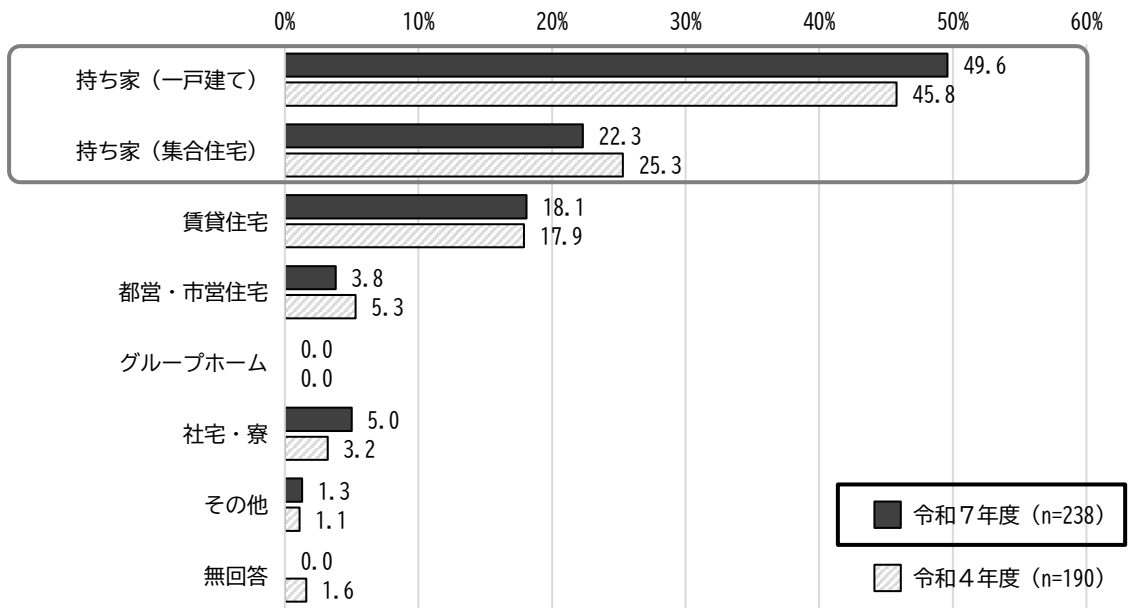
■ 性別・年齢・手帳の種類

(単位：%)

		回答者数	井口	深大寺	野崎	大沢	上連雀	下連雀	牟礼	新川	北野	中原	井の頭
全体		238	4.6	5.5	2.5	10.9	14.3	21.0	12.2	6.7	4.6	9.7	6.7
性別	男性	163	4.3	5.5	2.5	12.3	12.3	25.8	10.4	5.5	5.5	10.4	4.3
	女性	73	4.1	5.5	2.7	8.2	19.2	11.0	16.4	9.6	2.7	8.2	11.0
年齢	0～5歳	24	8.3	4.2	0.0	4.2	20.8	33.3	8.3	12.5	4.2	0.0	4.2
	6～11歳	98	4.1	6.1	2.0	10.2	14.3	22.4	12.2	7.1	7.1	10.2	3.1
	12～17歳	115	4.3	5.2	3.5	13.0	13.0	17.4	13.0	5.2	2.6	10.4	10.4
手帳の種類	身体障がい	58	3.4	6.9	1.7	8.6	13.8	17.2	10.3	12.1	3.4	8.6	10.3
	知的障がい	178	4.5	5.6	2.2	11.8	15.7	20.2	12.4	5.1	5.1	9.6	6.2
	精神障がい	19	5.3	0.0	10.5	10.5	0.0	26.3	10.5	10.5	5.3	21.1	0.0
	難病	25	12.0	8.0	0.0	8.0	12.0	16.0	4.0	16.0	4.0	4.0	12.0

問5 お子さん(宛名の方)の現在の住居は、どれですか。(単一回答)

現在の住居について「持ち家(一戸建て)」が前回調査より増加し約5割となる一方、「持ち家(集合住宅)」が減少し2割となっています。



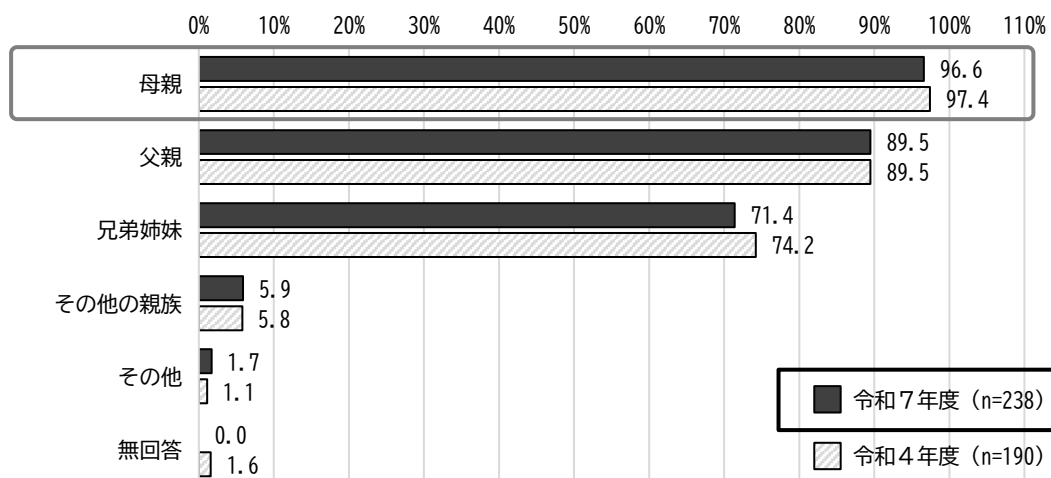
■ 性別・年齢・手帳の種類 (単位：%)

		回答者数	持ち家(一戸建て)	持ち家(集合住宅)	賃貸住宅	都営・市営住宅	グループホーム	社宅・寮
全体		238	49.6	22.3	18.1	3.8	0.0	5.0
性別	男性	163	49.1	23.9	17.8	3.7	0.0	4.3
	女性	73	50.7	17.8	19.2	4.1	0.0	6.8
年齢	0～5歳	24	20.8	20.8	33.3	4.2	0.0	20.8
	6～11歳	98	48.0	21.4	23.5	4.1	0.0	3.1
	12～17歳	115	57.4	23.5	10.4	2.6	0.0	3.5
手帳の種類	身体障がい	58	46.6	25.9	13.8	1.7	0.0	12.1
	知的障がい	178	51.7	21.9	16.9	4.5	0.0	3.9
	精神障がい	19	42.1	15.8	36.8	0.0	0.0	0.0
	難病	25	20.0	32.0	32.0	4.0	0.0	12.0

B 障がい児調査 2. ご自身のことや生活について

問6 お子さん（宛名の方）と一緒に暮らしているのは誰ですか。（複数回答）

一緒に暮らしている人について前回調査から概ねそれぞれの割合に変化はなく、「母親」が10割弱、「父親」が約9割となっています。



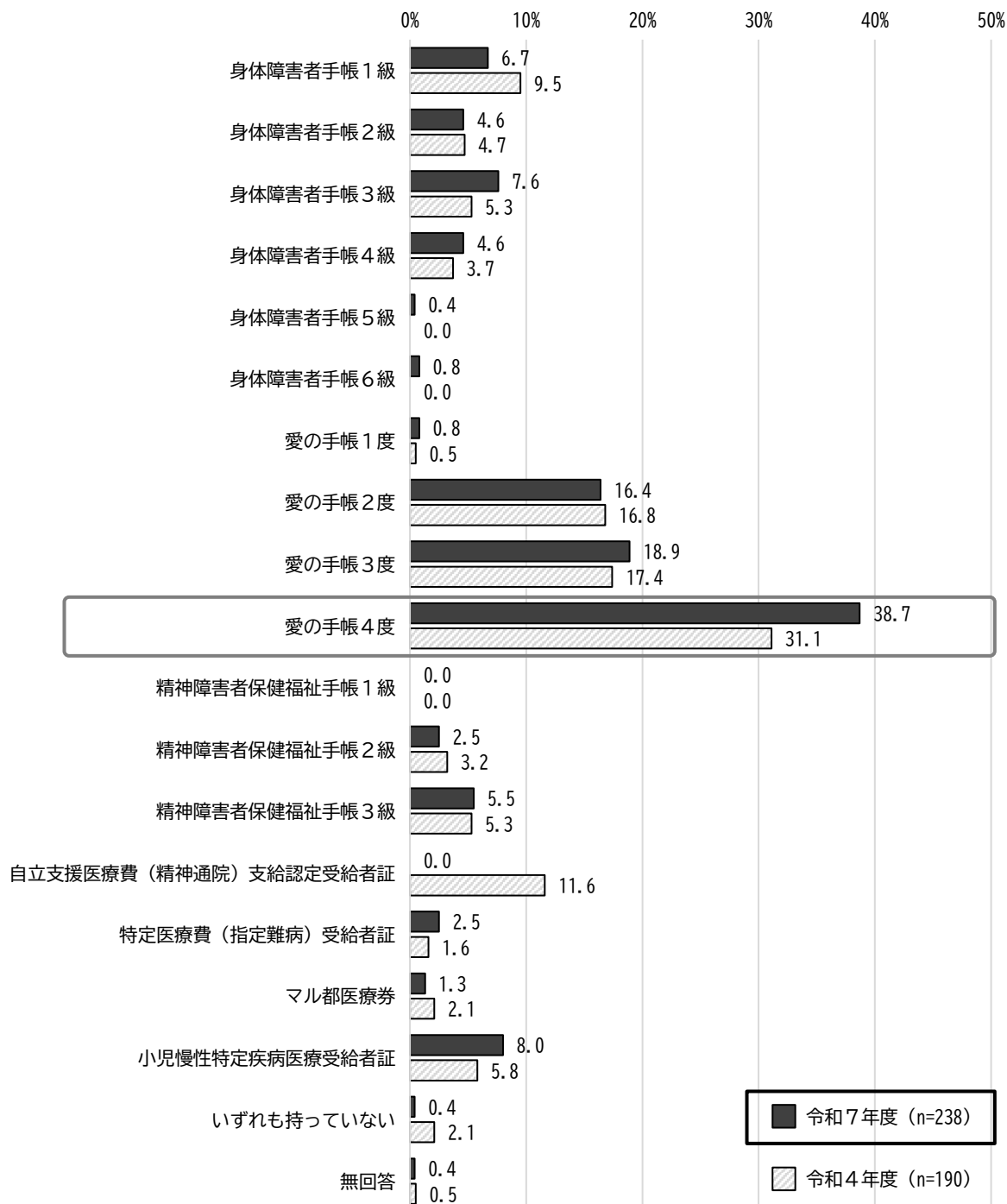
■ 性別・年齢・手帳の種類 (単位：%)

		回答者数	母親	父親	兄弟姉妹	その他の親族
全体		238	96.6	89.5	71.4	5.9
性別	男性	163	96.3	90.8	68.1	5.5
	女性	73	97.3	86.3	78.1	6.8
年齢	0～5歳	24	100.0	91.7	54.2	4.2
	6～11歳	98	98.0	90.8	73.5	3.1
	12～17歳	115	95.7	88.7	73.9	8.7
手帳の種類	身体障がい	58	100.0	91.4	70.7	0.0
	知的障がい	178	96.1	91.0	71.9	6.2
	精神障がい	19	94.7	78.9	63.2	10.5
	難病	25	100.0	88.0	68.0	0.0

3. 障がいの状況について

問7 お子さん（宛名の方）がお持ちの手帳等はどれですか。（複数回答）

所持している手帳について「愛の手帳4度」が前回調査より増加し約4割となっています。



B 障がい児調査 3. 障がいの状況について

■ 性別・年齢・手帳の種類

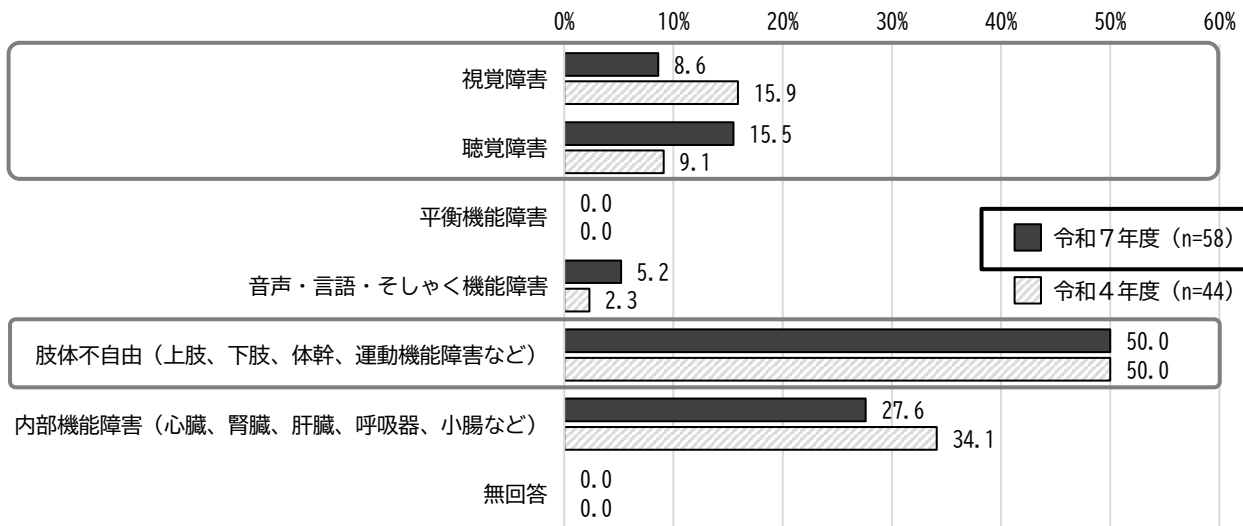
(単位：%)

		回答者数	身体障害者手帳1級	身体障害者手帳2級	身体障害者手帳3級	身体障害者手帳4級	身体障害者手帳5級	身体障害者手帳6級	愛の手帳1度	愛の手帳2度	愛の手帳3度	愛の手帳4度	精神障害者保健福祉手帳1級	精神障害者保健福祉手帳2級	精神障害者保健福祉手帳3級	自立支援医療費(精神通院)支給認定受給者証	特定医療費(指定難病)受給者証	マル都医療券	小児慢性特定疾病医療受給者証	いずれも持っていない
全体		238	6.7	4.6	7.6	4.6	0.4	0.8	0.8	16.4	18.9	38.7	0.0	2.5	5.5	0.0	2.5	1.3	8.0	0.4
性別	男性	163	6.7	1.8	7.4	2.5	0.6	1.2	1.2	19.6	19.0	38.0	0.0	2.5	6.1	0.0	1.8	0.6	6.1	0.6
	女性	73	5.5	11.0	8.2	9.6	0.0	0.0	0.0	8.2	19.2	41.1	0.0	2.7	4.1	0.0	4.1	2.7	11.0	0.0
年齢	0～5歳	24	8.3	8.3	16.7	4.2	0.0	0.0	0.0	8.3	20.8	37.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	4.2	8.3	0.0
	6～11歳	98	8.2	3.1	4.1	3.1	0.0	1.0	2.0	14.3	23.5	37.8	0.0	2.0	7.1	0.0	1.0	2.0	7.1	0.0
	12～17歳	115	5.2	5.2	8.7	6.1	0.9	0.9	0.0	19.1	14.8	40.0	0.0	3.5	5.2	0.0	4.3	0.0	8.7	0.9
手帳の種類	身体障がい	58	27.6	19.0	31.0	19.0	1.7	3.4	0.0	15.5	8.6	10.3	0.0	0.0	1.7	0.0	3.4	5.2	25.9	0.0
	知的障がい	178	1.7	2.8	2.8	3.4	0.0	0.6	1.1	21.9	25.3	51.7	0.0	0.0	1.1	0.0	0.6	1.1	5.1	0.0
	精神障がい	19	0.0	0.0	0.0	5.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	10.5	0.0	31.6	68.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	難病	25	28.0	16.0	24.0	4.0	0.0	0.0	0.0	12.0	24.0	8.0	0.0	0.0	0.0	0.0	24.0	12.0	76.0	0.0

※身体障害者手帳をお持ちの方にお聞きします。

問7-1 手帳に記載されている障がいは何ですか。(複数回答)

身体障害者手帳を所持している方の障がいについて「肢体不自由（上肢、下肢、体幹、運動機能障害など）」が最も多く5割となっています。また、「聴覚障害」が前回調査より増加し1割を超える一方、「視覚障害」が減少し約1割となっています。



■ 性別・年齢・手帳の種類

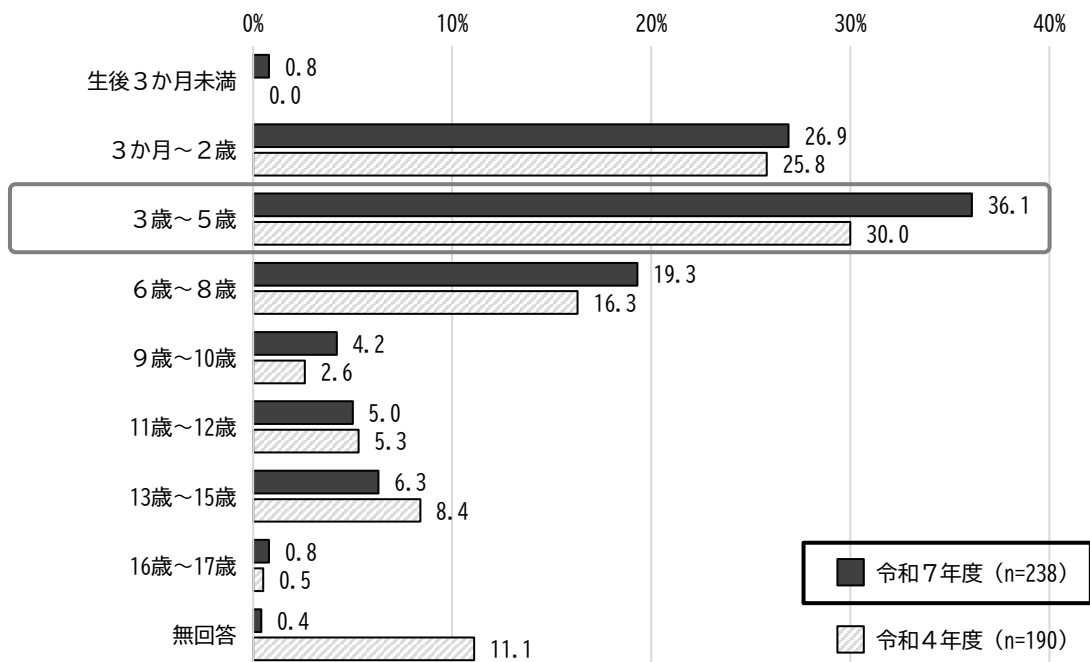
(単位：%)

		回答者数	視覚障害	聴覚障害	平衡機能障害	音声・言語・そしゃく機能障害	肢体不自由 (上肢、下肢、体幹、運動機能障害など)	内部機能障害 (心臓、腎臓、肝臓、呼吸器、小腸など)
全体		58	8.6	15.5	0.0	5.2	50.0	27.6
性別	男性	32	12.5	18.8	0.0	3.1	40.6	31.3
	女性	25	4.0	12.0	0.0	8.0	64.0	20.0
年齢	0～5歳	9	11.1	55.6	0.0	0.0	33.3	0.0
	6～11歳	19	0.0	10.5	0.0	5.3	52.6	36.8
	12～17歳	30	13.3	6.7	0.0	6.7	53.3	30.0
手帳の種類	身体障がい	58	8.6	15.5	0.0	5.2	50.0	27.6
	知的障がい	20	5.0	5.0	0.0	5.0	60.0	30.0
	精神障がい	1	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
	難病	18	5.6	0.0	0.0	5.6	38.9	61.1

B 障がい児調査 3. 障がいの状況について

問8 お子さん（宛名の方）が、はじめて手帳を取得したのは、いつですか。（単一回答）

はじめて手帳を取得した年齢について「3歳～5歳」が前回調査より増加し3割を超えています。



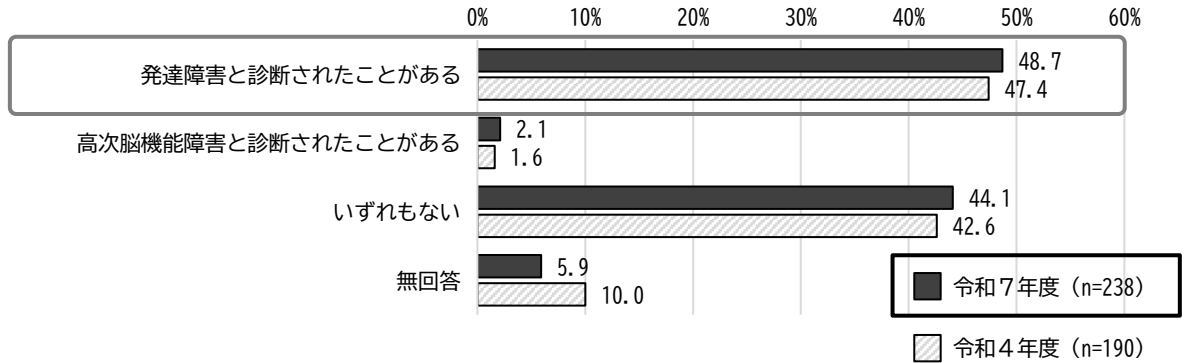
■ 性別・年齢・手帳の種類

(単位：%)

		回答者数	生後3か月未満	3か月～2歳	3歳～5歳	6歳～8歳	9歳～10歳	11歳～12歳	13歳～15歳	16歳～17歳
全体		238	0.8	26.9	36.1	19.3	4.2	5.0	6.3	0.8
性別	男性	163	0.0	25.8	36.2	22.7	4.3	4.3	5.5	0.6
	女性	73	2.7	28.8	35.6	12.3	4.1	6.8	8.2	1.4
年齢	0～5歳	24	0.0	66.7	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	6～11歳	98	1.0	23.5	44.9	24.5	5.1	1.0	0.0	0.0
	12～17歳	115	0.9	20.9	29.6	19.1	4.3	9.6	13.0	1.7
手帳の種類	身体障がい	58	1.7	51.7	32.8	6.9	3.4	1.7	1.7	0.0
	知的障がい	178	0.6	23.0	43.3	18.5	3.9	3.9	5.1	1.1
	精神障がい	19	0.0	0.0	5.3	42.1	10.5	15.8	26.3	0.0
	難病	25	0.0	48.0	28.0	8.0	4.0	12.0	0.0	0.0

問9 お子さん（宛名の方）は、発達障害、高次脳機能障害と診断されたことがありますか。（複数回答）

発達障害や高次脳機能障害と診断されたことがある人について前回調査から概ねそれぞれの割合に変化は見られず、「発達障害」が約5割となっています。



■ 性別・年齢・手帳の種類 (単位：%)

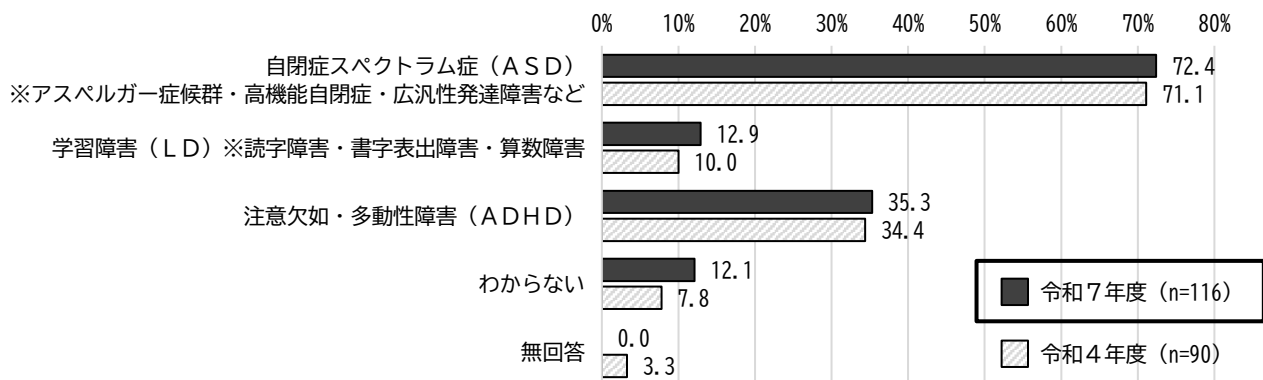
		回答者数	発達障害と診断されたことがある	高次脳機能障害と診断されたことがある	いずれもない
全体		238	48.7	2.1	44.1
性別	男性	163	55.2	1.2	37.4
	女性	73	35.6	4.1	57.5
年齢	0～5歳	24	33.3	0.0	66.7
	6～11歳	98	57.1	1.0	36.7
	12～17歳	115	44.3	3.5	46.1
手帳の種類	身体障がい	58	20.7	3.4	74.1
	知的障がい	178	55.1	1.7	38.2
	精神障がい	19	78.9	0.0	5.3
	難病	25	32.0	4.0	64.0

B 障がい児調査 3. 障がいの状況について

※「発達障害と診断されたことがある」と回答した方にお聞きします。

問9-1 診断されたのはどれですか。(複数回答)

発達障害と診断されたことがある人の診断名について前回調査から概ねそれぞれの割合に変化は見られず、「自閉症スペクトラム症」が約7割、「注意欠如・多動性障害」が3割を超え、「学習障害」が1割を超えています。

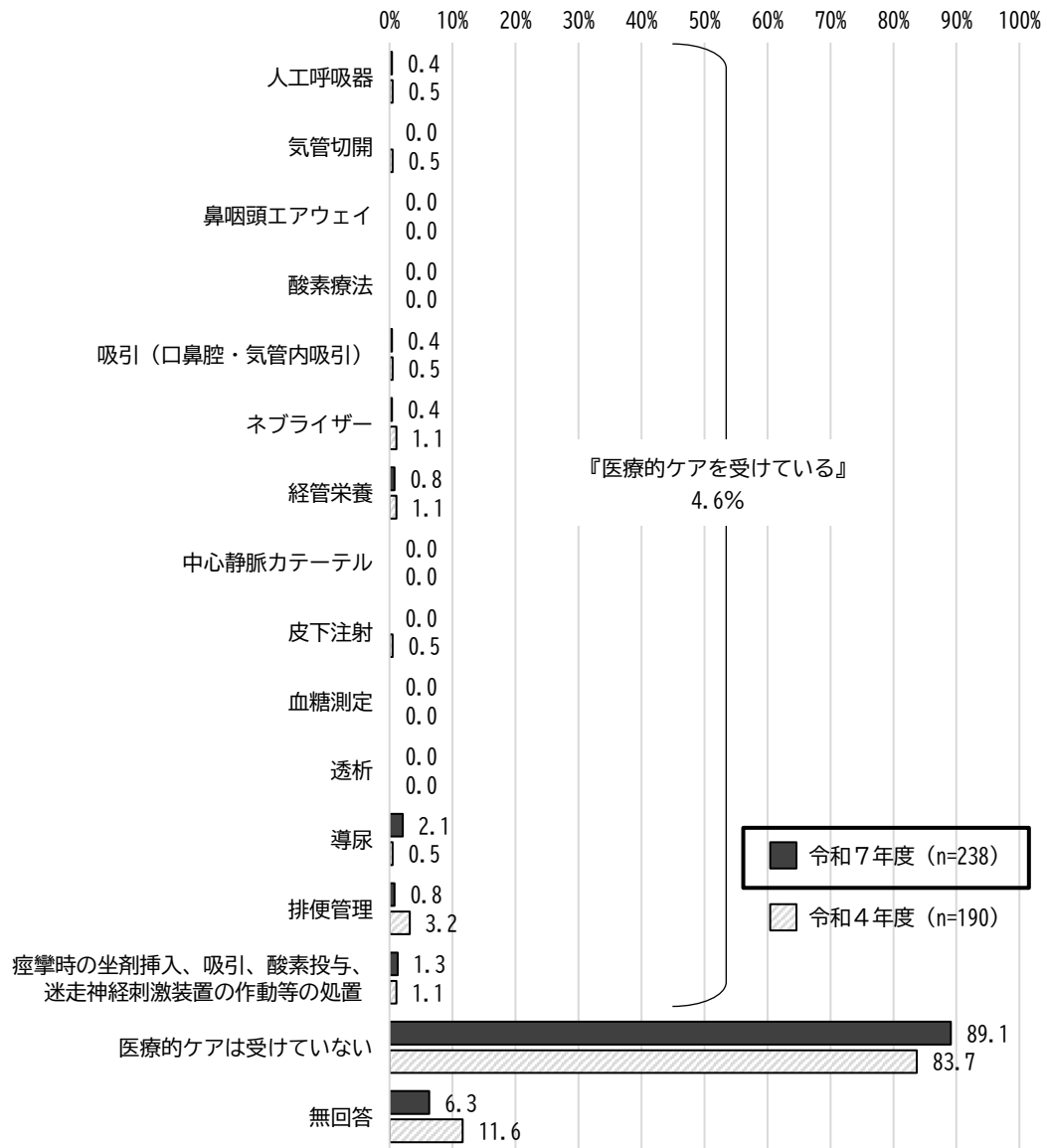


■ 性別・年齢・手帳の種類 (単位：%)

		回答者数	自閉症スペクトラム症 (ASD) ※アスペルガー症候群・高機能自閉症・広汎性発達障害など	学習障害 (LD) ※読字障害・書字表出障害・算数障害	注意欠如・多動性障害 (ADHD)	わからない
全体		116	72.4	12.9	35.3	12.1
性別	男性	90	75.6	12.2	40.0	8.9
	女性	26	61.5	15.4	19.2	23.1
年齢	0～5歳	8	62.5	0.0	0.0	37.5
	6～11歳	56	80.4	5.4	28.6	10.7
	12～17歳	51	66.7	23.5	47.1	9.8
手帳の種類	身体障がい	12	58.3	25.0	33.3	16.7
	知的障がい	98	71.4	13.3	30.6	12.2
	精神障がい	15	66.7	20.0	73.3	13.3
	難病	8	62.5	12.5	50.0	25.0

問10 お子さん（宛名の方）は、現在、次の医療的ケアを受けていますか。（複数回答）

医療的ケアを受けている人について前回調査からほとんど変化はなく、約0.5割となっています。



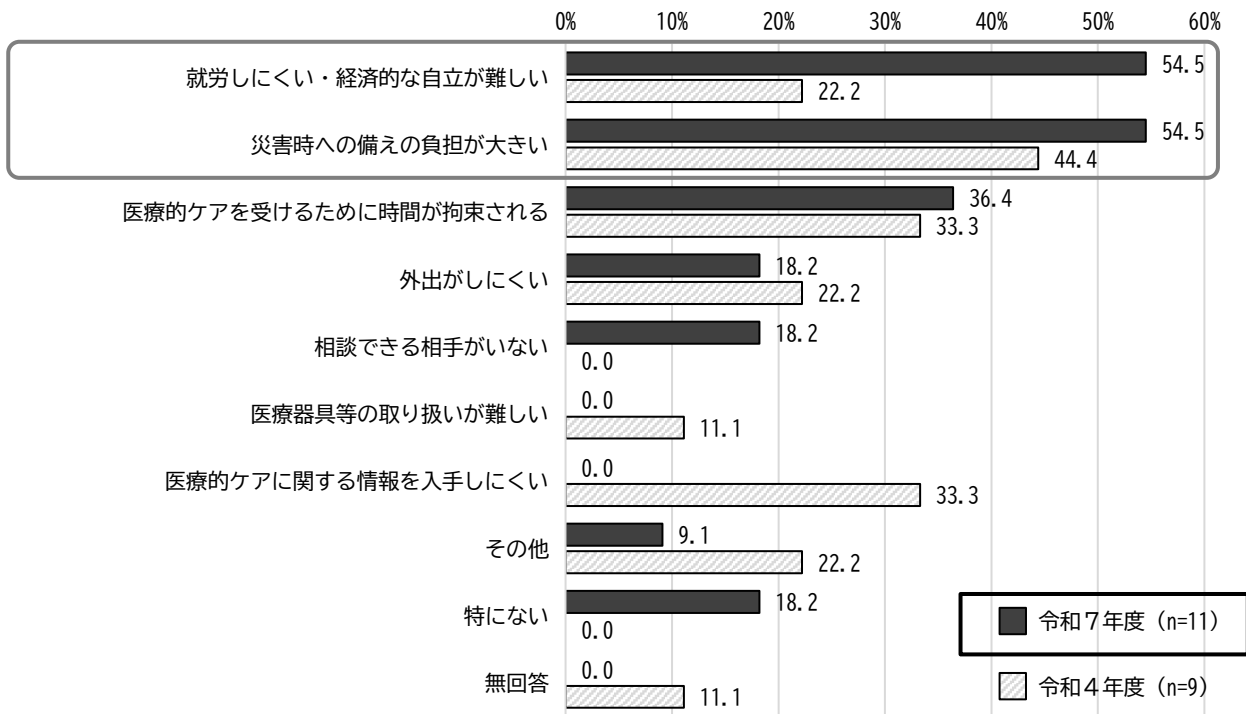
『医療的ケアを受けている』 = 100.0 - 「医療的ケアは受けていない」 - 「無回答」

B 障がい児調査 3. 障がいの状況について

※医療的ケアを受けている方にお聞きします。

問10-1 医療的ケアを受けていることで、困っていることは何ですか。(複数回答)

医療的ケアを受けていることで、困っていることについて、「就労しにくい・経済的な自立が難しい」「災害時への備えの負担が大きい」がともに最も多く5割を超えています。



性別・年齢・手帳の種類

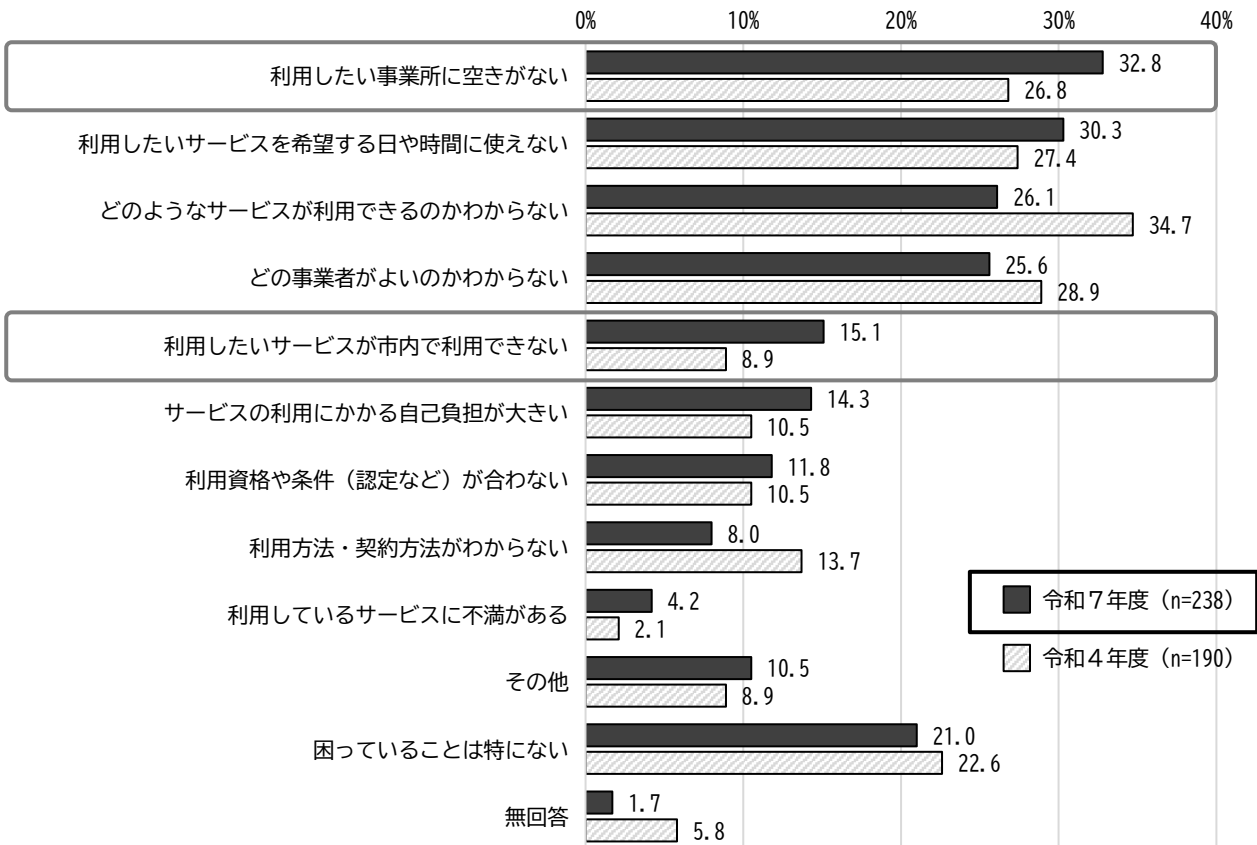
(単位：%)

		回答者数	就労しにくい・経済的な自立が難しい	災害時への備えの負担が大きい	医療的ケアを受けるために時間が拘束される	外出がしにくい	相談できる相手がいない	医療器具等の取り扱いが難しい	医療的ケアに関する情報を入手しにくい	特になし
全体		11	54.5	54.5	36.4	18.2	18.2	0.0	0.0	18.2
性別	男性	8	62.5	50.0	50.0	12.5	12.5	0.0	0.0	12.5
	女性	3	33.3	66.7	0.0	33.3	33.3	0.0	0.0	33.3
年齢	0～5歳	1	100.0	100.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	6～11歳	4	50.0	50.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0
	12～17歳	6	50.0	50.0	50.0	16.7	33.3	0.0	0.0	0.0
手帳の種類	身体障がい	9	55.6	55.6	22.2	22.2	11.1	0.0	0.0	22.2
	知的障がい	3	66.7	33.3	66.7	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0
	精神障がい	1	0.0	0.0	100.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
	難病	4	75.0	75.0	25.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0

4. 障がい福祉サービスの利用について

問11 障がい福祉サービスを利用するにあたって、困っていることは何ですか。
(複数回答)

障がい福祉サービスを利用するにあたって、困っていることについて、「利用したい事業所に空きがない」が前回調査より増加し3割を超えており、他の年代と比べて「6～11歳」で多くなっています。また、「利用したいサービスが市内で利用できない」も増加し1割を超えており、他の手帳保持者と比べて「身体障がい」手帳保持者で多くなっています。



「その他」・・・事業所が少ない、利用が限られている、など

B 障がい児調査 4. 障がい福祉サービスの利用について

■ 性別・年齢・手帳の種類

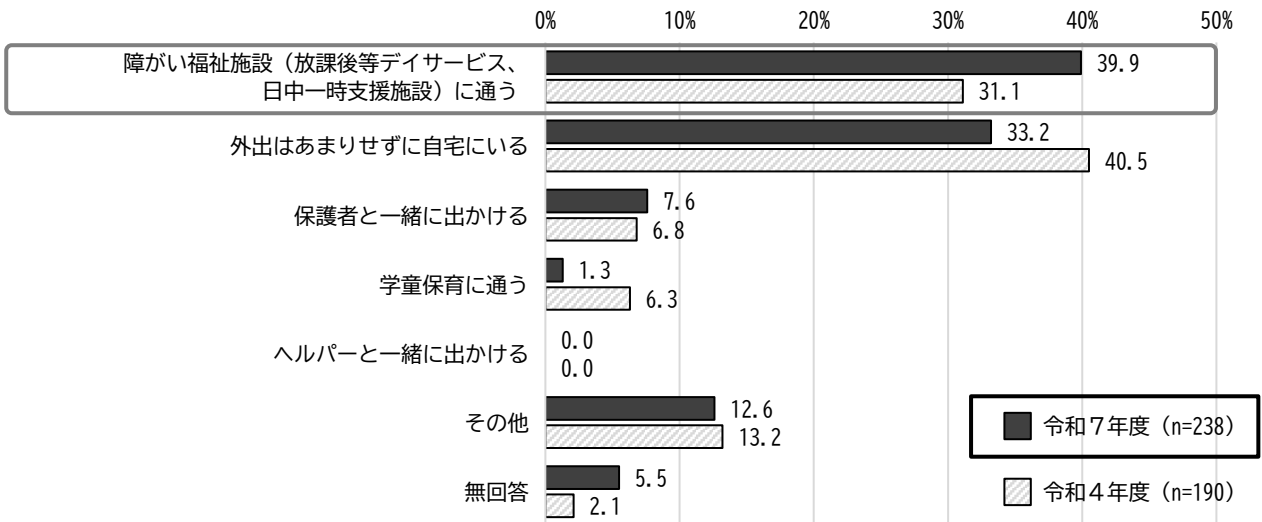
(単位：%)

		回答者数	利用したい事業所に空きがない	利用したいサービスを希望する日や時間に使えない	どのようなサービスが利用できるのかわからない	どの事業者がよいのかわからない	利用したいサービスが市内で利用できない	サービスの利用にかかる自己負担が大きい	利用資格や条件(認定など)が合わない	利用方法・契約方法がわからない	利用しているサービスに不満がある	困っていることは特にない
全 体		238	32.8	30.3	26.1	25.6	15.1	14.3	11.8	8.0	4.2	21.0
性別	男性	163	31.9	33.7	25.2	25.8	16.6	14.1	10.4	6.1	3.7	19.6
	女性	73	35.6	21.9	27.4	26.0	11.0	15.1	15.1	12.3	5.5	24.7
年齢	0～5歳	24	16.7	16.7	29.2	41.7	8.3	4.2	12.5	16.7	0.0	29.2
	6～11歳	98	48.0	36.7	25.5	20.4	19.4	21.4	11.2	6.1	5.1	15.3
	12～17歳	115	22.6	27.8	26.1	27.0	13.0	10.4	12.2	7.8	4.3	24.3
手帳の種類	身体障がい	58	24.1	29.3	31.0	19.0	22.4	12.1	22.4	12.1	6.9	19.0
	知的障がい	178	36.5	33.1	25.3	29.2	16.9	16.3	10.7	7.9	3.9	18.0
	精神障がい	19	26.3	21.1	21.1	15.8	15.8	10.5	15.8	0.0	0.0	31.6
	難病	25	28.0	28.0	44.0	28.0	16.0	4.0	24.0	12.0	4.0	12.0

5. 日中の過ごし方（教育や社会活動など）について

問12 お子さん（宛名の方）は、放課後などは主にどのように過ごしていますか。
（単一回答）

放課後などに過ごす場所について「障がい福祉施設（放課後等デイサービス、日中一時支援施設）に通う」が前回調査より増加し約4割となっています。



「その他」・・・学童、塾、習い事、など

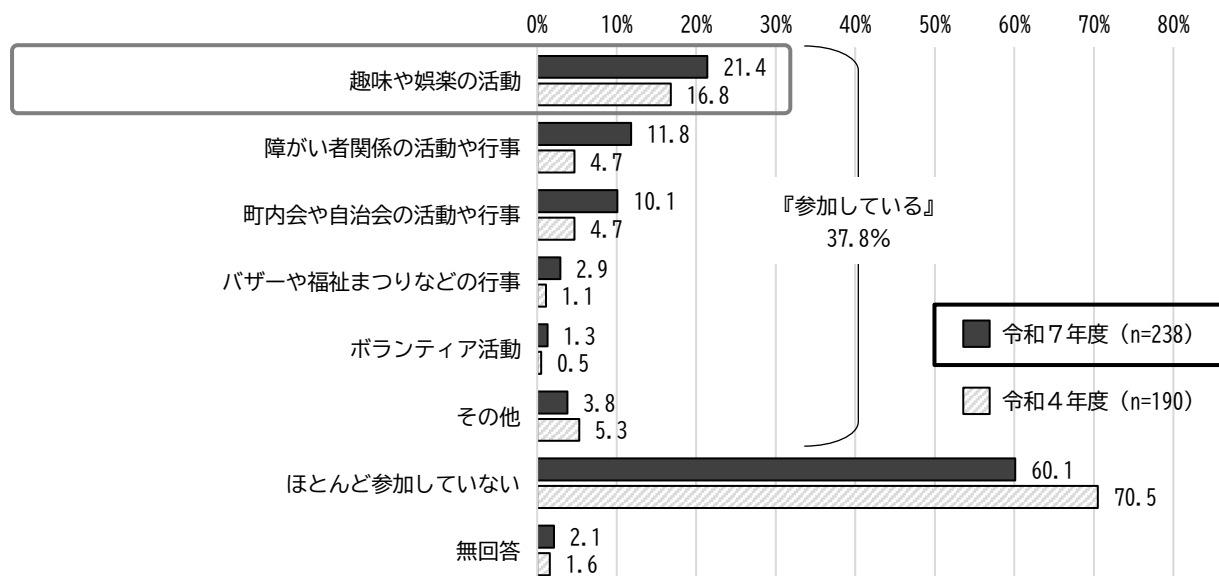
■ 性別・年齢・手帳の種類 (単位：%)

		回答者数	障がい福祉施設（放課後等デイサービス、日中一時支援施設）に通う	外出はあまりせずに自宅にいる	保護者と一緒に出かける	学童保育に通う	ヘルパーと一緒に外へ出かける
全体		238	39.9	33.2	7.6	1.3	0.0
性別	男性	163	42.3	31.9	9.2	0.6	0.0
	女性	73	34.2	37.0	4.1	2.7	0.0
年齢	0～5歳	24	12.5	37.5	29.2	0.0	0.0
	6～11歳	98	51.0	21.4	8.2	3.1	0.0
	12～17歳	115	36.5	42.6	1.7	0.0	0.0
手帳の種類	身体障がい	58	29.3	34.5	8.6	0.0	0.0
	知的障がい	178	47.8	28.7	7.3	1.7	0.0
	精神障がい	19	10.5	68.4	0.0	0.0	0.0
	難病	25	36.0	36.0	0.0	0.0	0.0

B 障がい児調査 5. 日中の過ごし方(教育や社会活動など)について

問13 お子さん(宛名の方)は、学校等の行事のほかに、地域ではどのような活動や行事に参加されていますか。(複数回答)

地域での活動や行事に『参加している』人は前回調査から増加し約4割となっています。また、「趣味や娯楽の活動」が増加し約2割となっており、他の手帳保持者と比べて「身体障がい」手帳保持者で多くなっています。



『参加している』 = 100.0 - 「ほとんど参加していない」 - 「無回答」

■ 性別・年齢・手帳の種類

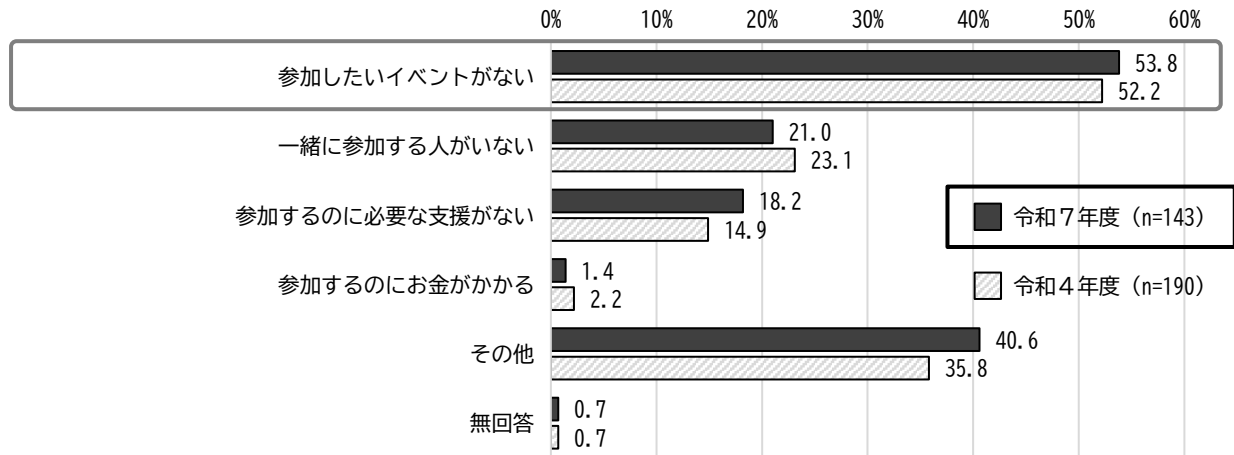
(単位：%)

		回答者数	趣味や娯楽の活動	障がい者関係の活動や行事	町内会や自治会の活動や行事	バザーや福祉まつりなどの行事	ボランティア活動	ほとんど参加していない
全体		238	21.4	11.8	10.1	2.9	1.3	60.1
性別	男性	163	18.4	12.3	9.2	3.1	0.0	62.0
	女性	73	27.4	11.0	12.3	2.7	2.7	56.2
年齢	0～5歳	24	16.7	16.7	12.5	4.2	0.0	50.0
	6～11歳	98	22.4	16.3	14.3	2.0	2.0	56.1
	12～17歳	115	21.7	7.0	6.1	3.5	0.9	66.1
手帳の種類	身体障がい	58	36.2	6.9	10.3	0.0	3.4	50.0
	知的障がい	178	17.4	12.4	9.0	3.9	0.0	64.0
	精神障がい	19	15.8	5.3	21.1	0.0	5.3	63.2
	難病	25	32.0	4.0	0.0	0.0	4.0	64.0

※「ほとんど参加していない」と回答した方にお聞きします。

問13-1 参加していない理由は何ですか。(複数回答)

参加していない理由について前回調査から概ねそれぞれの割合に変化はなく、「参加したいイベントがない」が5割を超えています。



「その他」・・・本人が参加したがる、本人があまり外で活動をしたがる、大人数の場所が苦手、など

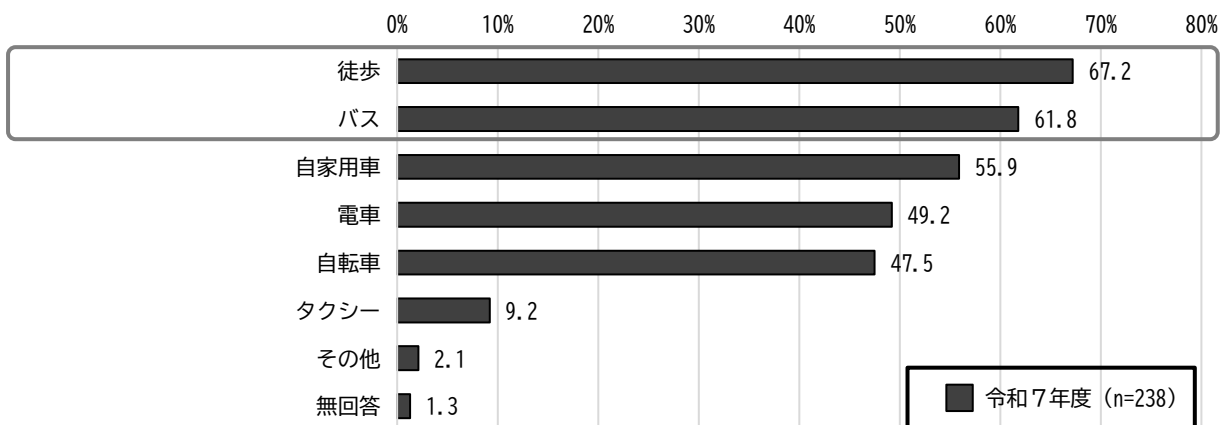
■ 性別・年齢・手帳の種類 (単位：%)

		回答者数	参加したいイベントがない	一緒に参加する人がいない	参加するのに必要な支援がない	参加するのにお金がかかる
全体		143	53.8	21.0	18.2	1.4
性別	男性	101	55.4	23.8	16.8	2.0
	女性	41	51.2	14.6	22.0	0.0
年齢	0～5歳	12	33.3	0.0	8.3	0.0
	6～11歳	55	50.9	20.0	23.6	1.8
	12～17歳	76	59.2	25.0	15.8	1.3
手帳の種類	身体障がい	29	55.2	27.6	17.2	0.0
	知的障がい	114	53.5	20.2	20.2	1.8
	精神障がい	12	41.7	33.3	25.0	0.0
	難病	16	56.3	25.0	18.8	0.0

B 障がい児調査 5. 日中の過ごし方(教育や社会活動など)について

問14 日常生活圏での主な移動手段は何ですか。(複数回答)

主な移動手段について「徒歩」が7割弱となっています。また、「バス」が約6割となっています。



性別・年齢・手帳の種類

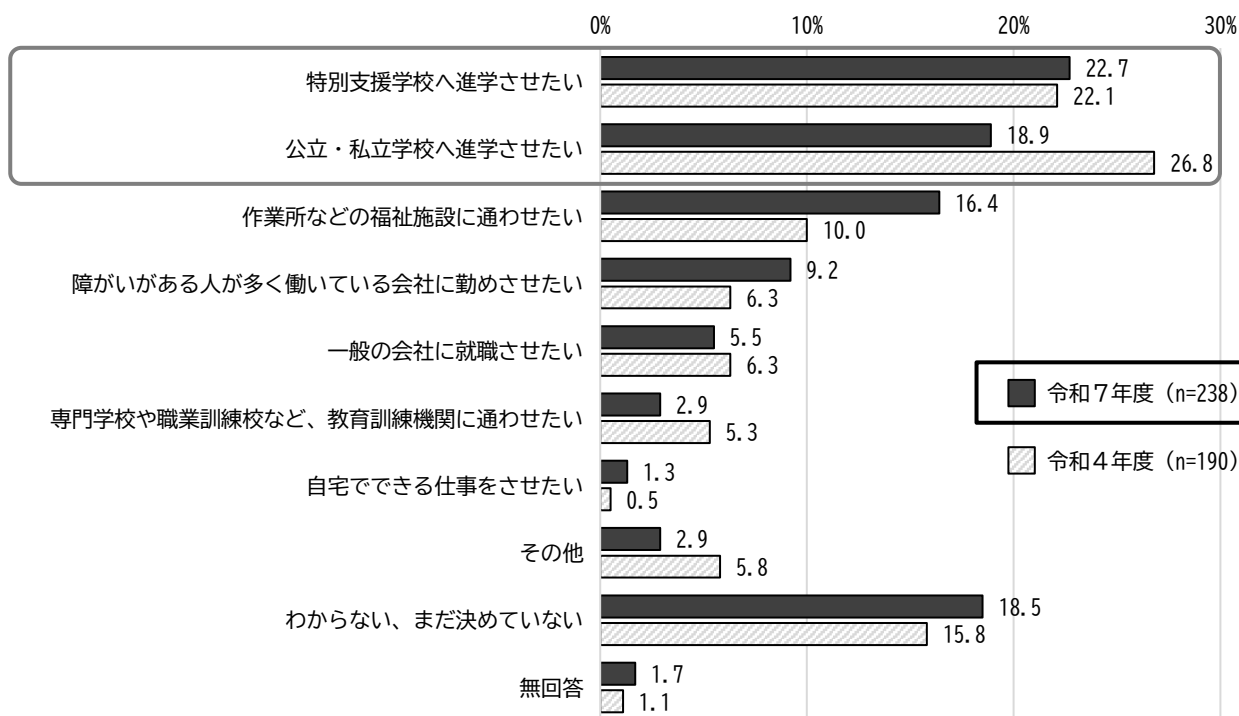
(単位：%)

		回答者数	徒歩	バス	自家用車	電車	自転車	タクシー
全体		238	67.2	61.8	55.9	49.2	47.5	9.2
性別	男性	163	66.3	65.6	57.7	51.5	44.8	10.4
	女性	73	68.5	53.4	52.1	42.5	53.4	5.5
年齢	0～5歳	24	54.2	41.7	41.7	41.7	62.5	12.5
	6～11歳	98	64.3	65.3	55.1	43.9	57.1	11.2
	12～17歳	115	73.0	62.6	60.0	54.8	35.7	7.0
手帳の種類	身体障がい	58	58.6	48.3	69.0	48.3	41.4	17.2
	知的障がい	178	71.3	67.4	52.8	51.1	44.9	7.3
	精神障がい	19	63.2	42.1	47.4	36.8	63.2	10.5
	難病	25	60.0	56.0	64.0	48.0	40.0	32.0

6. 卒園・卒業後、将来の希望などについて

問15 お子さん（宛名の方）の卒園・卒業後について、どのようにお考えですか。
（単一回答）

卒園・卒業後について「特別支援学校へ進学させたい」が前回調査からほとんど変化はなく2割を超える一方、「公立・私立学校へ進学させたい」が減少し約2割となっています。



性別・年齢・手帳の種類

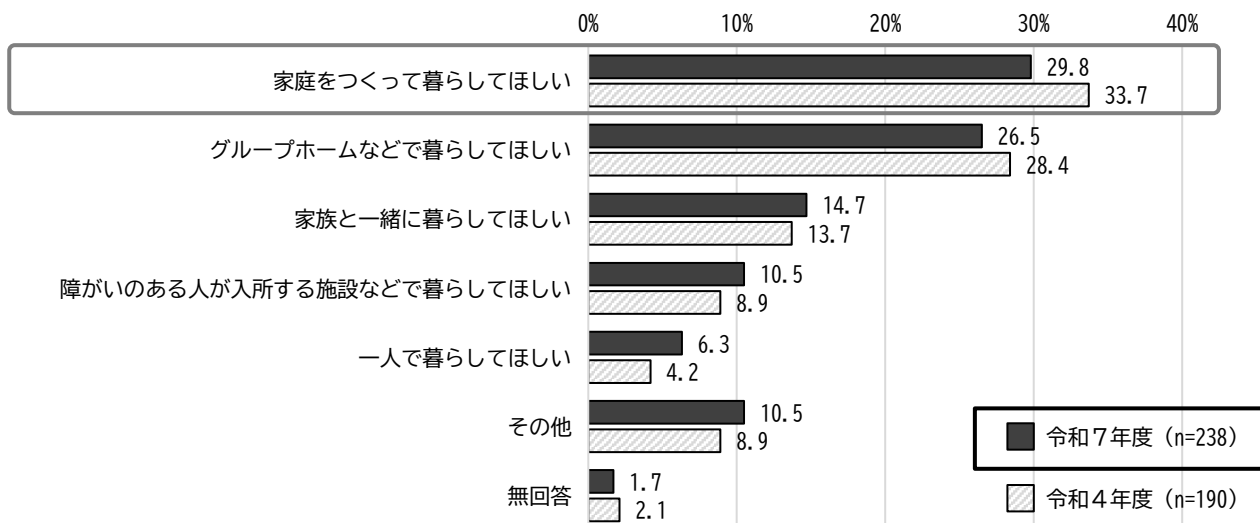
(単位：%)

		回答者数	特別支援学校へ進学させたい	公立・私立学校へ進学させたい	作業所などの福祉施設に通わせたい	障がいがある人が多く働いている会社に勤めさせたい	一般の会社に就職させたい	専門学校や職業訓練校など、教育訓練機関に通わせたい	自宅でできる仕事をさせたい	わからない、まだ決めていない
全体		238	22.7	18.9	16.4	9.2	5.5	2.9	1.3	18.5
性別	男性	163	21.5	17.8	20.2	10.4	3.7	2.5	1.8	16.6
	女性	73	26.0	21.9	6.8	6.8	9.6	4.1	0.0	21.9
年齢	0～5歳	24	33.3	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3
	6～11歳	98	22.4	23.5	11.2	6.1	3.1	1.0	2.0	23.5
	12～17歳	115	20.9	12.2	24.3	13.9	8.7	5.2	0.9	10.4
手帳の種類	身体障がい	58	17.2	32.8	13.8	6.9	3.4	0.0	1.7	19.0
	知的障がい	178	25.8	11.8	21.3	11.2	4.5	3.9	0.6	16.9
	精神障がい	19	5.3	21.1	0.0	0.0	15.8	5.3	5.3	36.8
	難病	25	4.0	24.0	8.0	12.0	12.0	4.0	0.0	24.0

B 障がい児調査 6. 卒園・卒業後、将来の希望などについて

問16 お子さん(宛名の方)に、将来、どのような暮らしをしてほしいと考えていますか。
(単一回答)

将来希望する暮らしについて「家庭をつくって暮らしてほしい」と考えている人は前回調査から減少し約3割となっています。



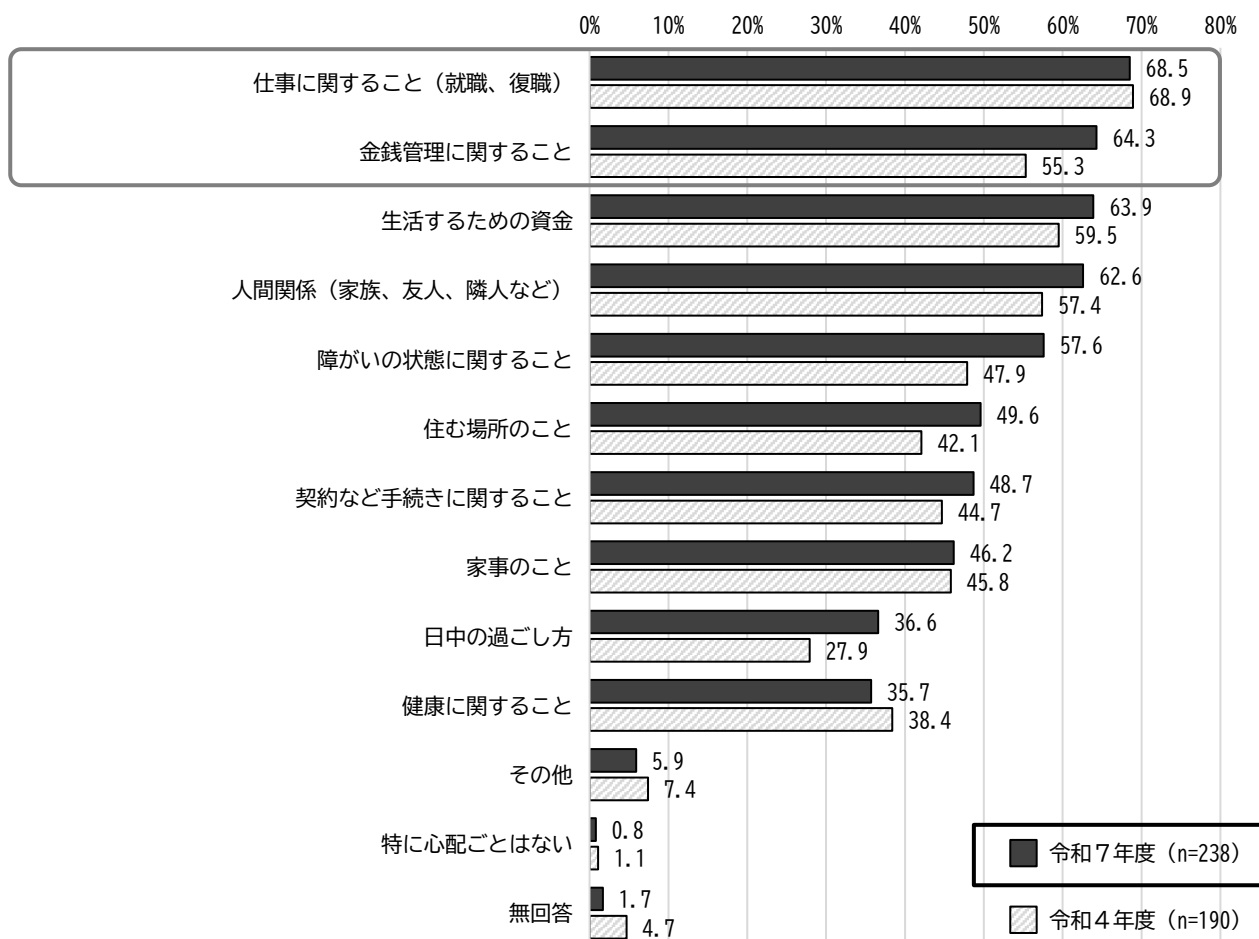
「その他」・・・本人が望む暮らし、まだわからない、など

■ 性別・年齢・手帳の種類 (単位：%)

		回答者数	家庭をつくって暮らしてほしい	グループホームなどで暮らしてほしい	家族と一緒に暮らしてほしい	障がいのある人が入所する施設などで暮らしてほしい	一人で暮らしてほしい
全体		238	29.8	26.5	14.7	10.5	6.3
性別	男性	163	28.2	29.4	13.5	9.8	8.0
	女性	73	32.9	20.5	17.8	11.0	2.7
年齢	0～5歳	24	37.5	4.2	0.0	12.5	8.3
	6～11歳	98	27.6	30.6	18.4	7.1	7.1
	12～17歳	115	30.4	27.8	13.9	13.0	5.2
手帳の種類	身体障がい	58	43.1	15.5	8.6	15.5	6.9
	知的障がい	178	21.9	30.9	15.7	11.8	6.2
	精神障がい	19	36.8	26.3	15.8	5.3	5.3
	難病	25	48.0	24.0	12.0	8.0	0.0

問17 お子さん（宛名の方）が、問16のような暮らしをする上で心配なことは何ですか。
（複数回答）

今後、希望する暮らしをする上での心配事について「仕事に関すること（就職、復職）」が前回調査からほとんど変化はなく約7割となる一方、「金銭管理に関すること」が増加し6割を超えています。



B 障がい児調査 6. 卒園・卒業後、将来の希望などについて

■ 性別・年齢・手帳の種類

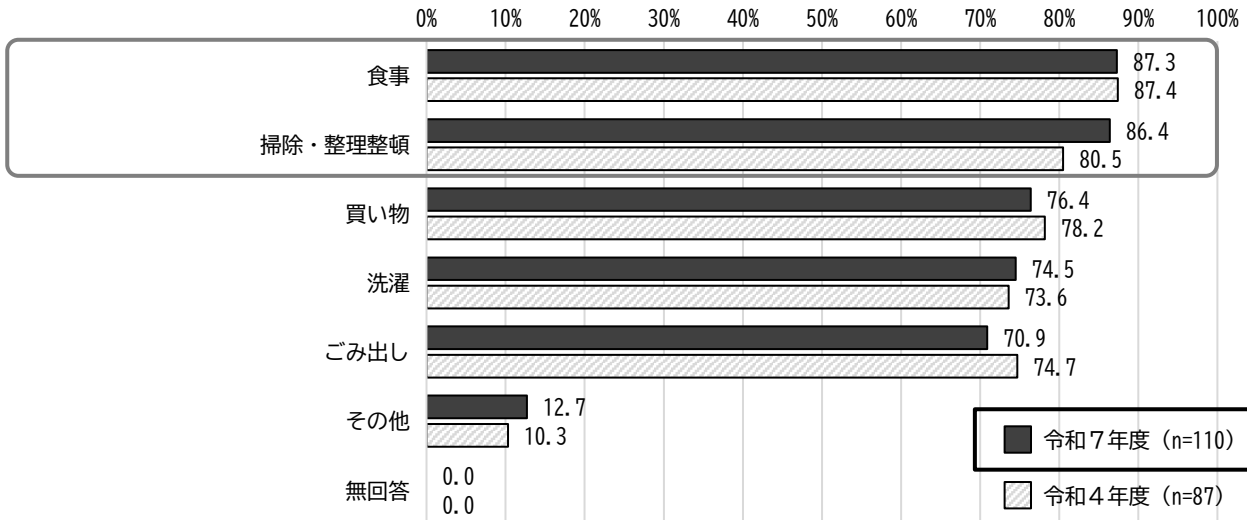
(単位：%)

		回答者数	仕事に関すること (就職、復職)	金銭管理に関すること	生活するための資金	人間関係(家族、友人、隣人など)	障がいの状態に関すること	住む場所のこと	契約など手続きに関すること	家事のこと	日中の過ごし方	健康に関すること	特に心配ことはない
全 体		238	68.5	64.3	63.9	62.6	57.6	49.6	48.7	46.2	36.6	35.7	0.8
性別	男性	163	68.1	68.1	65.6	60.7	53.4	50.9	49.7	50.3	35.0	36.8	0.6
	女性	73	69.9	57.5	61.6	67.1	65.8	46.6	46.6	38.4	39.7	34.2	1.4
年齢	0～5歳	24	79.2	66.7	62.5	58.3	79.2	37.5	54.2	37.5	29.2	33.3	0.0
	6～11歳	98	71.4	69.4	65.3	66.3	63.3	52.0	52.0	54.1	41.8	37.8	1.0
	12～17歳	115	64.3	60.0	63.5	60.0	47.8	50.4	44.3	41.7	33.9	34.8	0.9
手帳の種類	身体障がい	58	53.4	32.8	55.2	43.1	69.0	43.1	22.4	32.8	27.6	31.0	3.4
	知的障がい	178	69.7	74.2	68.5	66.3	55.6	55.1	57.3	50.0	41.6	39.9	0.0
	精神障がい	19	94.7	73.7	57.9	78.9	42.1	31.6	52.6	47.4	26.3	15.8	0.0
	難病	25	60.0	36.0	68.0	60.0	72.0	48.0	40.0	32.0	40.0	56.0	0.0

※「家事のこと」と回答した方にお聞きします。

問17-1 心配な家事は何ですか。(複数回答)

今後、希望する暮らしをする上で心配な家事について「食事」が前回調査からほとんど変化はなく9割弱となっています。また、「掃除・整理整頓」が増加し8割を超えています。



「その他」・・・すべて、お風呂、など

■ 性別・年齢・手帳の種類

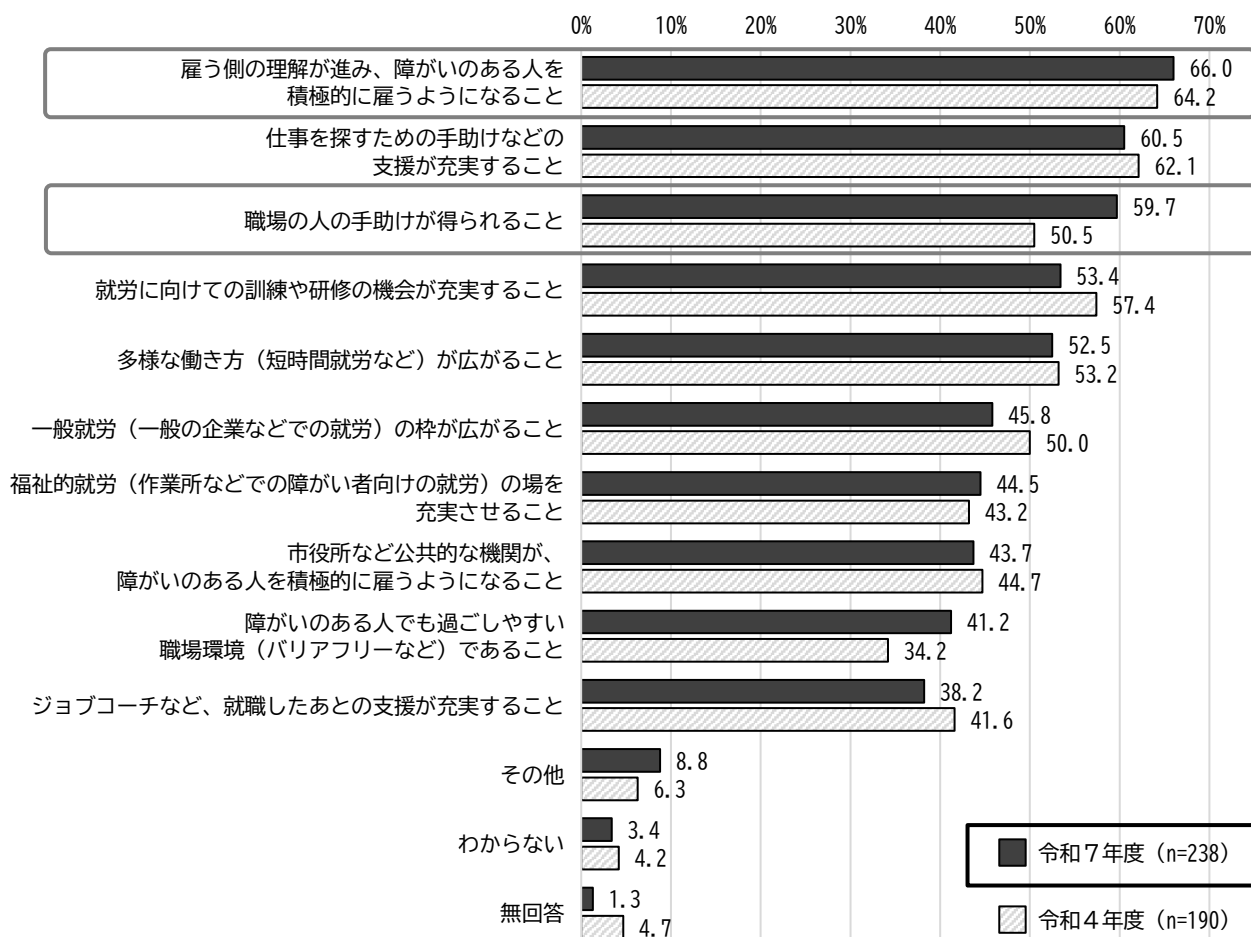
(単位：%)

		回答者数	食事	掃除・整理整頓	買い物	洗濯	ごみ出し
全体		110	87.3	86.4	76.4	74.5	70.9
性別	男性	82	85.4	85.4	74.4	73.2	73.2
	女性	28	92.9	89.3	82.1	78.6	64.3
年齢	0～5歳	9	66.7	77.8	66.7	77.8	77.8
	6～11歳	53	83.0	88.7	83.0	77.4	69.8
	12～17歳	48	95.8	85.4	70.8	70.8	70.8
手帳の種類	身体障がい	19	94.7	94.7	89.5	84.2	84.2
	知的障がい	89	87.6	84.3	77.5	77.5	67.4
	精神障がい	9	66.7	88.9	44.4	33.3	77.8
	難病	8	100.0	87.5	87.5	87.5	87.5

B 障がい児調査 6. 卒園・卒業後、将来の希望などについて

問18 お子さん(宛名の方)が、将来仕事に就くために必要だと思われることは何ですか。
(複数回答)

将来仕事に就くために必要だと思われることについて「雇う側の理解が進み、障がいのある人を積極的に雇うようになること」が前回調査より微増し6割を超えています。また、「職場の人の手助けが得られること」が増加し約6割となっています。



B 障がい児調査 6. 卒園・卒業後、将来の希望などについて

■ 性別・年齢・手帳の種類

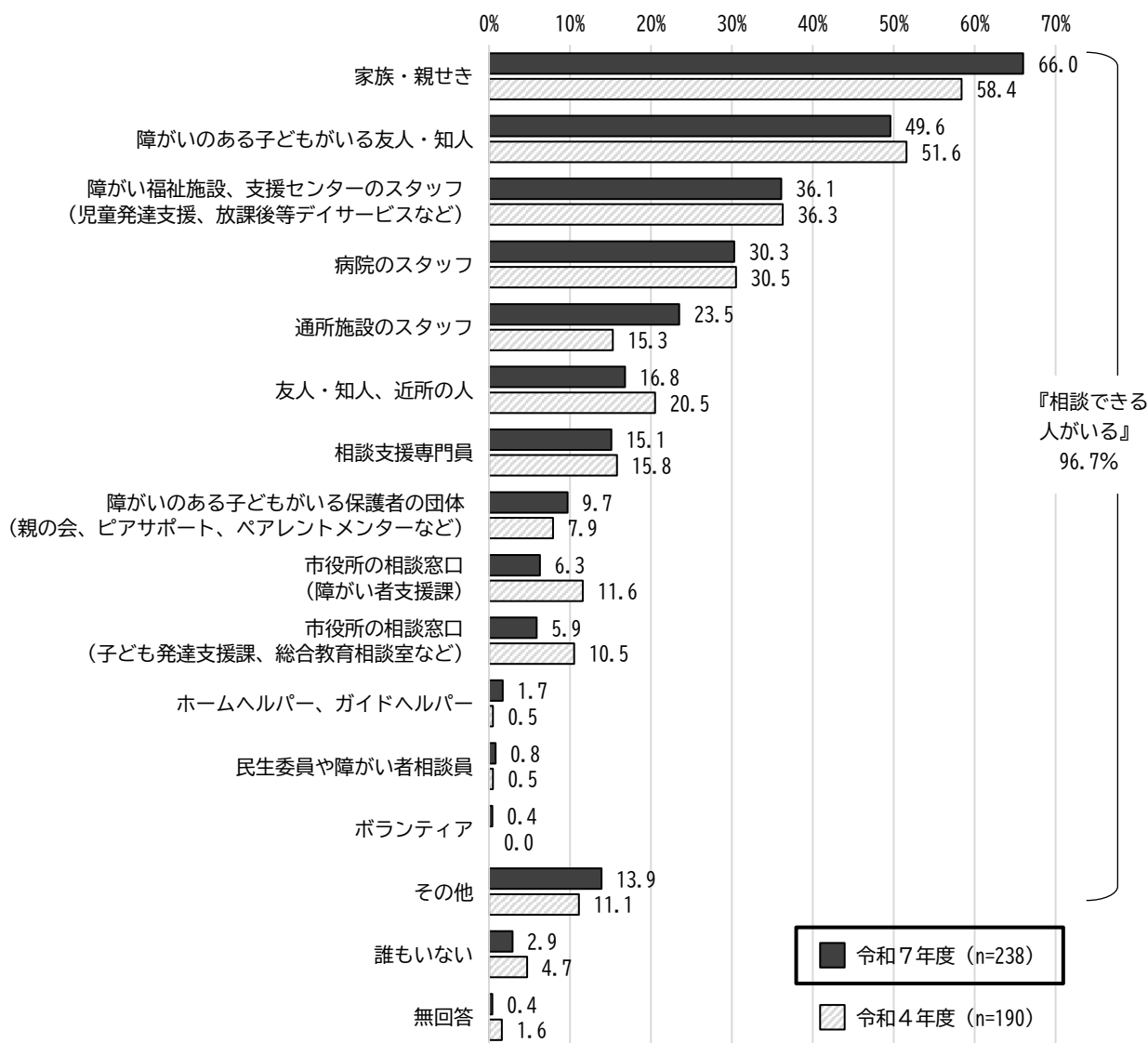
(単位：%)

		回答者数	雇う側の理解が進み、障がいのある人を積極的に雇うようになること	仕事を探するための手助けなどの支援が充実すること	職場の人の手助けが得られること	就労に向けての訓練や研修の機会が充実すること	多様な働き方(短時間就労など)が広がること	一般就労(一般の企業などでの就労)の枠が広がること	福祉的就労(作業所などでの障がい者向けの就労)の場を充実させること	市役所など公共的な機関が、障がいのある人を積極的に雇うようになること	障がいのある人でも過ごしやすい職場環境(バリアフリーなど)であること	ジョブコーチなど、就職したあとの支援が充実すること	わからない
全体		238	66.0	60.5	59.7	53.4	52.5	45.8	44.5	43.7	41.2	38.2	3.4
性別	男性	163	66.9	61.3	60.1	55.8	50.3	41.1	42.9	42.9	38.7	37.4	3.1
	女性	73	65.8	60.3	60.3	49.3	58.9	57.5	47.9	46.6	45.2	41.1	4.1
年齢	0～5歳	24	70.8	62.5	66.7	45.8	54.2	45.8	50.0	41.7	50.0	37.5	8.3
	6～11歳	98	64.3	62.2	55.1	63.3	56.1	51.0	43.9	44.9	40.8	37.8	3.1
	12～17歳	115	67.0	58.3	61.7	47.0	49.6	41.7	44.3	43.5	40.0	39.1	2.6
手帳の種類	身体障がい	58	62.1	44.8	46.6	32.8	39.7	36.2	27.6	36.2	41.4	22.4	10.3
	知的障がい	178	67.4	66.3	62.9	61.8	55.1	48.3	55.6	47.8	43.3	42.1	1.7
	精神障がい	19	68.4	52.6	68.4	36.8	73.7	52.6	10.5	31.6	36.8	42.1	0.0
	難病	25	60.0	48.0	52.0	48.0	56.0	48.0	28.0	48.0	36.0	36.0	8.0

7. 相談について

問19 お子さん（宛名の方）を主にケアしている方が、日常生活や障がいのことなどで困った時に、相談できる人は誰ですか。（複数回答）

日常生活や障がいのことなどで困った時に、『相談できる人がいる』人が10割弱となる一方、「誰もいない」人は、他の手帳保持者と比べて「精神障がい」手帳保持者で多くなっています。



『相談できる人がいる』 = 100.0 - 「誰もいない」 - 「無回答」

「その他」・・・学校の先生、など

■ 性別・年齢・手帳の種類

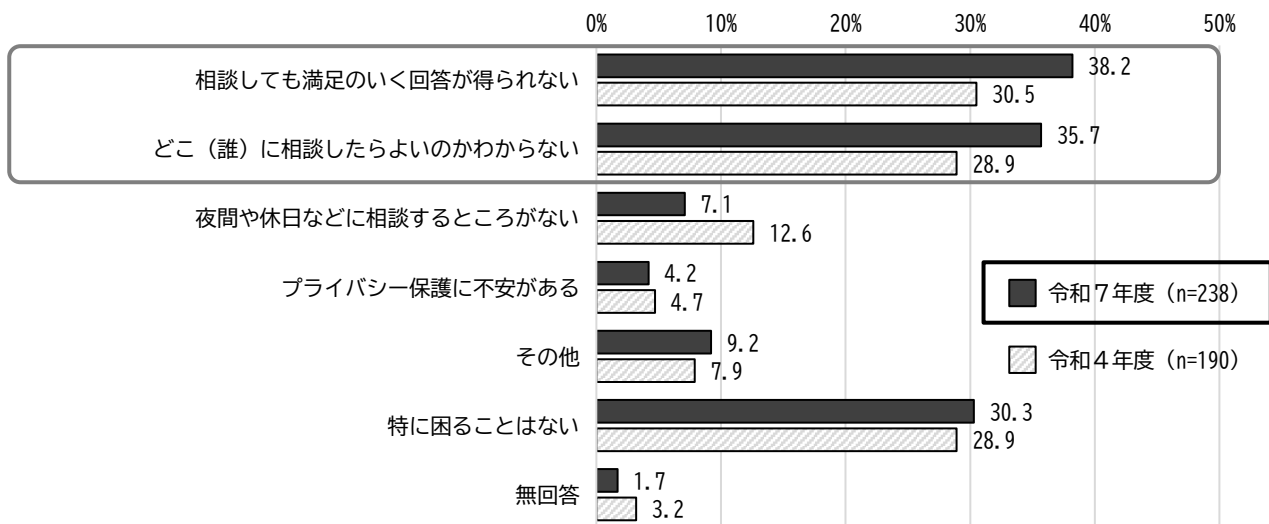
(単位：%)

		回答者数	家族・親せき	障がいのある子どもがいる友人・知人	障がい福祉施設、支援センターのスタッフ（児童発達支援、放課後等デイサービスなど）	病院のスタッフ	通所施設のスタッフ	友人・知人、近所の人	相談支援専門員	障がいのある子どもがいる保護者の団体（親の会、ピアサポート、ペアレントメンターなど）	市役所の相談窓口（障がい者支援課）	市役所の相談窓口（子ども発達支援課、総合教育相談室など）	ホームヘルパー、ガイドヘルパー	民生委員や障がい者相談員	ボランティア	誰もいない
全 体		238	66.0	49.6	36.1	30.3	23.5	16.8	15.1	9.7	6.3	5.9	1.7	0.8	0.4	2.9
性別	男性	163	67.5	52.1	39.3	27.0	23.9	17.8	16.0	11.7	6.1	6.7	1.8	1.2	0.6	1.8
	女性	73	64.4	43.8	30.1	37.0	21.9	13.7	13.7	5.5	6.8	4.1	1.4	0.0	0.0	5.5
年齢	0～5歳	24	70.8	45.8	37.5	45.8	50.0	16.7	8.3	25.0	0.0	20.8	0.0	0.0	0.0	4.2
	6～11歳	98	61.2	51.0	43.9	31.6	23.5	17.3	19.4	10.2	7.1	6.1	1.0	1.0	0.0	3.1
	12～17歳	115	69.6	49.6	29.6	25.2	18.3	16.5	13.0	6.1	7.0	2.6	2.6	0.9	0.0	2.6
手帳の種類	身体障がい	58	67.2	36.2	19.0	48.3	25.9	13.8	13.8	5.2	5.2	5.2	1.7	1.7	0.0	3.4
	知的障がい	178	65.7	56.7	42.7	25.3	25.3	18.5	16.3	9.6	7.3	5.1	2.2	1.1	0.6	2.2
	精神障がい	19	57.9	21.1	15.8	26.3	0.0	5.3	0.0	15.8	0.0	10.5	0.0	0.0	0.0	10.5
	難病	25	64.0	32.0	12.0	36.0	24.0	16.0	28.0	12.0	4.0	4.0	0.0	0.0	0.0	4.0

B 障がい児調査 7. 相談について

問20 お子さん(宛名の方)を主にケアしている方が、相談について困ることは何ですか。(複数回答)

相談で困ることについて「相談しても満足いく回答が得られない」が前回調査より増加し約4割となっています。また、「どこ(誰)に相談したらよいのかわからない」も増加し3割を超えています。



■ 性別・年齢・手帳の種類

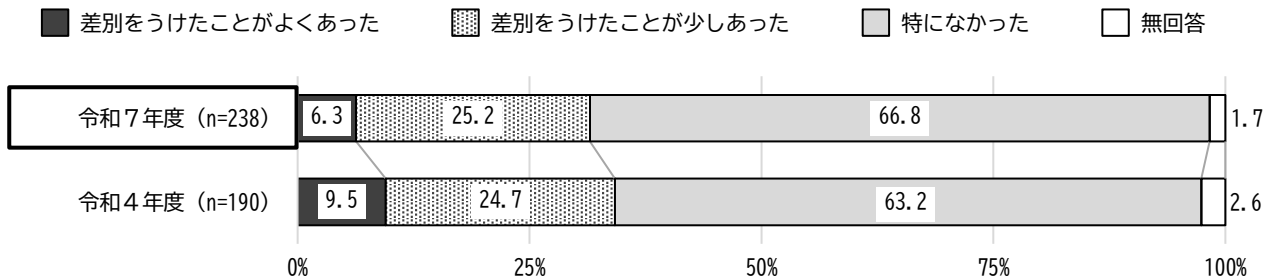
(単位：%)

		回答者数	相談しても満足いく回答が得られない	どこ(誰)に相談したらよいのかわからない	夜間や休日などに相談するところがない	プライバシー保護に不安がある	特に困ることはない
全体		238	38.2	35.7	7.1	4.2	30.3
性別	男性	163	38.7	33.1	8.0	4.3	30.7
	女性	73	37.0	42.5	5.5	4.1	28.8
年齢	0～5歳	24	37.5	33.3	4.2	0.0	33.3
	6～11歳	98	43.9	35.7	7.1	4.1	22.4
	12～17歳	115	33.0	36.5	7.8	5.2	36.5
手帳の種類	身体障がい	58	31.0	39.7	5.2	6.9	39.7
	知的障がい	178	42.7	36.5	9.0	4.5	25.3
	精神障がい	19	31.6	26.3	5.3	0.0	42.1
	難病	25	24.0	36.0	4.0	16.0	36.0

8. 差別や権利擁護のことについて

問21 お子さん（宛名の方）は、この1年（令和6年9月～令和7年8月）の間に、障がいがあることで差別を受けたことがありますか。（単一回答）

1年の間に障がいがあることで差別を受けたことが「特に無かった」人が前回調査より増加し7割弱となっています。



■ 性別・年齢・手帳の種類 (単位：%)

		回答者数	よく差別を受けたことが	少し差別を受けたことが	特に無かった
全体		238	6.3	25.2	66.8
性別	男性	163	4.3	22.7	70.6
	女性	73	11.0	31.5	57.5
年齢	0～5歳	24	4.2	12.5	79.2
	6～11歳	98	8.2	31.6	58.2
	12～17歳	115	5.2	21.7	72.2
手帳の種類	身体障がい	58	5.2	25.9	69.0
	知的障がい	178	5.1	28.1	65.7
	精神障がい	19	21.1	21.1	47.4
	難病	25	8.0	24.0	68.0

問22 お子さん（宛名の方）が、この1年（令和6年9月～令和7年8月）の間に体験した「差別を感じた対応」と、「気遣いや思いやりを感じた対応」についてお聞かせください。（自由回答）

① 差別を感じた対応（どのような場面で、誰から）

■日常生活

- 目線（12～17歳・知的）
- 学校の体育での制限（12～17歳・難病）
- ふじみに通っているんだ～（6～11歳・精神）
- 装具着用に対するからかい（12～17歳・難病）
- 奇異の目を向けられたことあり（6～11歳・知的）
- 同級生の言葉、前担任の言葉・対応（6～11歳・身体）
- 学校側の障害者についての理解。（12～17歳・身体、難病）
- 一時預かりかりに預ける際、制限をもうけられている。（0～5歳・知的）
- 学童でからかわたり仲間はずれにされたりした。（6～11歳・知的）
- こんなに大きいのに喋れないのか。理解できないのか。（6～11歳・知的）
- 歩いているだけで、ジロジロ見られたりすりここと（12～17歳・身体、知的）
- じろじろ見られた（歩いている姿やバギーにのっている時）（12～17歳・身体、難病）
- 学校からの下校時に通常級の生徒から、からかうような発言を受けた。（6～11歳・知的）
- 子どもの歩く様子が普通ではないので、通行人からこわがられます。（12～17歳・知的）
- 学校の普通級の児童が、公園や登下校中、遠巻きにニヤニヤ笑っている。（12～17歳・知的）
- 1000円カットなどの美容院で動くとき危ないから無理ですとやる前から断られた（12～17歳・知的）
- お子様学童保育に行くのですが外に遊ばせてない、同じ部屋にずっと入れるとこですね。（6～11歳・知的）
- 学校生活で近づいて見る事で友人に理解されなかった。その事で意地悪をされていた。（12～17歳・身体）
- 子供への叱責（買い物中に知らないお年寄りから）子供を見る視線（通学途中の小学生から）（6～11歳・知的）
- ヘルプマークをつけていた事で同学年の生徒から『おまえ障害者』と言われた事がある。（12～17歳・身体、知的、難病）
- 外出時、パニック状態になっている様子を歩行者にジロジロ見られることが、心身のストレスに感じる。（12～17歳・知的）
- 中学校で、IQが足りないために通級指導を受けさせてもらえなかった。（全体IQ98、知覚推理68）（12～17歳・知的）
- 公共の場で他の利用者から障害ゆえのこだわりや突発的な興奮状態をマナーが悪い、育て方が悪いと思われる。（6～11歳・知的）
- ASDの息子が、公共の場で怒りを発生させた際の周囲の視線は、親として居場所のないツライ気持ちになった。（12～17歳・精神）
- 差別ではないが、飲食店などにあるアルコール消毒へのこだわりが強く、他の客から嫌な目で見られたことがある。（12～17歳・知的）
- ヘルプマークをつけて行動しているが、マークがある事により優遇されるからいいよねと言われたことがある。知らない人。（6～11歳・知的）
- 差別なのか配慮なのか判断つかない対応をされることは多い。（保護者同伴でないと学校行事に参加させてもらえない等）（12～17歳・身体）
- 床屋に行った時に座っていられないので画像をみせていたら画像がないと座れないのなら次回から利用できないうすと言われた（12～17歳・知的）
- 差別までは行きませんが、子供の様子を見て、同世代のお子さんからじっと見られることがあります。そこまで気にしていません（6～11歳・身体、知的）
- 日常的に、通りがかりの人の中に、ジロジロと見る人はまだまだ多いと感じる。以前より、だいぶ減ったがまだ物珍しいのかと思う。（12～17歳・知的）
- 放デイ（ウイングみたか）から利用日を減らすようせまられたり、手がかかることで、軽度のお子さんが認められている追加利用が全て断られること。（12～17歳・知的）
- 一時保育登録の際（通所の園とは別の所）、障がいがあるので通常とは違って1ヶ月前の予約をお願いされた。人員の確保のためだと思われるが少し悲しく感じた。（0～5歳・知的）
- 友達とのトラブル（学校や日常生活の中で）、空気が読めない子、性格が悪い、親のしつけが悪いと言われ、仲間外れにされる環境や理解不足が問題な部分もある。（6～11歳・精神）

- 公共で有料のスポーツセンターで遊んでいる時に、サークルのおばさんから「卓球上手くないから、勧めない」と言ってきて、嫌な気持ちになった。(12~17歳・身体,知的,精神)
- 小学校で十分な加配がなかった。(欠員があったので仕方ないとは理解しますが取捨選択には少し違和感を感じた)新任の先生から負担が大きいのでと転校を促された。(6~11歳・知的)
- 向かう店や場所はかなり気を遣っているのに、露骨な差別はこの頃はあります。逆に言えば露骨な差別ないと確信できるところにしか向かえない、と言う面はありますが…(6~11歳・知的)
- 登下校中、普通級の upper 生にジロジロ見られて何か内輪でこちらを見ながら何か話してた。コンディションが悪く、パニックに繋がりそうな時、普通級の同級生から差別的な目で見られた。(6~11歳・知的)
- 息子がスーパーでラップに包まれた魚に触ったら、隣で買い物していたおばさんに説教されました。公園で公立小学校の一般児童と遊んでいた時、ママたちに少し差別な視線を感じられました。(6~11歳・知的)
- 現在通っている高専で行われる運動会で、障害を理由に1種目のみしか出場させてもらえなかったこと。走るのがおそいから、運動させるのかわいそうだから、という配慮が差別をうんでいる。(12~17歳・知的)
- 言葉に問題があり発達センターで相談した所、未就学児しか相談できないと言われた。結果親身にはなってくれて良かったのだが教えて下さった(忘れた)先で「知的障害者は該当しない」と言われた。(6~11歳・知的)
- 学校で学年問わず「キモイ」と言われたり、身体的なハンデで出来ない事を、「何でできないの?」とか「もっとがんばりなよ」「おまえのせいで負けた」などと強い口調で文句を言う人が必ず現れる。(12~17歳・身体)
- 副籍交流で、学級活動に健常児のように上手に参加できないことを奇異に見る視線があった。自然な反応かもしれないが、技能・理解力の違いがあるという前提が児童に共有されていなかったように感じます。(6~11歳・知的)
- ・小学校高学年向けイベントに参加した際、同じ参加者の方に「内容が理解できないのに参加するなよ」と言われた。・利用している三鷹市内の放デイの職員から「死ぬ」「かっこわるい」という声かけがあった。(6~11歳・知的)
- 差別とは違うかもしれませんが…奇異な目でみられることは日常茶飯事です。小1ですが2才児が話すような言葉でしかもまだ話せないで、周りの方には不可解だと思っておりますので仕方ないことだとは思っています。(6~11歳・知的)
- 地域子供クラブでの活動中に、本人が悪い事をしてしまい、それを周りから囲まれ責められて、他人をつねってしまいました。その後係の方から、今後もこの様な事があると活動に参加させない、と言われてしまった。(6~11歳・知的)
- 差別ではないが、日常生活で辛い思いをすることがよくあります。例えばスーパーなどで特性がゆえに走り回ってしまったり、行列などに待つことが難しい場合に、冷やかな目で見られたり、声をかけられることがあります。(6~11歳・知的)
- まだ小学低学年なので同じ年代の健常児からは避けられてしまいます。小さいうちから周りに障害児もいて当たり前、障害も個性なのだと思えばその心が大人になった時にどんな人でも住みやすい街になるのにおもいます。(6~11歳・知的)
- この子はできない、と思うと、どうにかしてできるように、参加できるようにしてあげようと考えて下さるのではなく、すばと圧力で切りすてて、参加しづらいようにしむける学校関係者の方がいて、残念に思ったことがあります。(6~11歳・知的)
- 障害者に対して理解のない人からのこころない言葉。エレベーターでこだわり、ボタンを押したがってぐずった時おじさんから「やめさせろ!!」と言われた。どこにもでかけられないと思った。しばらく外に出れなくなった。(12~17歳・身体,知的)
- 将来のことを考えて家に閉じこもっているのは良くない…と外に出ると人の目が気になります。穴があくほど見ている人も多く、まだまだ障害に対する理解が乏しいと感じてしまいます。外出するのが精神的に辛いと感じることも多いです。(0~5歳・知的)
- この一年ではなくてすみません…一般の幼稚園にて「障害があるからそういう子の園(=くるみ幼稚園)に行った方がいいんじゃないですか」と、直に子どもの様子も見ずに当時未診断だったのに言ってきた園長は、差別的すぎて6年たってもうらんでいます。(6~11歳・不明)
- 差別という程ではないが、床屋で初めての美容師に息子のカットをお願いして、長さなどを伝え待ち合いに戻ろうとしたら、お母さんは側にいて下さいと言われた。どんな子かわからないから不安なんだろうと思うが、他人からみて息子は怖い存在なんだと感じた出来事だった。(12~17歳・知的)
- 集合住宅でエレベーターに降りる際、一緒に乗った子どもに、私の子どもの障害への理解がなかった為、言葉の暴力があった。もしそれによって自分の子が出したら、相手が被害者になる訳だし、最近の10歳未満の子どもは普段からイライラしていて、八つ当たりされている様で不快だったし、怖かった。(12~17歳・身体,知的,難病)
- 元々身体障害者手帳の体幹機能障害を保持していたので、成長と共に改善してきて返納しましたが、やはりバランスが取りづらく駅や公共の階段で下る時がとてもしっかりヘルプマークを付けていても邪魔扱いされて疎まれる事がしばしばあります。エレベーターは一基しかないのだから階段を使いますが、もっと理解があればと思います。(12~17歳・知的)
- 差別とはまた違うかもしれませんが、娘はまだ話すことが出来ず、喃語のようなもので声を発したり、常同行動をしながら奇声のようなものを発するとどうしても奇異な目でみられたり、げげんな顔で見られます。他人から見れば不可解な行動だと思いますので仕方ないとは思いつつ、毎回申し訳ない思いと悲しきみたいなものでいたたまれない気持ちになります。(0~5歳・知的)

■公共交通

- 公共交通機関レストラン(6~11歳・知的)

B 障がい児調査 8. 差別や権利擁護のことについて

- ・電車内で、小中高生などがじろじろ見ながら、ひそひそ話など。(12~17歳・身体,知的)
- ・電車内でソワソワする行動について、保護者会がきちんとするように言われた。(12~17歳・知的)
- ・バスを乗る時障害手帳を見せり割引をして貰っている時、遅い早くしろと言われました。(12~17歳・知的,精神)
- ・周囲の方々のヘルプマークの認知がなく、見た目で健常者と判断されて公共交通機関の「優先席に座るな」と怒られた(12~17歳・知的)
- ・差別と言うかわかりませんが、バスで愛の手帳で減免を受けたい旨を申告すると運転手の方に嫌な顔をされることがあります。(12~17歳・知的)
- ・学区に特別支援学級がなく、路線バスを利用して登校することになったこと。(学区内に学級がある市内他の地域との差、という意味での差別)(12~17歳・知的)
- ・バスの車内でうるさくしてしまった時の運転士と乗客の反応(対応)、音に皆さん敏感である気がする。最近は臭(食べ物)も車内でアナウンスがありました。(6~11歳・精神)
- ・バスに乗車中、席が空いていなかったが、立っているのがしんどそうだったため、しゃがんだ母の膝の上に座っていたところ、着席している女性から常識がないと言われた(6~11歳・知的)
- ・特別支援学校のスクールバス停車中に近所の小学校の子供達が、バス(子供?)を見て「気持ち悪い」「絶対通いたくない」等言っていた事。全ての学校で、そのような事がないよう、指導してほしい。(6~11歳・知的)
- ・差別ではないが、多動でかつ大きな声でとりとめもなく話すことが多く、公共交通機関で、注意を受けることが多い。本人への注意だけではかえってパニックなどを起こすため、特性を踏まえて対応しているが、親のしつけ、管理が悪いと見られることが多く、精神的に疲弊する。(6~11歳・知的)
- ・三鷹通りで特別支援学校のスクールバスが停車し、子どもら生徒が乗り降りしている際に、通行する地域の人が過剰に嫌な顔をして通り過ぎたり、その通行人が連れてくる子どもに不適切な説明をしたりする場面が何度かあった。一対一で通りすがりに差別的対応をしてくる人はあまりいないが、スクールバス停などで障害者という団体になった場合に、相手が個人でなければ攻撃しやすいのか、人数が多いと何かを恐れるのか、露骨に不適切な対応をしてくる人が大人も子どもも多い。小田急バスもスクールバスを煽ったことがある。SUBARUの市民プールのロッカールームで、小学生が知的障害ゆえの行動を集団で笑いのものにしてた。(6~11歳・知的)

■医療・受診

- ・個人経営の耳鼻科病院から断られた。個人経営の眼科病院から注意された。(6~11歳・知的)
- ・病院で嫌な顔をされた 入店で拒まれた三鷹一中の交流で昼休みに勝手に来て手紙を渡しに来たら良い、普通学級は忙しいから交流時間は持てないのでと言われ冷たくあしらわれた 三鷹一中は入学相談時から差別的でした(12~17歳・身体,知的,難病)

■福祉・支援機関

- ・学校の生徒から、支援学級に通っているのを指摘された。(12~17歳・精神)
- ・市内の放課後等デイサービスから、うちは支援学校からは受け入れていないと言われた。(6~11歳・身体,知的,難病)
- ・車椅子対応がそもそも施設にない他目的トイレがない、あっても利用者が少ないため他のスペースに使われていてがっかりした。(6~11歳・身体,知的,難病)
- ・商業施設に行った際に中年男性からキチガイをつれてくるなどと言われて、本人にぶつかってきたことがあった。知人と話している際(母が)、知人の学校に障がいの子があり、特別迷惑がかかっている訳ではないが特支にいかないのは非常識だと怒っていたこと。(12~17歳・知的)
- ・現時点では支援級に所属しており、大きな差別は感じていないが、通常級などで過ごす際はこういう時に差別されるのだろうか、などと想像できる場面はある。下校時に、後ろ指をさされた経験はあるのもっと通常の世界に入れば、大きくなっていくだろうと感じた。(6~11歳・精神)
- ・預かりをお願いする時、他の子はすぐに預かってもらえるが、障害がある子は預かってもらったことがあっても事前に相談しないと預かってもらえるかわからなかった時。他の子よりも支援が必要で、人手が足りていない時に何かあったら困るので、と仰っていたのでそれは理解しています。(6~11歳・知的)
- ・放課後デイサービスを利用したいが、三鷹に個別の放デイがなく、現在は療育を受けられていない。子の特性上、集団の中での療育は合わず、以前は武蔵野市の個別の放デイに通っていたが、教室がなくなってしまった(経営上の都合)。不登校の子向けのAルームには、先生から他のところに行ってくださいと言われ、疎外感を感じた。(6~11歳・精神)
- ・昨年度の支援級の担任。本人が直接受けたわけではないが、面談であることないこと言われ支援校をすすめられた。影では知的障害者に対しての差別的な発言もあった。また、世の中の人でも障害者に対して厳しい発言も目にしたり耳にしたりする。そもそも、障害者は特別なわけではなく、誰もが苦手なことやできないことがあり、それを互いに補い合う、助け合う優しい気持ちをもって過ごせば何も問題は無い。(6~11歳・知的)
- ・期間がずれるが、令和5年の7月頃に子の一時保育先を探していた時、第二椎の実子どもの家保育園からダウン症ということのみを理由に、面談等一切なく断られた。この経緯を踏まえ、駅前保育園で一時保育にチャレンジしたものの、当時の園長先生から預かれて1~2時間程度と言われ、結局一時保育ほしのごでお世話になることになった。障害に対する理解、知識や経験がない保育園からは、健康な我が子であっても預かれないと言われたことは差別にあたと認識している。また就学について、判定はまだ数年先だが、もし我が子に支援学校判定が出た場合は「学区外の家から遠い学校に通え」と行政から言われている気がして、本当は近所の学区内の小学校に通いたいの、なぜ義務教育のうちからそんな遠くの学校に通わなきゃならないのか、という気持ちでとても差別を感じる。家の目の前

に小学校があるのに、そこには支援級が無いから通うことができない。これはあまりに理不尽で、こういうところで学ぶ環境を区別することが差別を生むと感じる。普通級が我が子にとって適切とは思わないが、市内の各学校全てに支援学級をつくるべきだと思う。障害があることを理由に学ぶ場所(土地)を分けるのは差別だと思う。(0～5歳・知的)

② 気遣いや思いやりを感じた対応（どのような場面で、誰から）

■日常生活

- 良くも悪くもない。（6～11歳・知的）
- いつも頑張っているね（6～11歳・精神）
- 同じクラスの友達（6～11歳・身体、難病）
- とくにありません（12～17歳・身体、知的）
- 乗物で席をゆずられた。（12～17歳・知的）
- ママ友（休みの時）優しい友人（学校）（6～11歳・身体）
- 人に特定がない、面談はちゃんと見ている（6～11歳・知的）
- 担任の先生からの手厚い配慮万博での優先対応（6～11歳・精神）
- 障がいのある知人などに、やさしくしてもらった。（12～17歳・知的）
- 在籍校での行事などで配慮を頂いた際に感じました。（12～17歳・知的）
- 学校の先生や放デイの先生は皆様とてもやさしいです。（6～11歳・知的）
- 担任が子どもの特性を細かく見て、対応してくれている。（12～17歳・知的）
- ヘルプマークをつけてから周りからの暴言が減った気がする。（6～11歳・知的）
- ヘルパーさんにはいつもよくしていただいている（12～17歳・身体、知的、難病）
- 車いすが通れるように道をあけてくれた。物を拾ってくれた。（12～17歳・身体）
- 近所の方にはいつも挨拶など声をかけていただき有難く感じています。（6～11歳・知的）
- 幼稚園や自発で先生方や、同じ立場の保護者の方からは救われています。（0～5歳・知的）
- 普通級にいつも気にかけてくれるのかよく話しかけてくれる子がいる。（6～11歳・知的）
- 近所の方から、個性だから、気にすることはないと言われたこと（12～17歳・身体、知的）
- 歯医者などで本人が不安に感じない様にいねいに説明をしてもらった。（6～11歳・精神）
- ご近所の方や、公園内を犬の散歩中にお声がけしていただいたり。（12～17歳・身体、知的）
- 印象に残るほどの事はない。結果的にはいつも仲間はずれになっている。（12～17歳・身体）
- 学童の先生たちや子供たちにはいつも思いやりを持って接してもらっています（6～11歳・知的）
- 白杖を持っていることで、席を譲ってもらったり、丁寧に案内してもらえた。（12～17歳・身体）
- 公立小学校で毎日色々と試行錯誤して頂いています。先生方、友だち…（12～17歳・身体、難病）
- 知り合いなどが外へ出かけるきっかけになるようにイベントなどに誘ってくれる。（12～17歳・知的）
- 障がいのある子供たちの社会活動で、いろいろな人から優しい言葉をもらっています（12～17歳・知的）
- 上記に関して仲の良い友達が学校に相談してくれた。（今は本件は解決しております）（12～17歳・身体）
- 三鷹市の消防団に入団していますが、特性を配慮しながら活動をさせていただけていること（6～11歳・知的）
- 水泳のインクルーシブ大会で、健常の子が障害の子に自然と声をかけてサポートしていた（12～17歳・知的）
- 入院付き添いなどで他の兄弟の面倒が見れないときに、近所の方や親戚が手伝ってくれた。（12～17歳・身体、難病）
- 朝通学のために家を出ると、近所の方々から『いってらっしゃい！』と息子に声をかけてもらえること。（6～11歳・身体）
- お店での会計時、店員さんが息子の注文が聞き取れなかった時など優しくゆっくり丁寧に尋ねてくれた。（12～17歳・知的）
- まったく知らない方から、挨拶や声をかけられるときは思いやりというよりは、気持ちが良いなと感じた。（6～11歳・精神）
- 地域のお店の方が、子供の障害のことを理解してくれて、お店の外で見かけても優しい対応をしてくれた。（6～11歳・知的）
- 上記に書いた上の方々の対応はとても良かったです。申し訳なさそうにしていました。制度が不明瞭だなと思います。（6～11歳・知的）
- どのような場所であっても、過剰に気を遣ったりせず、さりげなく、当たり前前の態度でいてくれることがありがたい。（12～17歳・知的）
- 歯医者先生がとても子供の症状の細かいところまで理解してくれて、いつも本人に声掛けをしながら対応してくれる事（12～17歳・知的）
- 4月から入園した保育園では、発達や体の状況に合わせて食事や遊びに様々な工夫をしていただきとても助かっている。（0～5歳・身体、難病）
- 街中で、無言であってもエレベーターや扉など、開けて待っていただいたり、笑顔で子どもに話しかけたりしてくださった。（6～11歳・身体）
- 聴覚過敏のため、音の状況により、イヤーマフをしていても店に入ることができない場合があるが、飲食店がBGMを消音してくれた。（6～11歳・知的）

- 子供の学校生活で先生方には大変お世話になっています。普通なら嫌な事でも当たり前を受け入れてくださり感謝しています。(6~11歳・身体,知的,難病)
- 元気プラザの親子ひろばのスタッフさんが親身に話を聞いてくれた。療育の大変さを話しにくいけど、いつも気にかけてくれるのを感じる。(0~5歳・身体)
- 同じく副籍交流で、クラスの方々教員の方から思いやりを持って迎え入れて声をかけていただき、機会自体はとてもありがたく感じています。(6~11歳・知的)
- 買い物の練習をする際、受答えが不明瞭だったり時間がかかったりするにも関わらず、レジ担当の方が優しく見守ってくださってありがたく感じる事が多いです。(6~11歳・知的)
- 公園では1人で遊んでいるのですが、遊びに来る小学生達が温かく見守ってくれて気遣ってくれながら遊んでいるように思う。南浦小の子供達にはいつも感謝しています。(6~11歳・知的)
- 府中けやきの森学園の先生方が、生徒・保護者に常に寄り添ってくれています。困った時に話を聞いてくれて、一緒に解決しようとしてくれるので本当に助かっています。(12~17歳・知的)
- 普通でない行動(常同行動や話し声が大きい等)をしてしまった時にヘルプカードを付けていると、皆さん納得してくれるというか、見て見ないふりをしてくださいます。(12~17歳・知的)
- デイや障害者水泳の先生、トラッソス(サッカー)の先生がたは理解してもらえている安心感がある。本人・親共に「ここにいていい」と思えるよう見守ってくれていると感じる。(6~11歳・不明)
- 小学校の担任の先生から、クールダウンに離席しても良いと言われている。字が書けないのでタブレットで漢字テストを実施してくれている。主治医の先生から、出来ている事をほめてくれて自己肯定感を保持している。(6~11歳・精神)
- 上記の事があった後、地域子供クラブの代表の方からお電話を頂き、障害の有無で参加を拒否する様な事はしない、これからも活動に参加して下さいと言われ嬉しかった。障がいのある子の事を、子供達も自然にうけ入れていると言われた。(6~11歳・知的)
- ASDで不登校中、学校の自然教室に本人が参加したいとなって、友達が朝家まで迎えに来てくれたこと。クラスの担任の先生とも事前に相談できて、先生もクラスの皆も対応を配慮していただき、とても楽しい思い出ができて帰ってこれたこと。(6~11歳・精神)

■公共交通

- バスで席を譲ってもらえた(12~17歳・知的)
- バスで席をゆずってもらうなど(6~11歳・知的)
- 電車ですぐに席を譲ってくれた。(12~17歳・身体)
- 電車やバスで席をゆずってもらえた(6~11歳・身体,知的)
- バス停までの通学路で近所の方が声をかけてくれる(6~11歳・身体,知的)
- ヘルプマークを見て、電車・バス等で席を譲ってもらった。(0~5歳・知的)
- ヘルプマークをみてバスや電車で席を譲ってもらった(12~17歳・知的,難病)
- バスや電車で席をゆずってくれることがある。(12~17歳・身体,知的,難病)
- 電車やバスの中で、ヘルプマークを見て席をゆずってもらった(6~11歳・知的)
- バスで席をゆずっていただいた。息子に声をかけて下さった。(12~17歳・知的)
- ヘルプマークをつけて移動していると、バスの席を譲ってくださったりの経験はあります。(6~11歳・知的)
- ヘルプマークをつけているおかげか(?)、路線バスの優先席に座らせていただくことができました。(12~17歳・知的)
- 電車やバスで席を譲ってもらった。優先的にイベントなどに参加できるようにとりはからってもらった。(6~11歳・知的)
- 通学時のバスに乗車練習をしているが、本人がスムーズにできなくても、後ろの方や運転手の方がとがめることなく待ってくれていた。(12~17歳・知的)
- バスの席を譲ってくださる方がいたこと。スーパーの店員さんが品物の位置を教えて下さったり、自動精算機の使い方を教えて下さったこと。(12~17歳・知的)
- ヘルプマークを見て、バスの中で席を譲ろうとしてくださった方がいました。息子は知的障害であり身体的には健康なので、お礼を申し上げてお断りしました。(12~17歳・知的)
- タクシーの運転手さんは(京王タクシーだけ)よく利用しているせいもあるけど、皆さん優しい。子どものこだわり(窓の開閉やライトをつけたがる)見守ってくれる。(12~17歳・身体,知的,難病)
- オープンキャンパス(大学)で、配慮申請を受け入れてもらった事(車椅子で受験、机の持込)。小田急バスの乗車が早くてスムーズで驚いた(乗客と席をあげてくれた運転手さんのスロープが5分)。(12~17歳・身体)
- たくさんあります。バスの席ゆずってもらう、困っているとき助けてくれ人がいたし、重いにもつもって一人で歩いていたとき、自転車で通りがかった女性が自転車に荷物のせて自宅まで荷物運んでくれたetc…(12~17歳・知的)
- ヘルプマークをつけているため、バスでよく席をゆずられるそう。みんな親切だと思う。が、身体障害はないので断るようにと本人には伝えている。ヘルプマークが、席を必要としているかわかるようなデザインになるといいと思う。(12~17歳・知的)

B 障がい児調査 8. 差別や権利擁護のことについて

-
- 幼稚園で子供の障害について理解し個別に対応してもらえた。こども発達支援センターから子供の様子を伺う電話をかけてもらった。バスや電車に乗車する際、子のヘルプマークを見て席を譲ってくれた。親戚等に発達障害児がいるママから好意的に話しかけてもらった。(0～5歳・知的)
 - 学校の担任の先生が、どうしたら問題をよい方向に改善できるかいろいろ考えて下さり、実行して下さい、ありがたく思いました。子供がバスの中などでおちつかないと、もうそれなりに大きい子ですが、席をゆずって下さる方がありがたいです。と同時に申し訳ないと思います。(6～11歳・知的)
 - 上記と同じく、SUBARU の市民プールのロッカールームで、特に障害があるかどうかは話題にせず「水泳がんばっていますね」とか、あえて声をかけてもらった。筋力が弱く、ずっと立ち姿勢で電車に乗るのが難しいが、そんなことを全員に説明することも実際は難しく立っていることもよくあるが、ヘルプマークをみて席を譲ってくださる方がいた。学校の復籍交流で、三鷹の市立小学校にあたたかく迎え入れてもらった。(6～11歳・知的)
-

■職場・就労

-
- 私の職場の方達からは、息子の状況に理解があるので日々思いやりを感じている。(6～11歳・知的)
-

■医療・受診

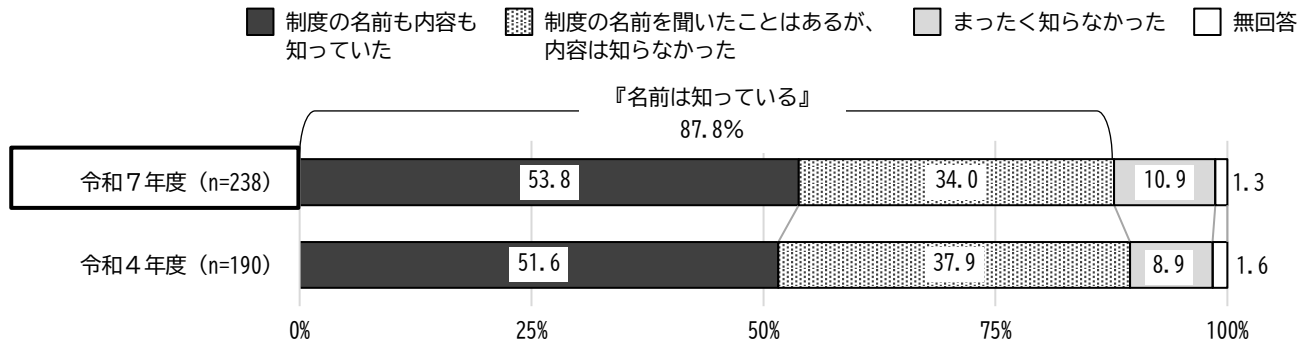
-
- 病院の先生から、優しい言葉がけ。(12～17歳・精神)
 - 病院の待ち合い室で、知らないご夫婦から励ましの言葉をもらった(6～11歳・知的)
 - スーパーや病院などで、障害特性(独特な話し方や一方的な話)を受け入れてくれて、対応してもらえた時。(12～17歳・知的)
 - 病院受診時に ASD と伝えると本人が落ち着けるよう合わせてくれた。旅行先でツアーに参加した時 ASD と伝えると困りごとを聞かれ最大限配慮してくれた。(6～11歳・知的)
 - 身近な知り合いからは可愛がってもらっている。現在の学校の支援級の先生もよくしてくれてあるが、大人の数不足していると思う。もう少し支援員を充ててもらえると、先生の負担も軽減されるのではないかと思う。産まれた病院の主治医は、支援級に上がる際に子供の障害について学校の先生に向けて勉強会をしてくれるという言葉をもらい嬉しかった。(学校側から拒否された)(6～11歳・知的)
-

■福祉・支援機関

-
- 支援が必要な親子水泳教室では、先生方がみんな親切で助かってます。(6～11歳・知的)
 - 放課後等デイサービスでは本人の特性を理解して参加できるようにしてくれたこと(12～17歳・身体,知的)
 - 学童に通っている同年代の子どもたちは、いつも温かく接してくれて、一緒に遊んだりしてくれる。学童の先生方も、子供の状況に合わせたきめ細かい対応や支援をしてくれている。(6～11歳・知的)
 - 地域のイベントで、支援が必要な子は別枠で参加枠が設けられていた時。子供は参加してみたいものの、1人では出来なかったり、周りの子に嫌な思いをさせる可能性がある時は遠慮してしまっていたので、心置き無く参加できた時は本人も嬉しそうでした。(6～11歳・知的)
 - 三鷹市の子ども発達支援センターで働く方々は皆さん我が子のことをとても大切に想って下さっていて、優しくして頂いているという印象。親の悩みも聞いて頂けるので大変助かっている。また、我が子がダウン症(障害児)だから気遣いや思いやりを感じたと思うことはなく、1人の子として、人と人としての気遣い、優しさ、思いやりを感じることは多々ある。(0～5歳・知的)
-

問23 成年後見制度について知っていますか。(単一回答)

成年後見制度の『名前は知っている』人について前回調査より微減し約9割となる一方、「全く知らなかった」人は、他の手帳保持者と比べて「難病」手帳保持者で多くなっています。



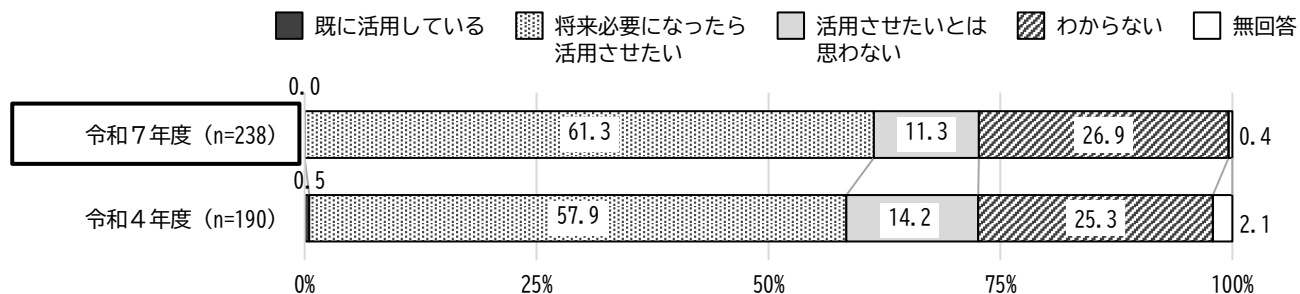
■ 性別・年齢・手帳の種類 (単位: %)

		回答者数	知っている た	聞いたことはあるが 内容は知らなかった	まったく知らなかった
全体		238	53.8	34.0	10.9
性別	男性	163	59.5	30.7	9.2
	女性	73	41.1	41.1	15.1
年齢	0～5歳	24	37.5	45.8	12.5
	6～11歳	98	58.2	30.6	11.2
	12～17歳	115	53.0	34.8	10.4
手帳の種類	身体障がい	58	51.7	36.2	10.3
	知的障がい	178	57.3	31.5	9.6
	精神障がい	19	31.6	52.6	15.8
	難病	25	52.0	24.0	24.0

B 障がい児調査 8. 差別や権利擁護のことについて

問24 お子さん（宛名の方）に、成年後見制度を活用させたいと思いますか。（単一回答）

成年後見制度を「将来必要になったら活用させたい」人について前回調査より増加し約6割となっています。また、他の手帳所持者と比べて「知的障がい」手帳保持者で多くなっています。

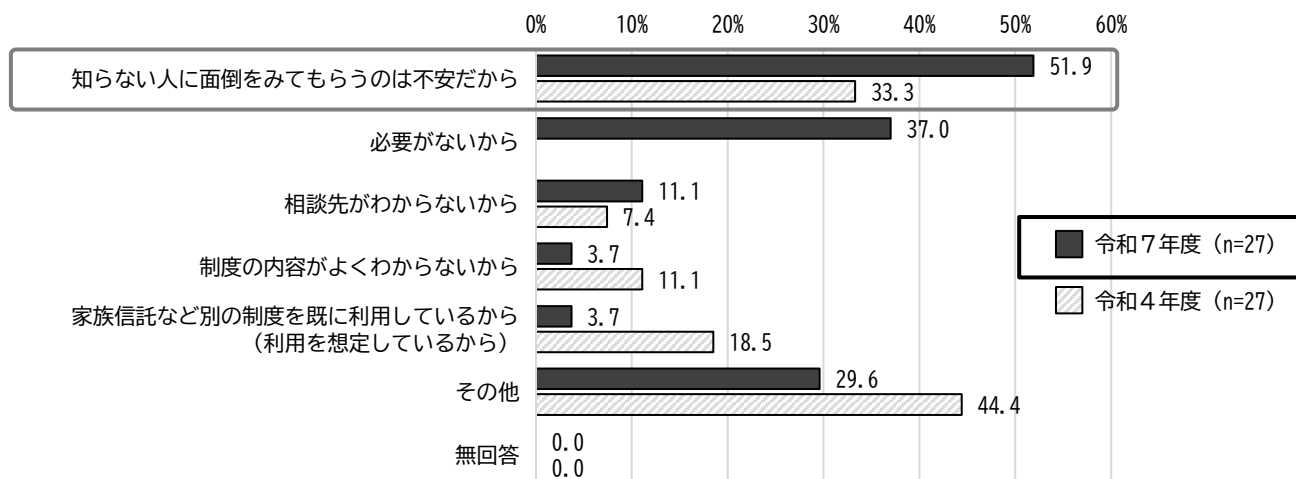


■ 性別・年齢・手帳の種類 (単位：%)

		回答者数	既に活用している	将来必要になったら活用させたい	わからない	活用させたいとは思わない	わからない
全体		238	0.0	61.3	11.3	26.9	
性別	男性	163	0.0	64.4	11.7	23.9	
	女性	73	0.0	56.2	9.6	32.9	
年齢	0～5歳	24	0.0	58.3	4.2	33.3	
	6～11歳	98	0.0	68.4	10.2	21.4	
	12～17歳	115	0.0	55.7	13.9	30.4	
手帳の種類	身体障がい	58	0.0	50.0	22.4	27.6	
	知的障がい	178	0.0	64.0	9.6	25.8	
	精神障がい	19	0.0	63.2	5.3	31.6	
	難病	25	0.0	48.0	16.0	36.0	

※「活用させたいとは思わない」と回答した方にお聞きします。
 問24-1 活用させたいとは思わない理由は何ですか。(複数回答)

成年後見制度を活用させたいとは思わない理由について「知らない人に面倒をみてもらうのは不安だから」が前回調査より大幅に増加し約5割となっています。



※「必要がないから」は今回調査より選択肢を追加
 「その他」・・・費用が高い、他人を信用できない、など

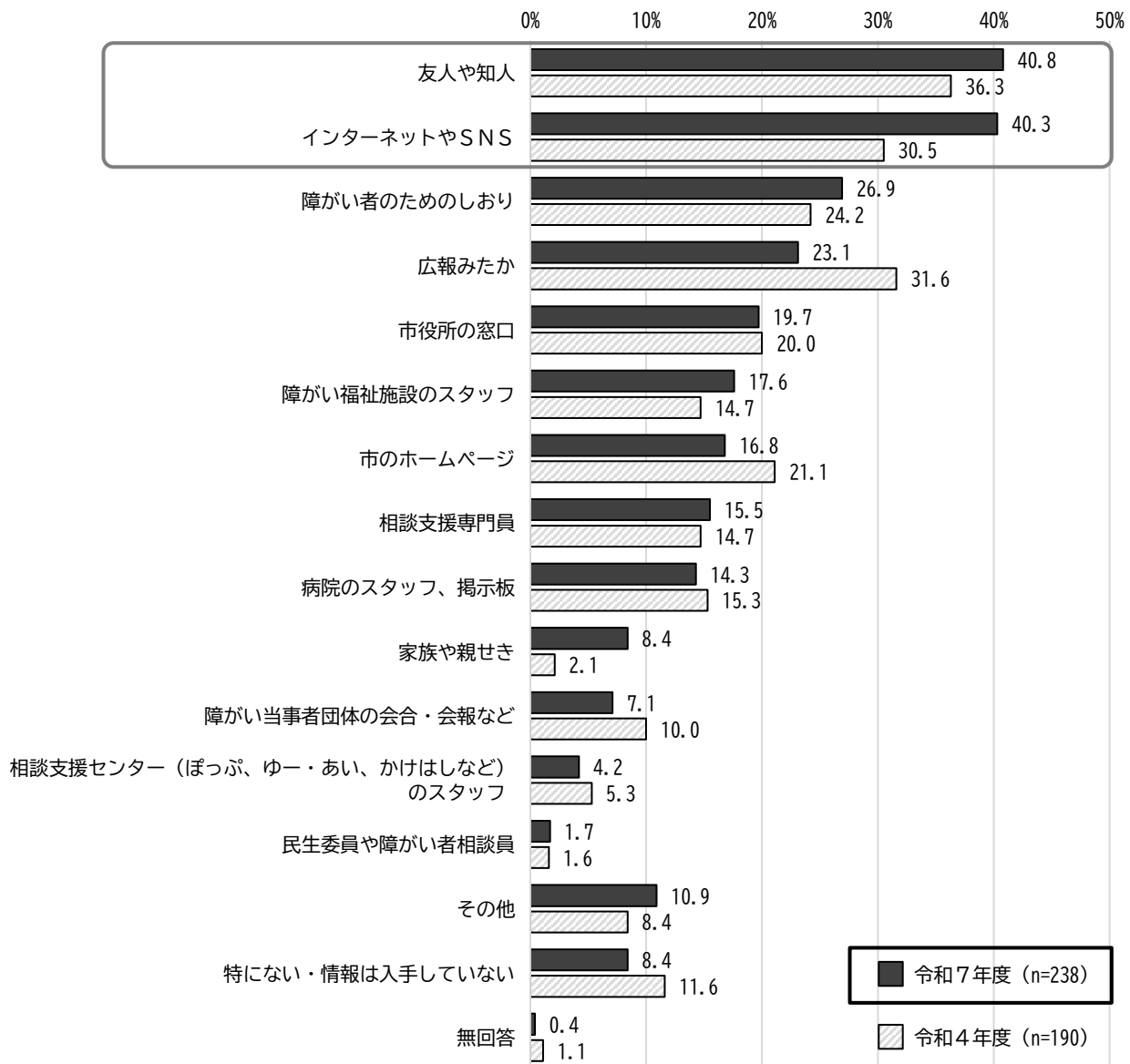
■ 性別・年齢・手帳の種類 (単位：%)

		回答者数	知らない人に面倒をみてもらうのは不安だから	必要がないから	相談先がわからないから	制度の内容及くわからないから	家族信託など別の制度を既に利用しているから(利用を想定しているから)
全体		27	51.9	37.0	11.1	3.7	3.7
性別	男性	19	57.9	26.3	15.8	5.3	5.3
	女性	7	42.9	57.1	0.0	0.0	0.0
年齢	0～5歳	1	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	6～11歳	10	30.0	50.0	0.0	0.0	0.0
	12～17歳	16	62.5	31.3	18.8	6.3	6.3
手帳の種類	身体障がい	13	38.5	61.5	7.7	0.0	0.0
	知的障がい	17	76.5	5.9	17.6	5.9	5.9
	精神障がい	1	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
	難病	4	50.0	50.0	25.0	0.0	0.0

9. 情報入手などについて

問25 お子さん（宛名の方）のための福祉制度やサービスなどの情報をどこから入手していますか。（複数回答）

福祉制度やサービスなどの情報の入手先について「友人や知人」が前回調査より増加し約4割と
なっています。また、「インターネットやSNS」も増加し約4割となっており、他の年齢層と比べて
「0～5歳」で多くなっています。



「その他」・・・学校、など

■ 性別・年齢・手帳の種類

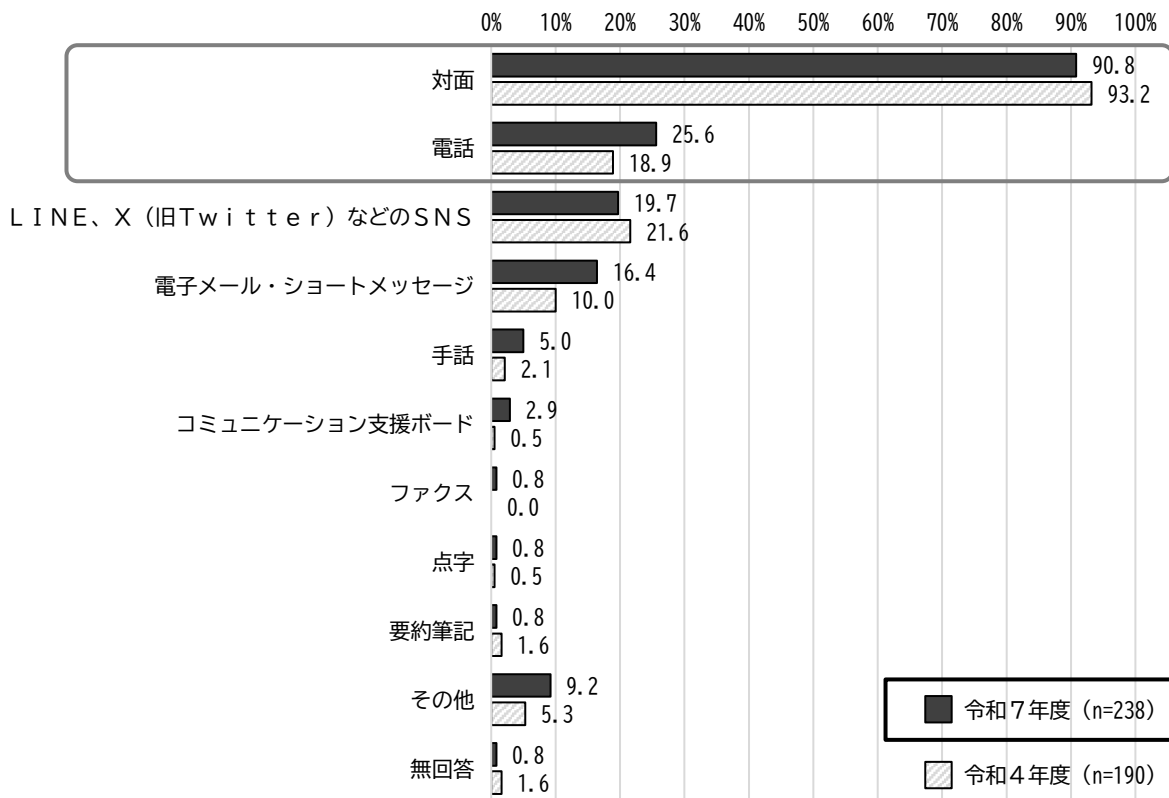
(単位：%)

		回答者数	友人や知人	インターネットやSNS	障がい者のためのしおり	広報みたか	市役所の窓口	障がい福祉施設のスタッフ	市のホームページ	相談支援専門員	病院のスタッフ、掲示板	家族や親せき	障がい当事者団体の会合・会報など	相談支援センター(ぼっぶ、ゆー・あい、かけはしなど)のスタッフ	民生委員や障がい者相談員	特になし・情報は入手していない
全体		238	40.8	40.3	26.9	23.1	19.7	17.6	16.8	15.5	14.3	8.4	7.1	4.2	1.7	8.4
性別	男性	163	42.9	40.5	23.9	24.5	20.2	19.0	13.5	19.0	15.3	8.6	8.0	3.7	1.8	7.4
	女性	73	34.2	41.1	31.5	20.5	17.8	15.1	24.7	8.2	12.3	8.2	5.5	5.5	1.4	11.0
年齢	0～5歳	24	33.3	54.2	25.0	16.7	12.5	20.8	16.7	8.3	20.8	8.3	16.7	0.0	0.0	4.2
	6～11歳	98	46.9	40.8	23.5	25.5	21.4	17.3	20.4	16.3	14.3	10.2	6.1	3.1	2.0	6.1
	12～17歳	115	37.4	37.4	30.4	22.6	20.0	17.4	13.9	16.5	13.0	7.0	6.1	6.1	1.7	10.4
手帳の種類	身体障がい	58	24.1	31.0	27.6	20.7	32.8	17.2	19.0	17.2	22.4	12.1	8.6	6.9	0.0	6.9
	知的障がい	178	47.2	43.3	28.7	24.7	18.5	19.7	16.3	15.7	10.7	7.3	6.7	5.1	2.2	6.2
	精神障がい	19	21.1	26.3	21.1	15.8	21.1	10.5	10.5	10.5	26.3	10.5	5.3	0.0	0.0	21.1
	難病	25	28.0	44.0	32.0	44.0	36.0	16.0	36.0	16.0	16.0	12.0	16.0	4.0	0.0	4.0

B 障がい児調査 9. 情報入手などについて

問26 お子さん(宛名の方)が、普段の生活でコミュニケーションを取る時に使用している手段は何ですか。(複数回答)

コミュニケーションを取る時に使用している手段について「対面」は前回調査から微減し約9割となっています。また、「電話」について増加し2割を超えており、他の年齢層と比べて「12～17歳」で、他の手帳保持者と比べて「精神障がい」手帳保持者で多くなっています。



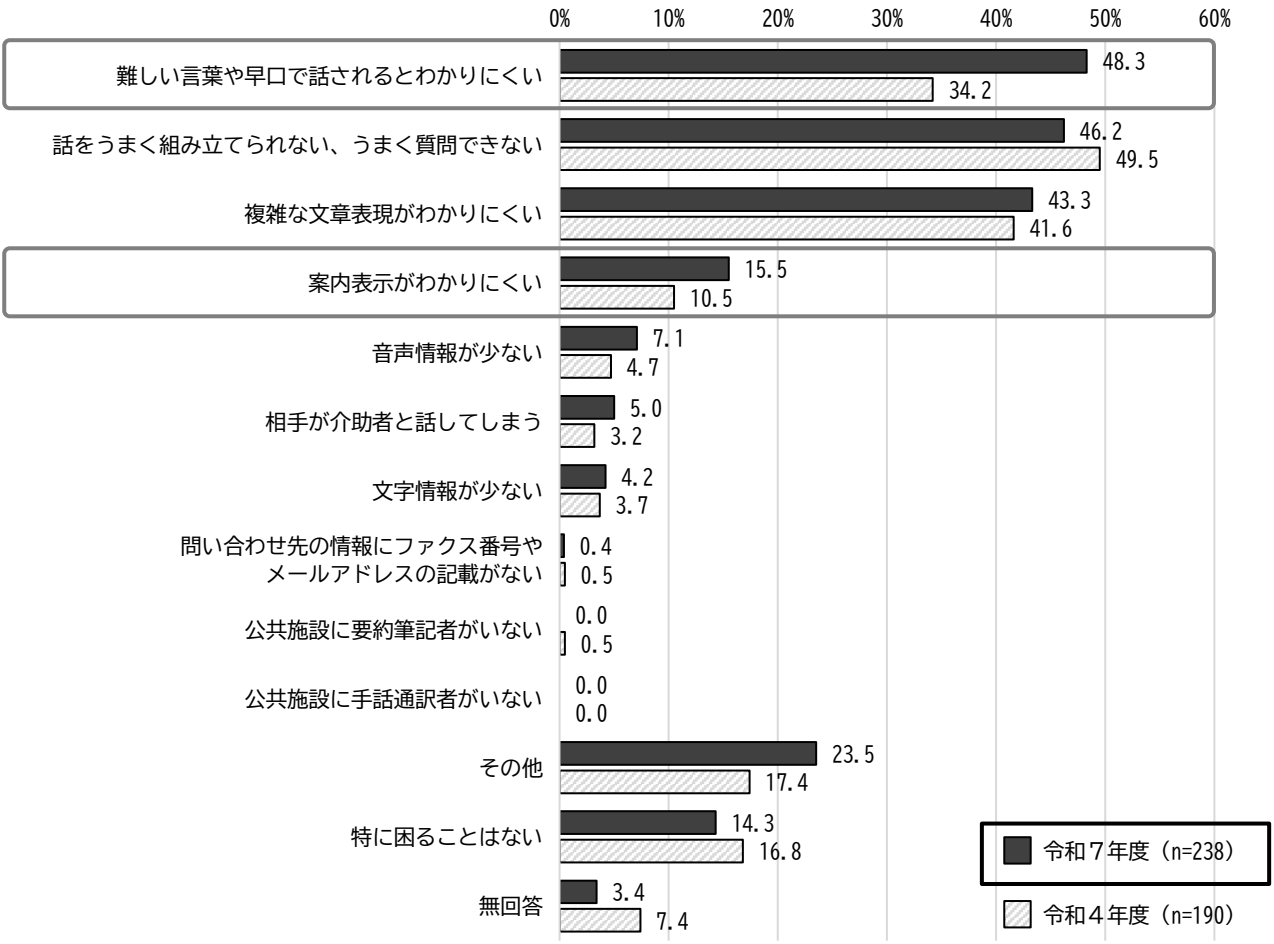
■ 性別・年齢・手帳の種類

(単位：%)

		回答者数	対面	電話	LINE、X(旧Twitter)などのSNS	電子メール・ショートメッセージ	手話	コミュニケーション支援ボード	ファクス	点字	要約筆記
全体		238	90.8	25.6	19.7	16.4	5.0	2.9	0.8	0.8	0.8
性別	男性	163	92.6	23.9	19.0	13.5	6.1	3.1	0.6	1.2	0.6
	女性	73	86.3	30.1	21.9	23.3	2.7	2.7	1.4	0.0	1.4
年齢	0～5歳	24	87.5	0.0	0.0	0.0	8.3	0.0	0.0	0.0	0.0
	6～11歳	98	91.8	14.3	5.1	4.1	3.1	3.1	1.0	0.0	1.0
	12～17歳	115	90.4	40.9	36.5	30.4	6.1	3.5	0.9	1.7	0.9
手帳の種類	身体障がい	58	89.7	31.0	25.9	20.7	10.3	5.2	1.7	1.7	1.7
	知的障がい	178	92.1	21.3	15.2	12.9	4.5	2.8	0.6	1.1	0.6
	精神障がい	19	89.5	52.6	42.1	21.1	0.0	5.3	5.3	0.0	0.0
	難病	25	80.0	32.0	28.0	20.0	8.0	8.0	4.0	4.0	4.0

問27 お子さん（宛名の方）が、情報入手やコミュニケーションで困ることは何ですか。
（複数回答）

情報入手やコミュニケーションで「難しい言葉や早口で話されるとわかりにくい」人は前回調査から大幅に増加し約5割となっています。また、「案内表示がわかりにくい」人も増加し1割を超えています。



「その他」・・・まだその段階にない、まだ言葉を覚えていない、など

B 障がい児調査 9. 情報入手などについて

■ 性別・年齢・手帳の種類

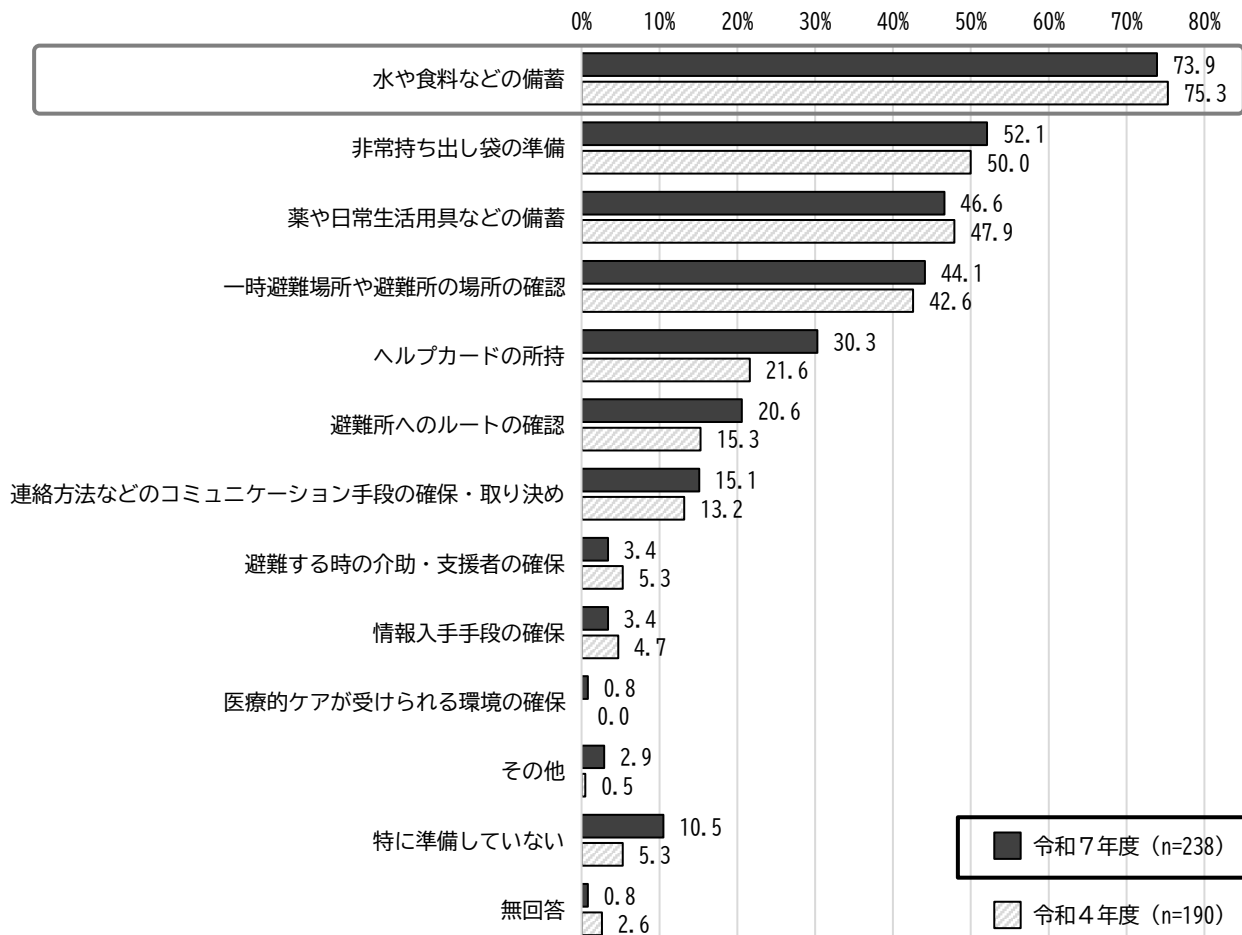
(単位：%)

		回答者数	難しい言葉や早口で話されるとわかりにくい	話をうまく組み立てられない、うまく質問できない	複雑な文章表現がわかりにくい	案内表示がわかりにくい	音声情報が少ない	相手が介助者と話してしまう	文字情報が少ない	問い合わせ先の情報にファクス番号やメールアドレスの記載がない	公共施設に要約筆記者がいない	公共施設に手話通訳者がいない	特に困ることはない
全体		238	48.3	46.2	43.3	15.5	7.1	5.0	4.2	0.4	0.0	0.0	14.3
性別	男性	163	49.1	49.1	44.2	15.3	5.5	4.9	3.1	0.0	0.0	0.0	10.4
	女性	73	46.6	41.1	42.5	16.4	11.0	5.5	6.8	1.4	0.0	0.0	21.9
年齢	0～5歳	24	25.0	16.7	8.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	20.8
	6～11歳	98	51.0	48.0	37.8	14.3	9.2	6.1	7.1	0.0	0.0	0.0	10.2
	12～17歳	115	51.3	51.3	55.7	20.0	7.0	5.2	2.6	0.9	0.0	0.0	16.5
手帳の種類	身体障がい	58	25.9	25.9	22.4	10.3	5.2	5.2	3.4	1.7	0.0	0.0	34.5
	知的障がい	178	55.6	53.4	51.7	18.0	9.0	6.2	3.9	0.6	0.0	0.0	2.8
	精神障がい	19	31.6	36.8	21.1	10.5	0.0	0.0	5.3	0.0	0.0	0.0	42.1
	難病	25	28.0	24.0	40.0	12.0	16.0	4.0	4.0	4.0	0.0	0.0	44.0

10. 災害時対策、緊急時の対応などについて

問28 災害に備えて、準備をしていることは何ですか。(複数回答)

災害に備えて準備をしていることについて前回調査から概ねそれぞれの割合に変化はなく、「水や食料などの備蓄」をしている人は7割を超えており、他の手帳保持者と比べて「身体障がい」手帳保持者で多くなっています。



B 障がい児調査 10. 災害時対策、緊急時の対応などについて

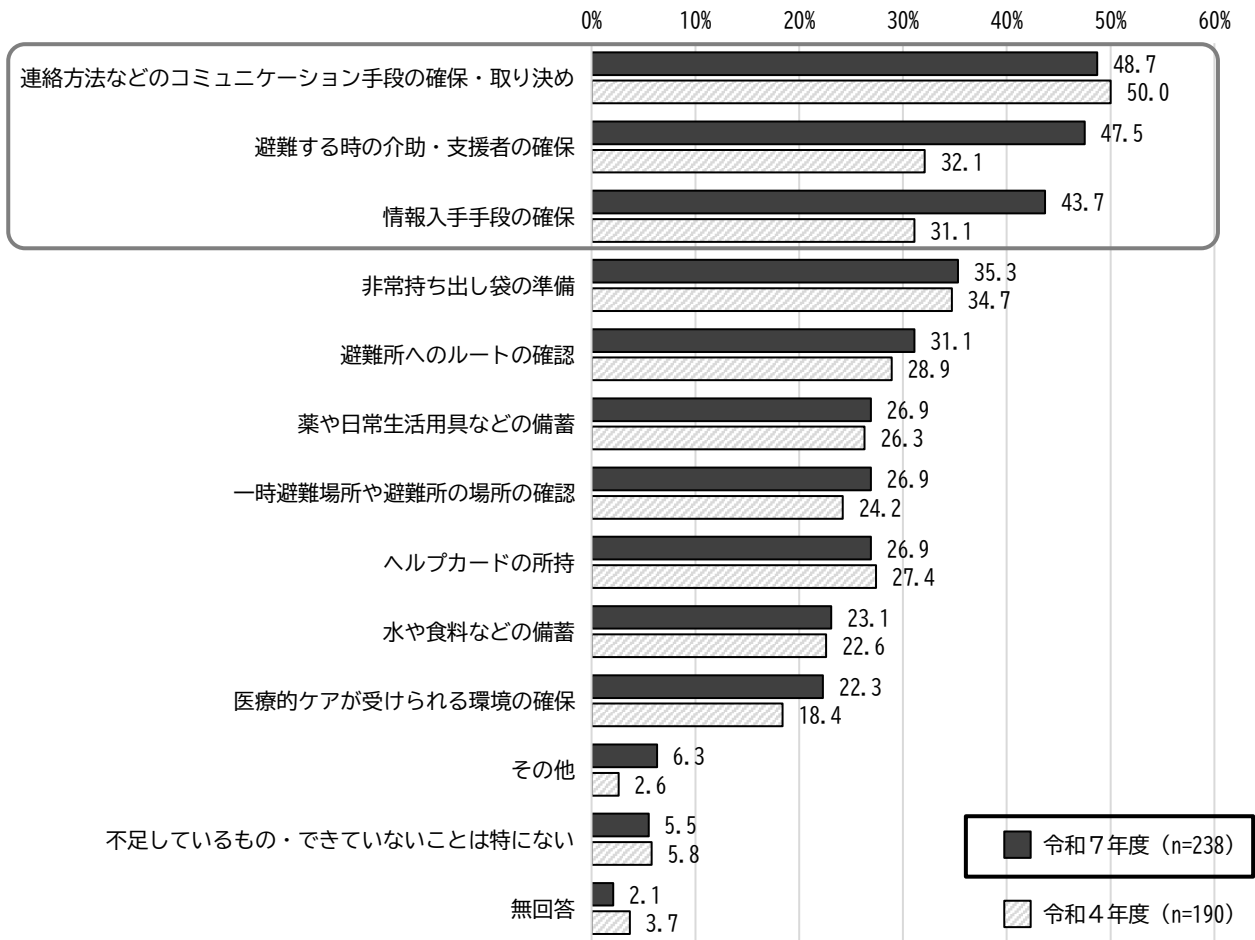
■ 性別・年齢・手帳の種類

(単位：%)

		回答者数	水や食料などの備蓄	非常持ち出し袋の準備	薬や日常生活用具などの備蓄	一時避難場所や避難所の場所の確認	ヘルプカードの所持	避難所へのルートの確認	連絡方法などのコミュニケーション手段の確保・取り決め	避難する時の介助・支援者の確保	情報入手手段の確保	医療的ケアが受けられる環境の確保	特に準備していない
全体		238	73.9	52.1	46.6	44.1	30.3	20.6	15.1	3.4	3.4	0.8	10.5
性別	男性	163	75.5	52.8	47.2	47.9	33.1	19.6	17.2	3.7	3.7	1.2	8.6
	女性	73	69.9	50.7	45.2	35.6	24.7	23.3	11.0	2.7	2.7	0.0	15.1
年齢	0～5歳	24	75.0	50.0	45.8	50.0	16.7	12.5	8.3	0.0	8.3	4.2	12.5
	6～11歳	98	73.5	59.2	46.9	40.8	26.5	25.5	15.3	2.0	3.1	1.0	10.2
	12～17歳	115	74.8	47.0	47.0	46.1	36.5	18.3	15.7	4.3	2.6	0.0	10.4
手帳の種類	身体障がい	58	81.0	48.3	46.6	34.5	32.8	19.0	15.5	3.4	5.2	1.7	8.6
	知的障がい	178	71.9	51.7	47.8	43.3	33.7	20.8	14.0	3.9	3.4	0.6	11.8
	精神障がい	19	78.9	57.9	36.8	52.6	15.8	15.8	21.1	0.0	0.0	0.0	5.3
	難病	25	72.0	64.0	36.0	32.0	40.0	8.0	4.0	0.0	0.0	4.0	4.0

問29 災害時の備えとして足りていないこと、できていないことは何ですか。(複数回答)

災害の備えとして足りていないこと、できていないことについて「連絡方法などのコミュニケーション手段の確保・取り決め」が前回調査より微減し約5割となっています。一方で「避難する時の介助・支援者の確保」が大幅に増加し約5割となっており、「情報入手手段の確保」も大幅に増加し4割を超えています。



B 障がい児調査 10. 災害時対策、緊急時の対応などについて

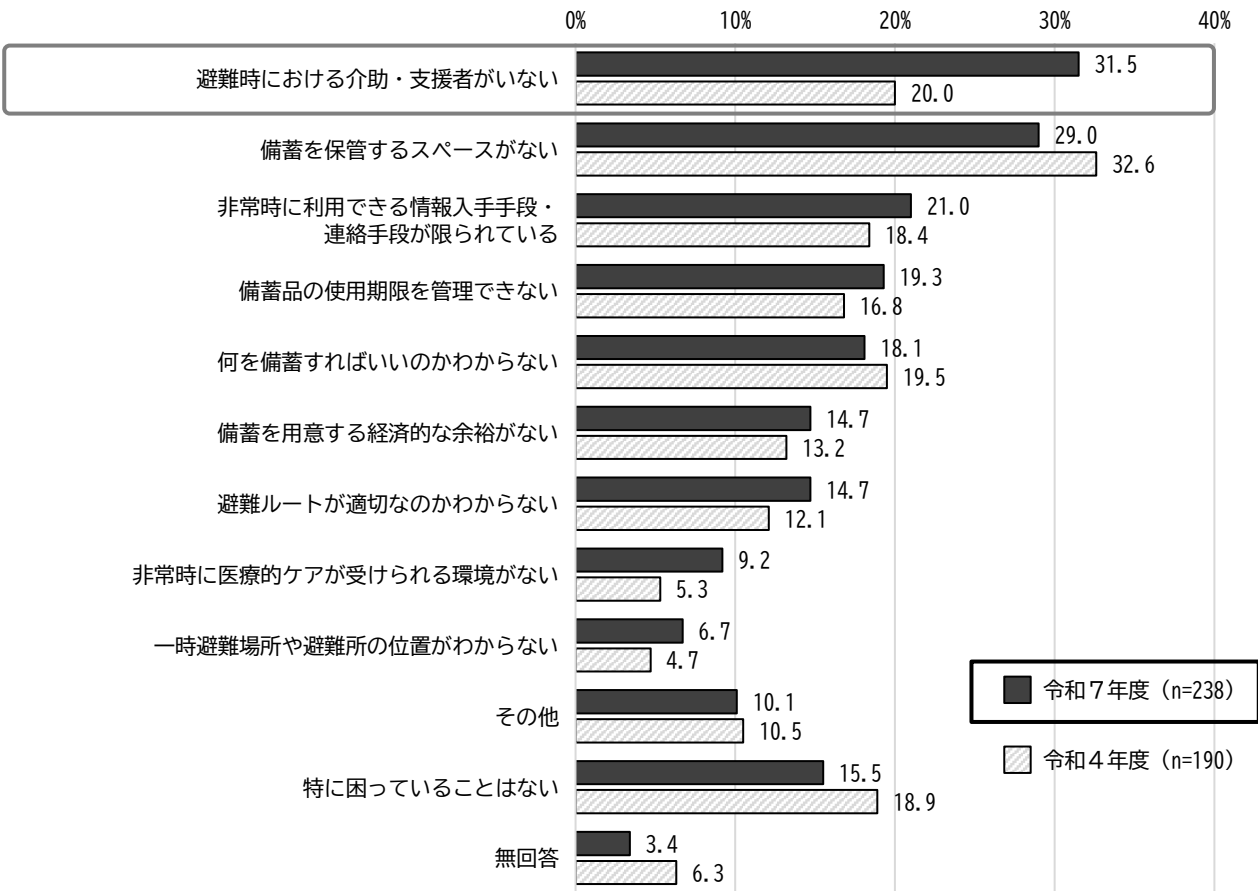
■ 性別・年齢・手帳の種類

(単位：%)

		回答者数	連絡方法などのコミュニケーション手段の確保・取り決め	避難する時の介助・支援者の確保	情報入手手段の確保	非常持ち出し袋の準備	避難所へのルートの確認	薬や日常生活用具などの備蓄	一時避難場所や避難所の場所の確認	ヘルプカードの所持	水や食料などの備蓄	医療的ケアが受けられる環境の確保	不足しているもの・できていないことは特になし
全 体		238	48.7	47.5	43.7	35.3	31.1	26.9	26.9	26.9	23.1	22.3	5.5
性別	男性	163	50.3	47.2	44.8	31.9	28.2	24.5	23.3	25.2	22.7	19.6	4.9
	女性	73	46.6	49.3	42.5	42.5	38.4	32.9	35.6	31.5	24.7	28.8	5.5
年齢	0～5歳	24	58.3	70.8	37.5	29.2	33.3	29.2	33.3	41.7	25.0	25.0	0.0
	6～11歳	98	54.1	51.0	52.0	32.7	36.7	31.6	28.6	27.6	23.5	25.5	7.1
	12～17歳	115	42.6	40.0	38.3	39.1	26.1	22.6	24.3	23.5	22.6	19.1	5.2
手帳の種類	身体障がい	58	37.9	44.8	31.0	27.6	27.6	19.0	31.0	15.5	17.2	24.1	6.9
	知的障がい	178	53.9	52.8	50.6	39.9	34.3	28.7	28.7	29.2	26.4	21.9	5.1
	精神障がい	19	36.8	31.6	31.6	26.3	21.1	31.6	10.5	31.6	10.5	31.6	5.3
	難病	25	36.0	48.0	32.0	20.0	48.0	20.0	36.0	8.0	20.0	32.0	8.0

問30 災害時の準備をする上で、困っていることは何ですか。(複数回答)

災害時の準備をする上で困っていることについて「避難時における介助・支援者がいない」が大幅に増加し約3割となっており、他の手帳保持者と比べて「難病」手帳保持者で多くなっています。



性別・年齢・手帳の種類

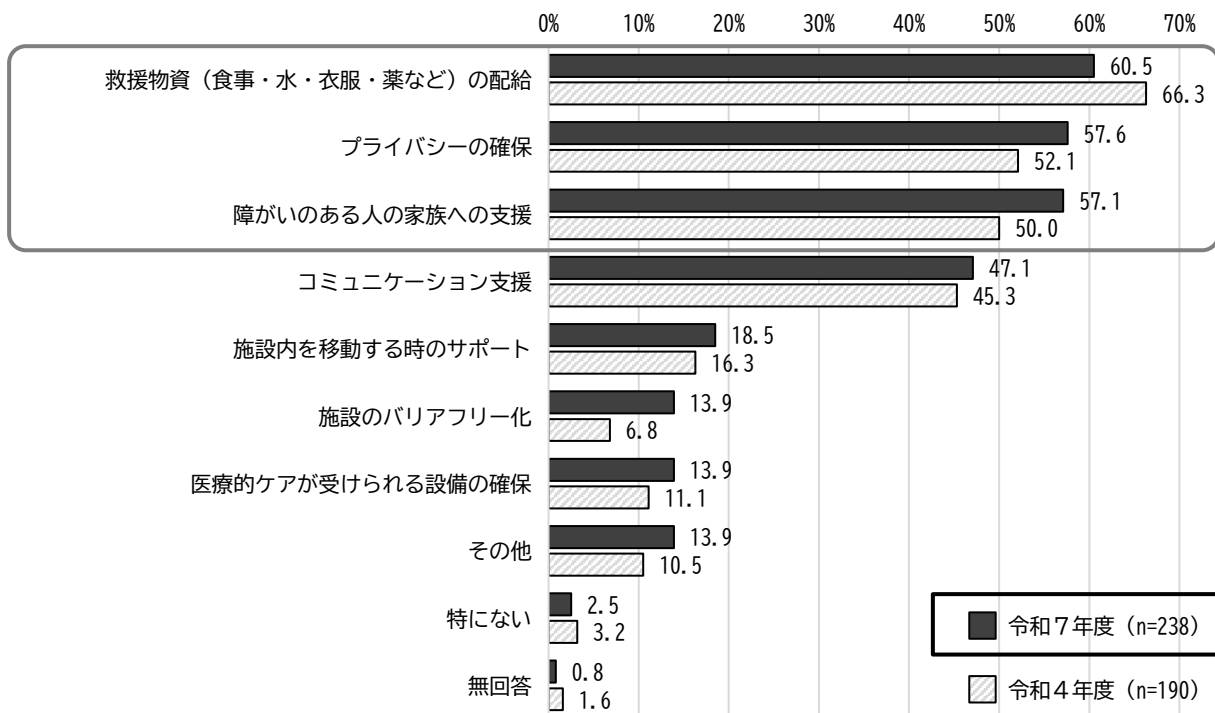
(単位：%)

		回答者数	避難時における介助・支援者がいない	備蓄を保管するスペースがない	非常時に利用できる情報入手手段・連絡手段が限られている	備蓄品の使用期限を管理できない	何を備蓄すればいいのかわからない	備蓄を用意する経済的な余裕がない	避難ルートが適切なのかわからない	非常時に医療的ケアが受けられる環境がない	一時避難場所や避難所の位置がわからない	特に困っていることはない
全体		238	31.5	29.0	21.0	19.3	18.1	14.7	14.7	9.2	6.7	15.5
性別	男性	163	31.9	29.4	22.1	16.6	16.6	13.5	11.7	9.2	4.9	14.7
	女性	73	31.5	28.8	19.2	26.0	21.9	17.8	21.9	9.6	11.0	16.4
年齢	0～5歳	24	25.0	20.8	16.7	25.0	25.0	4.2	12.5	8.3	4.2	16.7
	6～11歳	98	37.8	26.5	27.6	23.5	23.5	16.3	15.3	10.2	11.2	12.2
	12～17歳	115	27.8	33.0	16.5	14.8	12.2	15.7	14.8	8.7	3.5	18.3
手帳の種類	身体障がい	58	24.1	29.3	15.5	10.3	13.8	6.9	13.8	15.5	6.9	22.4
	知的障がい	178	36.0	29.2	23.0	22.5	20.2	16.9	15.2	7.3	7.9	13.5
	精神障がい	19	21.1	21.1	26.3	15.8	21.1	26.3	5.3	15.8	0.0	15.8
	難病	25	40.0	40.0	28.0	24.0	16.0	20.0	32.0	32.0	16.0	8.0

B 障がい児調査 10. 災害時対策、緊急時の対応などについて

問31 お子さん（宛名の方）が、避難所で生活するために必要な支援は何ですか。
（複数回答）

避難所での生活に必要な支援について「救援物資（食事・水・衣服・薬など）の配給」が前回調査より減少し約6割となっています。一方で「プライバシーの確保」が増加し約6割となっており、「障がいのある人の家族への支援」も増加し6割弱となっています。



「その他」・・・きれいなトイレ、パニックになった時の対応、など

■ 性別・年齢・手帳の種類

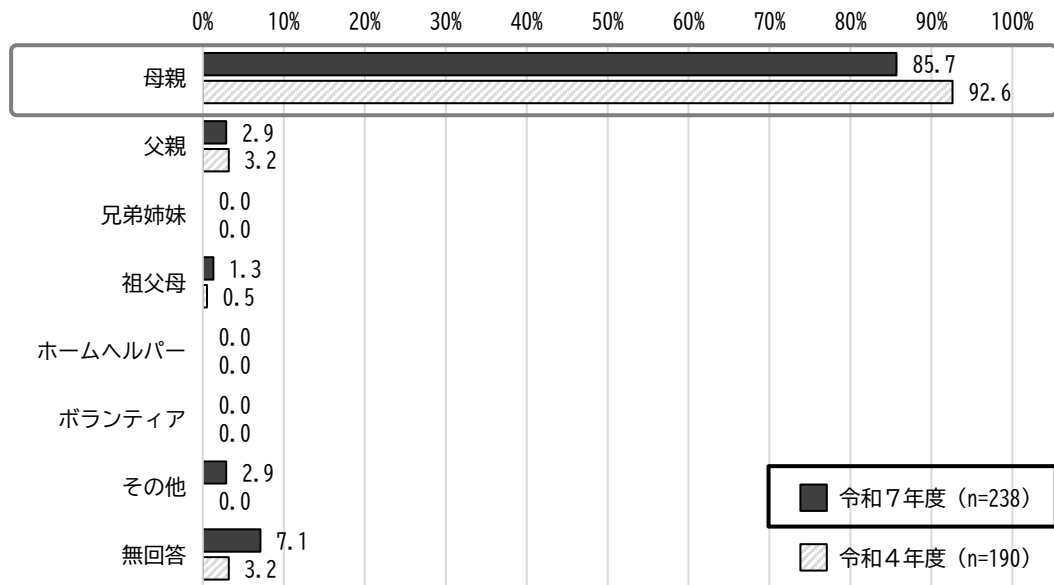
(単位：%)

		回答者数	救援物資（食事・水・衣服・薬など）の配給	プライバシーの確保	障がいのある人の家族への支援	コミュニケーション支援	施設内を移動する時のサポート	施設のバリアフリー化	医療的ケアが受けられる設備の確保	特になし
全体		238	60.5	57.6	57.1	47.1	18.5	13.9	13.9	2.5
性別	男性	163	61.3	54.0	60.7	50.3	17.8	12.3	9.2	1.8
	女性	73	58.9	65.8	50.7	41.1	20.5	17.8	24.7	4.1
年齢	0～5歳	24	75.0	58.3	54.2	37.5	8.3	8.3	12.5	0.0
	6～11歳	98	59.2	54.1	66.3	52.0	24.5	12.2	14.3	2.0
	12～17歳	115	59.1	60.9	49.6	45.2	15.7	16.5	13.9	3.5
手帳の種類	身体障がい	58	51.7	48.3	46.6	25.9	19.0	29.3	22.4	5.2
	知的障がい	178	63.5	61.2	62.4	55.1	19.1	11.2	11.2	1.1
	精神障がい	19	68.4	57.9	47.4	31.6	15.8	5.3	21.1	5.3
	難病	25	52.0	60.0	44.0	28.0	24.0	32.0	28.0	4.0

11. 主にケアしている方について

問32 自宅でお子さん（宛名の方）を主にケアしている方は誰ですか。お子さんから見た関係でお答えください。（単一回答）

主にケアしている方について「母親」が前回調査より減少していますが、8割を超えています。



性別・年齢・手帳の種類

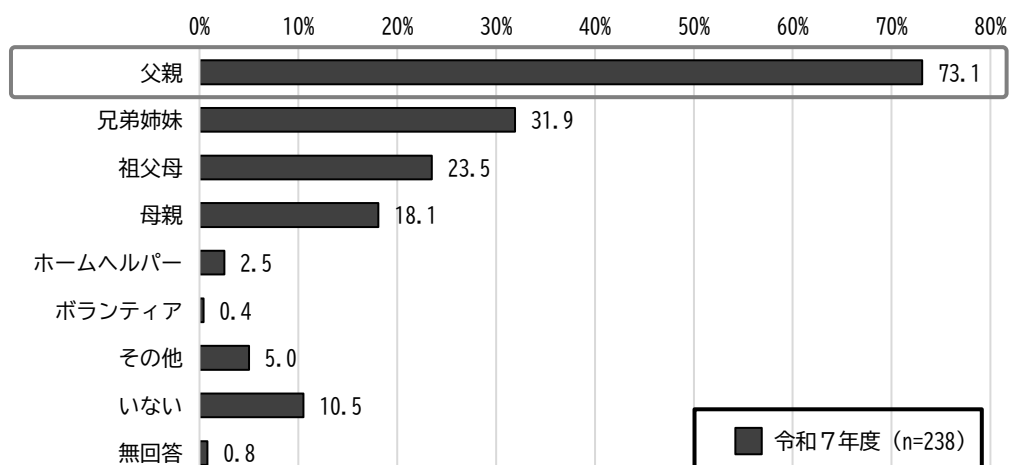
(単位：%)

		回答者数	母親	父親	兄弟姉妹	祖父母	ホームヘルパー	ボランティア
全体		238	85.7	2.9	0.0	1.3	0.0	0.0
性別	男性	163	85.9	3.7	0.0	1.2	0.0	0.0
	女性	73	86.3	1.4	0.0	1.4	0.0	0.0
年齢	0～5歳	24	87.5	4.2	0.0	0.0	0.0	0.0
	6～11歳	98	88.8	1.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	12～17歳	115	83.5	4.3	0.0	1.7	0.0	0.0
手帳の種類	身体障がい	58	79.3	3.4	0.0	0.0	0.0	0.0
	知的障がい	178	88.2	3.4	0.0	1.7	0.0	0.0
	精神障がい	19	73.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	難病	25	88.0	4.0	0.0	0.0	0.0	0.0

B 障がい児調査 11.主にケアしている方について

問33 お子さん（宛名の方）のケアをする時に手伝ってくれる人は誰ですか。（複数回答）

手伝ってくれる人について「父親」が7割を超えており、他の年齢層と比べて「0～5歳」で多くなっています。



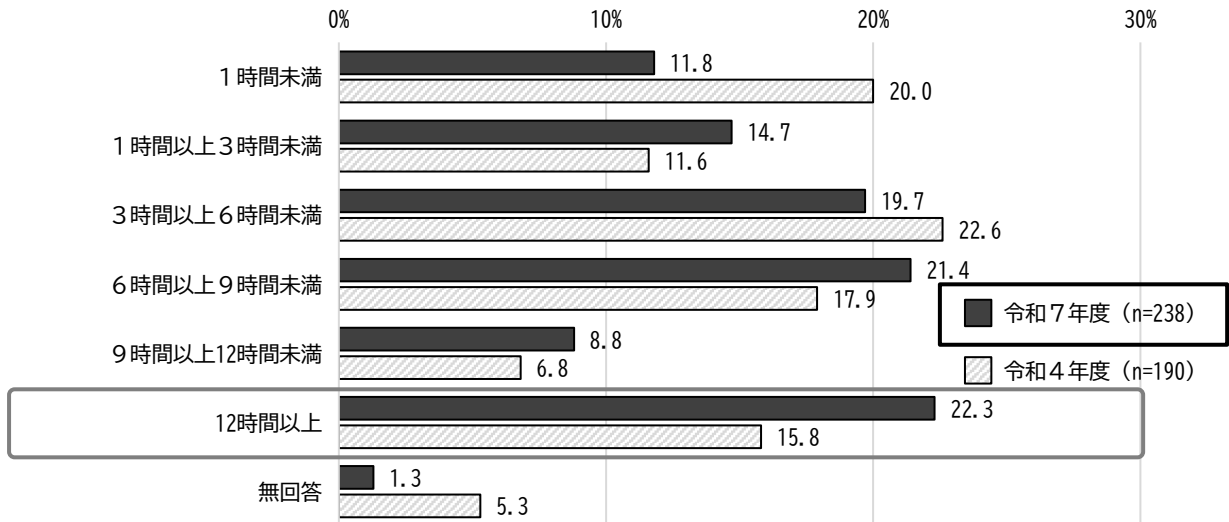
■ 性別・年齢・手帳の種類

(単位：%)

		回答者数	父親	兄弟姉妹	祖父母	母親	ホームヘルパー	ボランティア	いない
全体		238	73.1	31.9	23.5	18.1	2.5	0.4	10.5
性別	男性	163	76.1	30.1	25.2	16.0	3.7	0.0	10.4
	女性	73	67.1	35.6	20.5	21.9	0.0	1.4	9.6
年齢	0～5歳	24	83.3	12.5	25.0	12.5	0.0	0.0	4.2
	6～11歳	98	80.6	30.6	25.5	17.3	3.1	1.0	9.2
	12～17歳	115	65.2	37.4	21.7	20.0	1.7	0.0	12.2
手帳の種類	身体障がい	58	72.4	29.3	27.6	17.2	0.0	1.7	8.6
	知的障がい	178	77.0	34.3	22.5	16.3	2.8	0.6	10.1
	精神障がい	19	57.9	15.8	15.8	26.3	5.3	0.0	26.3
	難病	25	68.0	24.0	24.0	16.0	0.0	4.0	8.0

問34 お子さん(宛名の方)を主にケアしている方の、1日のケア時間をお答えください(見守りも含む)。(単一回答)

1日のケア時間について「12時間以上」が前回調査から増加し約2割となっており、他の年齢層と比べて「0～5歳」で多くなっています。



■ 性別・年齢・手帳の種類

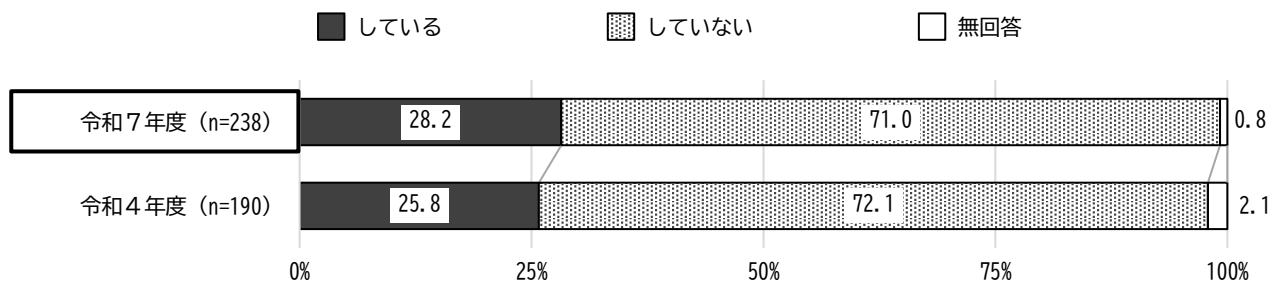
(単位：%)

		回答者数	1時間未満	1時間以上3時間未満	3時間以上6時間未満	6時間以上9時間未満	9時間以上12時間未満	12時間以上
全体		238	11.8	14.7	19.7	21.4	8.8	22.3
性別	男性	163	11.7	16.0	19.6	19.6	8.6	23.3
	女性	73	11.0	12.3	20.5	26.0	9.6	19.2
年齢	0～5歳	24	0.0	0.0	8.3	16.7	8.3	66.7
	6～11歳	98	4.1	12.2	24.5	24.5	14.3	17.3
	12～17歳	115	20.9	20.0	18.3	20.0	4.3	16.5
手帳の種類	身体障がい	58	19.0	15.5	15.5	10.3	8.6	29.3
	知的障がい	178	9.0	14.0	21.9	24.2	9.0	21.3
	精神障がい	19	15.8	10.5	21.1	21.1	5.3	21.1
	難病	25	24.0	8.0	24.0	16.0	4.0	24.0

B 障がい児調査 11.主にケアしている方について

問35 お子さんを主にケアしている方は、調査対象となったお子さん以外の乳幼児、高齢者、病気・障がいのある人のお世話をしていますか。(単一回答)

乳幼児、高齢者、病気・障がいのある人のお世話を他に「している」人は前回調査から増加し約3割となっており、他の手帳所持者と比べて「難病」手帳所持者で多くなっています。

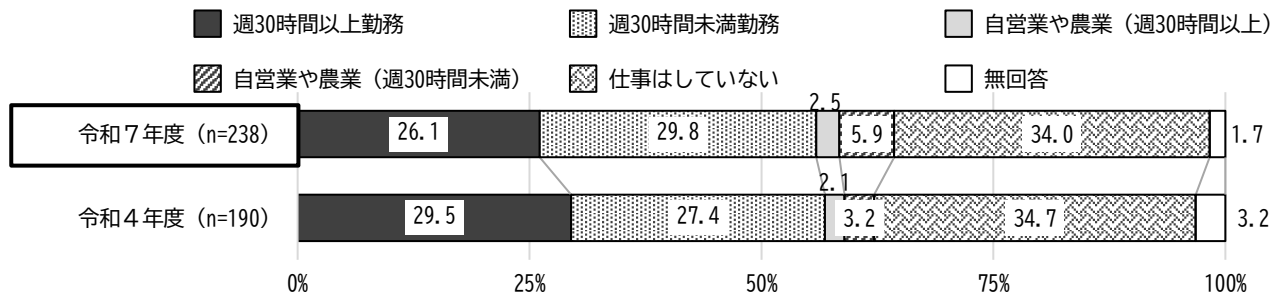


■ 性別・年齢・手帳の種類 (単位：%)

		回答者数	している	していない
全体		238	28.2	71.0
性別	男性	163	29.4	69.3
	女性	73	26.0	74.0
年齢	0～5歳	24	37.5	62.5
	6～11歳	98	28.6	70.4
	12～17歳	115	25.2	73.9
手帳の種類	身体障がい	58	27.6	70.7
	知的障がい	178	24.2	75.3
	精神障がい	19	36.8	63.2
	難病	25	44.0	56.0

問36 お子さん（宛名の方）を主にケアしている方は、現在、仕事をしていますか。
（単一回答）

就労状況について前回調査から概ねそれぞれの割合に変化はなく、「週30時間以上勤務」の人が2割を超え、「週30時間未満勤務」の人が約3割となっています。



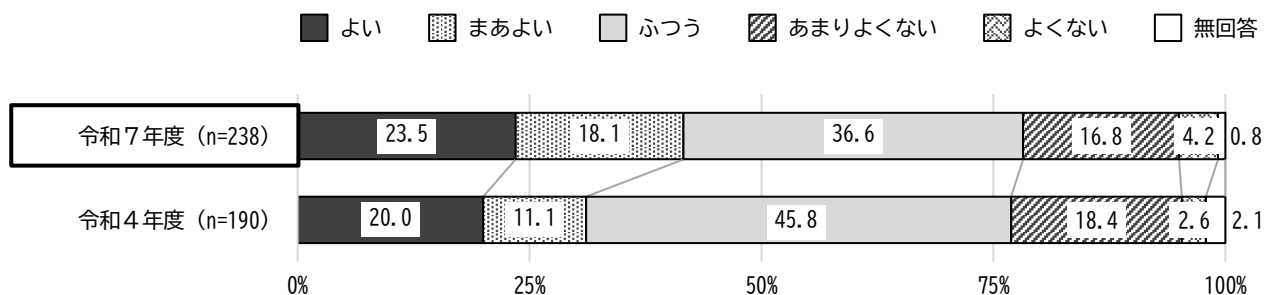
■ 性別・年齢・手帳の種類 (単位：%)

		回答者数	週30時間以上勤務	週30時間未満勤務	自営業や農業 (週30時間以上)	自営業や農業 (週30時間未満)	仕事はしていない
全体		238	26.1	29.8	2.5	5.9	34.0
性別	男性	163	24.5	32.5	1.8	4.9	35.6
	女性	73	30.1	24.7	4.1	8.2	28.8
年齢	0～5歳	24	20.8	12.5	0.0	4.2	62.5
	6～11歳	98	26.5	29.6	3.1	7.1	31.6
	12～17歳	115	27.0	33.9	2.6	5.2	29.6
手帳の種類	身体障がい	58	29.3	27.6	0.0	5.2	36.2
	知的障がい	178	24.7	33.7	2.2	5.1	33.1
	精神障がい	19	21.1	21.1	10.5	15.8	26.3
	難病	25	28.0	36.0	0.0	4.0	32.0

B 障がい児調査 11.主にケアしている方について

問37 お子さん（宛名の方）を主にケアしている方の現在の健康状態はいかがですか。
（単一回答）

健康状態について「よい」人が前回調査から増加し2割を超え、「まあよい」人も増加し約2割と
なっています。



■ 性別・年齢・手帳の種類

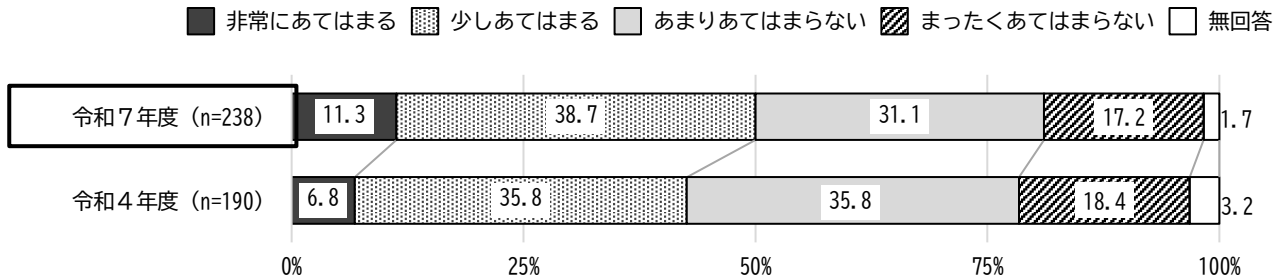
（単位：%）

		回答者数	よい	まあよい	ふつう	あまりよくない	よくない
全体		238	23.5	18.1	36.6	16.8	4.2
性別	男性	163	22.7	15.3	39.3	18.4	3.7
	女性	73	24.7	24.7	30.1	13.7	5.5
年齢	0～5歳	24	25.0	16.7	50.0	4.2	4.2
	6～11歳	98	23.5	19.4	33.7	18.4	3.1
	12～17歳	115	23.5	17.4	36.5	17.4	5.2
手帳の種類	身体障がい	58	31.0	19.0	31.0	15.5	1.7
	知的障がい	178	24.2	18.0	37.1	17.4	2.8
	精神障がい	19	5.3	15.8	31.6	31.6	15.8
	難病	25	8.0	16.0	48.0	20.0	8.0

問38 お子さん（宛名の方）を主にケアしている方は、次のような問題にどの程度あてはまりますか。（単一回答）

① 子どものケアに疲れて、身体の調子がよくない

子どものケアに疲れて、身体の調子がよくないに「非常にあてはまる」人が前回調査より増加し約1割となっており、他の手帳所持者と比べて「精神障がい」手帳保持者で多くなっています。



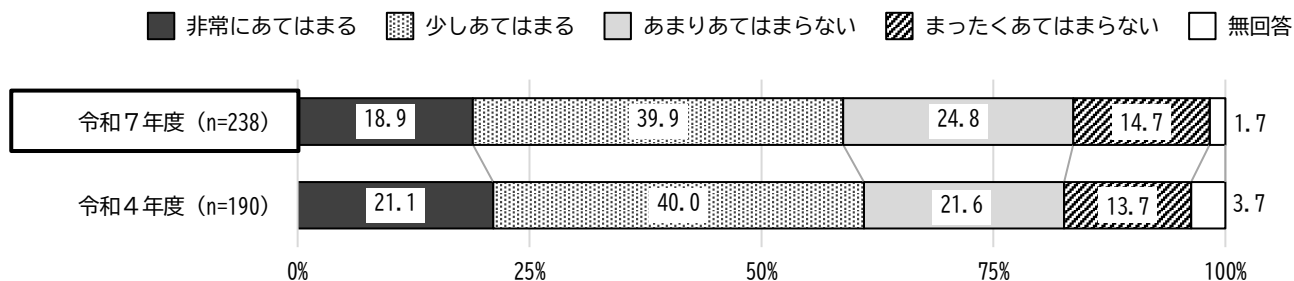
■ 性別・年齢・手帳の種類 (単位：%)

		回答者数	非常にあてはまる	少しあてはまる	あまりあてはまらない	まったくあてはまらない
全体		238	11.3	38.7	31.1	17.2
性別	男性	163	11.0	38.7	30.7	17.8
	女性	73	12.3	38.4	31.5	16.4
年齢	0～5歳	24	8.3	33.3	33.3	25.0
	6～11歳	98	14.3	46.9	27.6	8.2
	12～17歳	115	9.6	32.2	33.9	23.5
手帳の種類	身体障がい	58	8.6	36.2	24.1	29.3
	知的障がい	178	11.8	37.6	34.3	14.6
	精神障がい	19	21.1	47.4	10.5	21.1
	難病	25	12.0	36.0	40.0	12.0

B 障がい児調査 11.主にケアしている方について

② 子どものケアで、精神的にまいってしまう

子どものケアで、精神的にまいってしまうに「非常にあてはまる」人が前回調査より微減し約2割となっており、他の手帳所持者と比べて「精神障がい」手帳保持者で多くなっています。

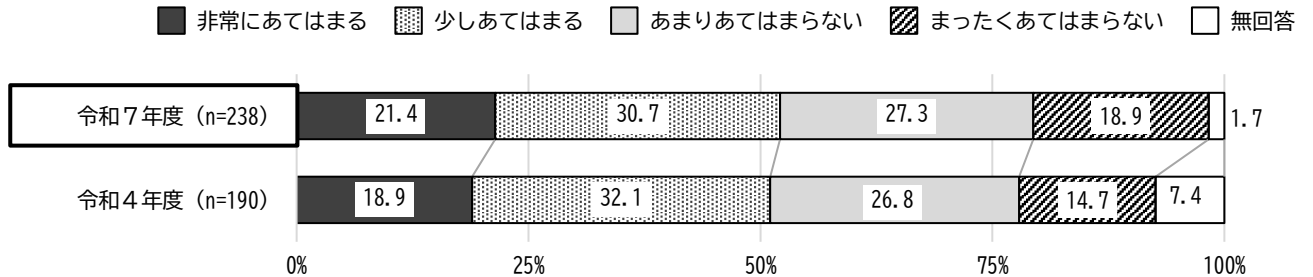


■ 性別・年齢・手帳の種類 (単位：%)

		回答者数	非常にあてはまる	少しあてはまる	あまりあてはまらない	まったくあてはまらない
全体		238	18.9	39.9	24.8	14.7
性別	男性	163	17.2	41.7	23.9	15.3
	女性	73	23.3	35.6	26.0	13.7
年齢	0～5歳	24	8.3	41.7	25.0	25.0
	6～11歳	98	22.4	44.9	22.4	7.1
	12～17歳	115	18.3	34.8	27.0	19.1
手帳の種類	身体障がい	58	17.2	31.0	20.7	29.3
	知的障がい	178	18.5	39.9	28.1	11.8
	精神障がい	19	42.1	42.1	5.3	10.5
	難病	25	12.0	48.0	24.0	16.0

③ 子どものケアのために仕事に出られない（希望する仕事に就けない／家業が思うようにできない）

子どものケアのために仕事に出られないに「非常にあてはまる」人が前回調査より微増し約2割となっており、他の手帳所持者と比べて「精神障がい」手帳保持者で多くなっています。



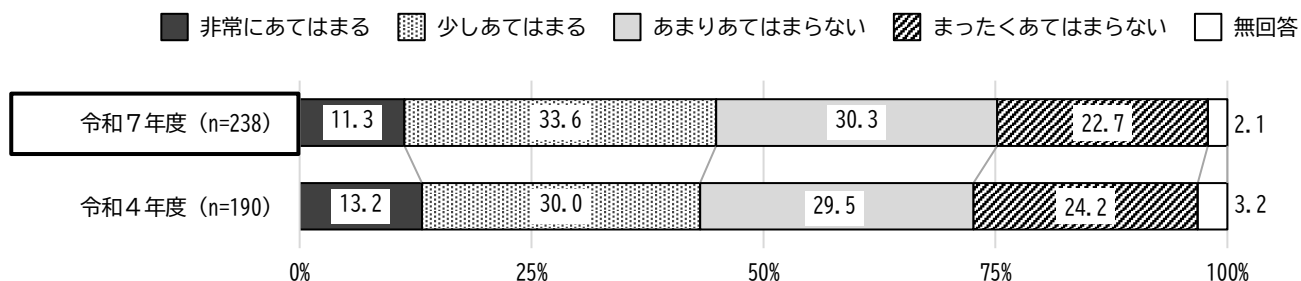
■ 性別・年齢・手帳の種類 (単位：%)

		回答者数	非常にあてはまる	少しあてはまる	あまりあてはまらない	まったくあてはまらない
全体		238	21.4	30.7	27.3	18.9
性別	男性	163	21.5	32.5	26.4	17.8
	女性	73	21.9	24.7	30.1	21.9
年齢	0～5歳	24	25.0	16.7	33.3	25.0
	6～11歳	98	27.6	38.8	18.4	12.2
	12～17歳	115	14.8	27.0	33.9	23.5
手帳の種類	身体障がい	58	24.1	27.6	19.0	27.6
	知的障がい	178	20.8	31.5	29.8	16.3
	精神障がい	19	31.6	31.6	26.3	10.5
	難病	25	16.0	36.0	28.0	20.0

B 障がい児調査 11.主にケアしている方について

④ 子どものケアのために他の家族の世話を思うように手がまわらない

子どものケアのために他の家族の世話を思うように手がまわらないに「非常にあてはまる」人が前回調査より微減し約1割となっており、他の手帳所持者と比べて「精神障がい」手帳保持者で多くなっています。

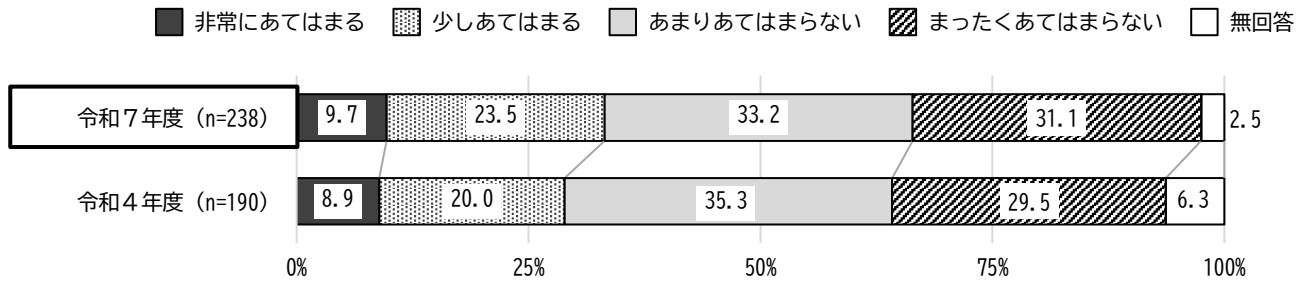


■ 性別・年齢・手帳の種類 (単位：%)

		回答者数	非常にあてはまる	少しあてはまる	あまりあてはまらない	まったくあてはまらない
全体		238	11.3	33.6	30.3	22.7
性別	男性	163	11.0	31.9	31.3	23.9
	女性	73	12.3	37.0	28.8	19.2
年齢	0～5歳	24	8.3	33.3	29.2	29.2
	6～11歳	98	16.3	39.8	28.6	12.2
	12～17歳	115	7.8	28.7	31.3	30.4
手帳の種類	身体障がい	58	8.6	31.0	22.4	34.5
	知的障がい	178	12.9	33.1	32.6	19.7
	精神障がい	19	21.1	36.8	15.8	26.3
	難病	25	12.0	20.0	32.0	36.0

⑤ 子どものことが気になって、昼間、思うように外出できない

子どものことが気になって、昼間、思うように外出できないに「非常にあてはまる」人は前回調査からほとんど変化はなく約1割となっており、他の手帳所持者と比べて「精神障がい」手帳保持者で多くなっています。



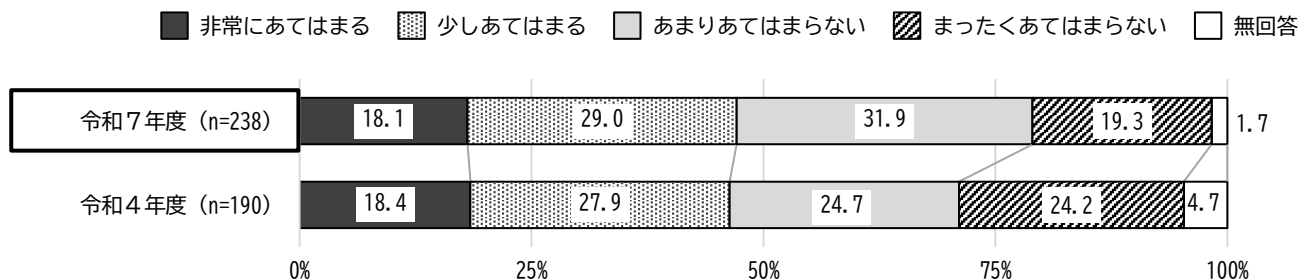
■ 性別・年齢・手帳の種類 (単位：%)

		回答者数	非常にあてはまる	少しあてはまる	あまりあてはまらない	まったくあてはまらない
全体		238	9.7	23.5	33.2	31.1
性別	男性	163	8.0	22.1	35.6	31.9
	女性	73	13.7	26.0	28.8	28.8
年齢	0～5歳	24	4.2	16.7	54.2	25.0
	6～11歳	98	12.2	28.6	32.7	22.4
	12～17歳	115	8.7	20.9	28.7	40.0
手帳の種類	身体障がい	58	8.6	20.7	32.8	34.5
	知的障がい	178	9.6	24.2	34.3	29.8
	精神障がい	19	21.1	31.6	21.1	26.3
	難病	25	4.0	28.0	36.0	32.0

B 障がい児調査 11.主にケアしている方について

⑥ 子どものケアのために、昼間、趣味や学習活動などをする「自由な時間」を思うように取れない

子どものケアのために、昼間、趣味や学習活動などをする「自由な時間」を思うように取れないに「非常にあてはまる」人は前回調査からほとんど変化はなく約2割となっており、他の手帳所持者と比べて「精神障がい」手帳保持者で多くなっています。

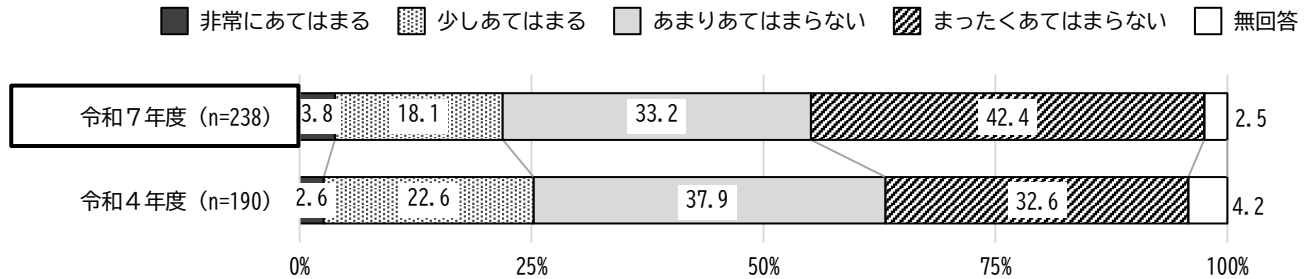


■ 性別・年齢・手帳の種類 (単位：%)

		回答者数	非常にあてはまる	少しあてはまる	あまりあてはまらない	まったくあてはまらない
全体		238	18.1	29.0	31.9	19.3
性別	男性	163	16.6	31.3	32.5	17.8
	女性	73	21.9	23.3	31.5	21.9
年齢	0～5歳	24	8.3	29.2	50.0	12.5
	6～11歳	98	22.4	33.7	28.6	12.2
	12～17歳	115	16.5	25.2	30.4	27.0
手帳の種類	身体障がい	58	20.7	22.4	22.4	32.8
	知的障がい	178	15.7	32.0	33.7	16.9
	精神障がい	19	42.1	21.1	26.3	10.5
	難病	25	16.0	28.0	28.0	28.0

⑦ 子どものケアのことで家族・親せきと意見が合わない

子どものケアのことで家族・親せきと意見が合わないに「非常にあてはまる」人が前回調査から微増し約0.5割となっており、他の手帳所持者と比べて「難病」手帳保持者で多くなっています。



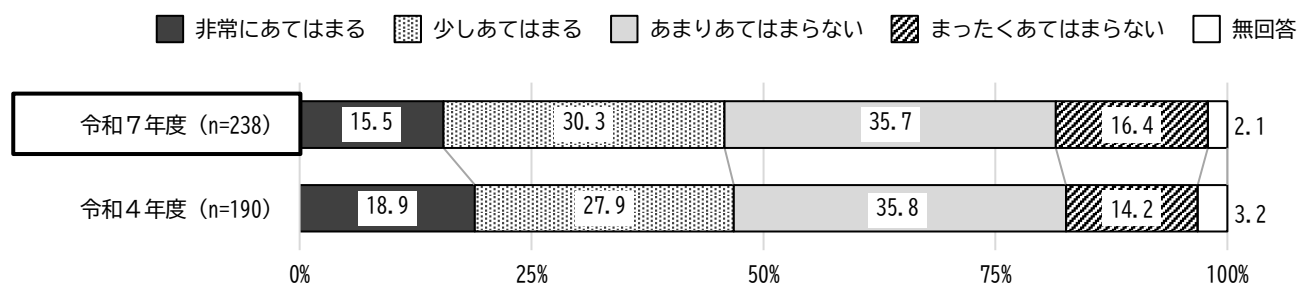
■ 性別・年齢・手帳の種類 (単位：%)

		回答者数	非常にあてはまる	少しあてはまる	あまりあてはまらない	まったくあてはまらない
全体		238	3.8	18.1	33.2	42.4
性別	男性	163	3.7	17.2	32.5	43.6
	女性	73	4.1	20.5	35.6	38.4
年齢	0～5歳	24	0.0	16.7	33.3	50.0
	6～11歳	98	5.1	13.3	33.7	42.9
	12～17歳	115	3.5	22.6	33.0	40.0
手帳の種類	身体障がい	58	3.4	13.8	17.2	63.8
	知的障がい	178	5.1	17.4	37.6	37.6
	精神障がい	19	5.3	31.6	21.1	36.8
	難病	25	8.0	8.0	28.0	56.0

B 障がい児調査 11.主にケアしている方について

⑧ 子どものケアのための経済的負担が大きい

子どものケアのための経済的負担が大きいに「非常にあてはまる」人が前回調査から減少しているものの1割を超えており、他の手帳所持者と比べて「精神障がい」手帳保持者で多くなっています。

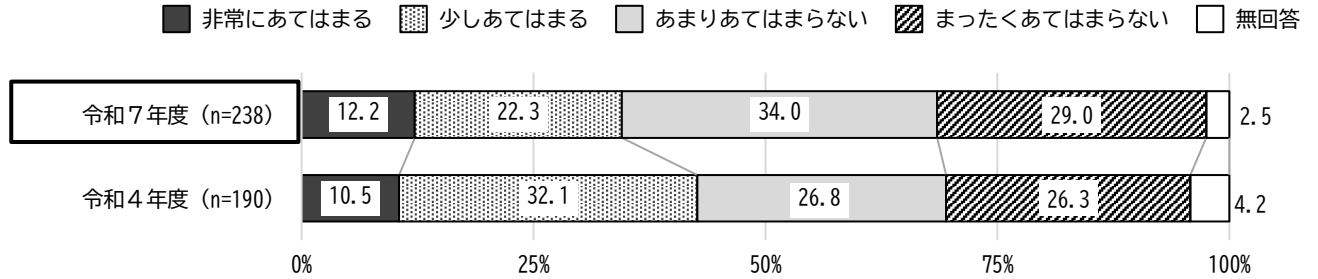


■ 性別・年齢・手帳の種類 (単位：%)

		回答者数	非常にあてはまる	少しあてはまる	あまりあてはまらない	まったくあてはまらない
全体		238	15.5	30.3	35.7	16.4
性別	男性	163	16.0	27.6	35.6	18.4
	女性	73	15.1	34.2	37.0	12.3
年齢	0～5歳	24	8.3	41.7	33.3	16.7
	6～11歳	98	21.4	30.6	32.7	11.2
	12～17歳	115	12.2	27.0	39.1	20.9
手帳の種類	身体障がい	58	12.1	24.1	36.2	25.9
	知的障がい	178	14.6	33.1	34.8	15.7
	精神障がい	19	36.8	26.3	21.1	10.5
	難病	25	8.0	32.0	52.0	8.0

⑨ 子どものケアに時間がかかったり、子どものことが気になって、睡眠が十分取れない

子どものケアに時間がかかったり、子どものことが気になって、睡眠が十分取れないに「非常にあてはまる」人が前回調査から微増し約1割となっています。



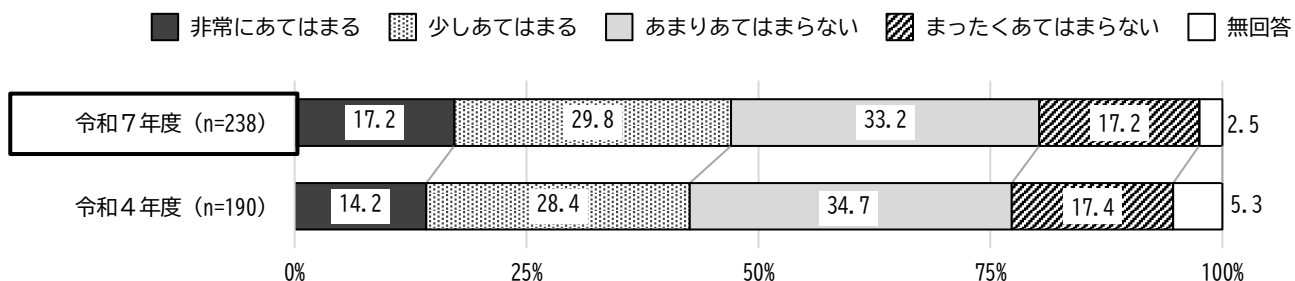
■ 性別・年齢・手帳の種類 (単位：%)

		回答者数	非常にあてはまる	少しあてはまる	あまりあてはまらない	まったくあてはまらない
全体		238	12.2	22.3	34.0	29.0
性別	男性	163	12.3	21.5	32.5	31.3
	女性	73	12.3	23.3	38.4	23.3
年齢	0～5歳	24	12.5	20.8	45.8	20.8
	6～11歳	98	18.4	23.5	31.6	22.4
	12～17歳	115	7.0	21.7	33.0	36.5
手帳の種類	身体障がい	58	13.8	17.2	22.4	44.8
	知的障がい	178	13.5	21.9	36.0	26.4
	精神障がい	19	10.5	36.8	31.6	15.8
	難病	25	12.0	16.0	36.0	36.0

B 障がい児調査 11.主にケアしている方について

⑩ 子どものケアのことで関係機関とのやりとりの負担が大きい

子どものケアのことで関係機関とのやりとりの負担が大きいに「非常にあてはまる」人が前回調査から増加し2割弱となっており、他の手帳所持者と比べて「難病」手帳保持者で多くなっています。

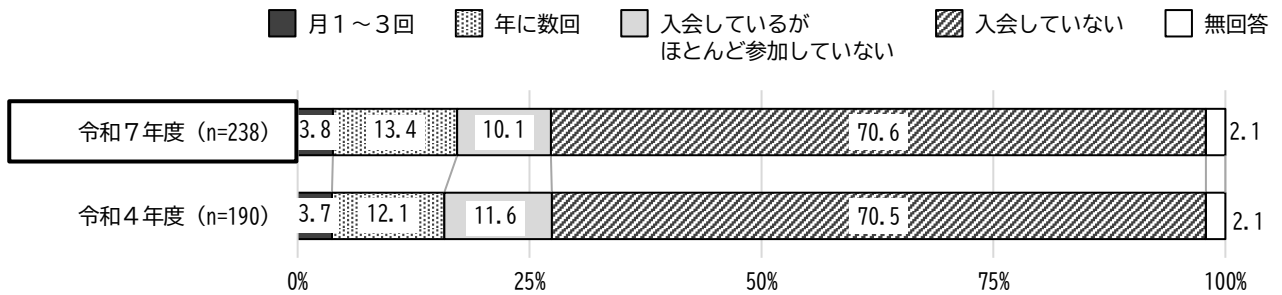


■ 性別・年齢・手帳の種類 (単位：%)

		回答者数	非常にあてはまる	少しあてはまる	あまりあてはまらない	まったくあてはまらない
全体		238	17.2	29.8	33.2	17.2
性別	男性	163	17.2	28.8	33.1	17.8
	女性	73	16.4	32.9	32.9	16.4
年齢	0～5歳	24	16.7	25.0	45.8	12.5
	6～11歳	98	16.3	39.8	27.6	13.3
	12～17歳	115	17.4	22.6	35.7	21.7
手帳の種類	身体障がい	58	24.1	31.0	17.2	25.9
	知的障がい	178	17.4	28.1	36.0	15.7
	精神障がい	19	10.5	47.4	26.3	15.8
	難病	25	36.0	36.0	16.0	12.0

問39 お子さん(宛名の方)を主にケアしている方は、親の会にどれくらい参加していますか。(単一回答)

親の会の参加状況について前回調査から概ねそれぞれの割合に変化はなく、「入会していない」人が約7割となっています。一方で「月1～3回」参加している人が他の年齢層と比べて「0～5歳」で多くなっています。



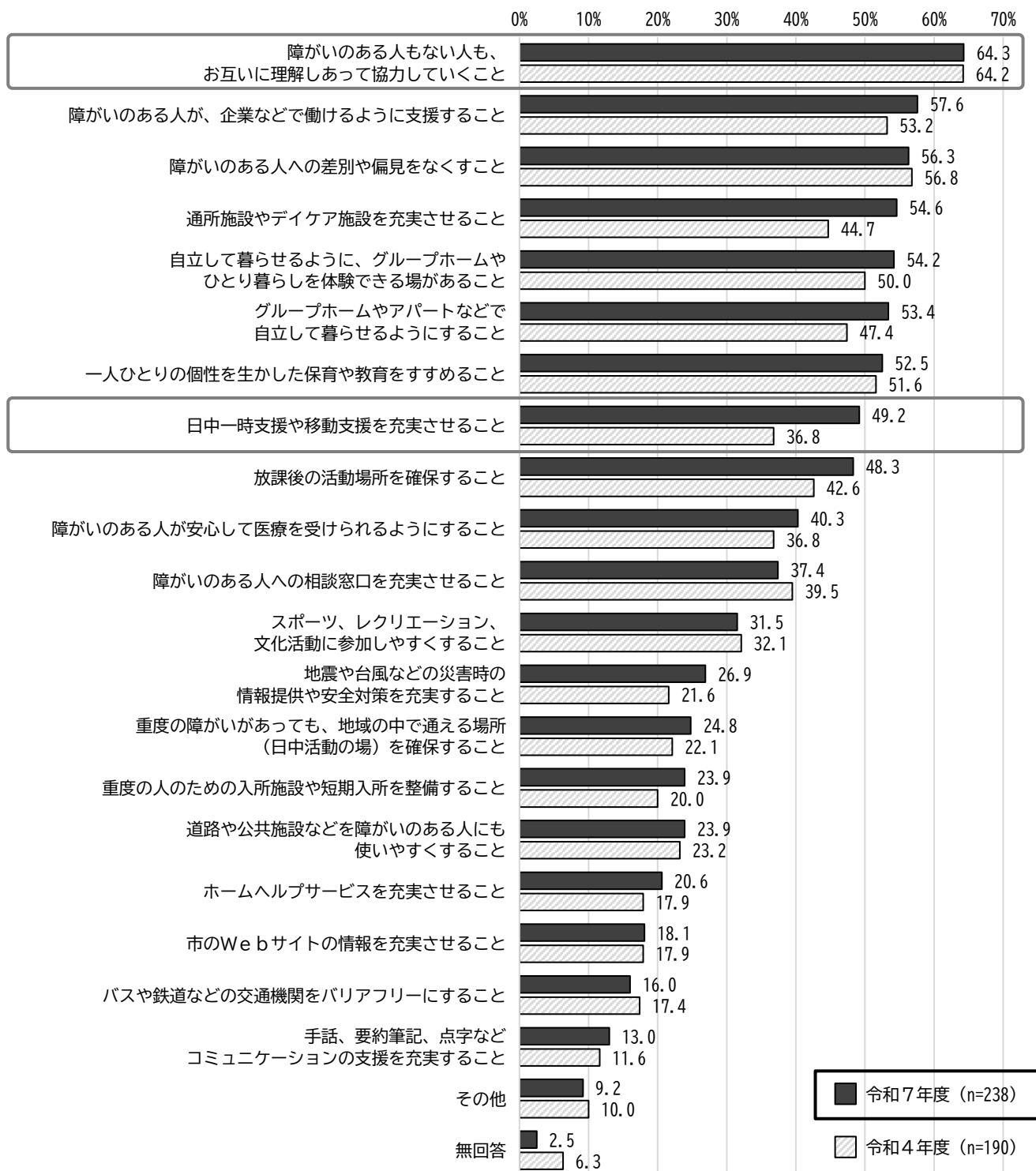
■ 性別・年齢・手帳の種類 (単位：%)

		回答者数	月1～3回	年に数回	入会しているがほとんど参加していない	入会していない
全体		238	3.8	13.4	10.1	70.6
性別	男性	163	3.7	13.5	12.9	68.1
	女性	73	4.1	13.7	4.1	75.3
年齢	0～5歳	24	20.8	12.5	0.0	66.7
	6～11歳	98	3.1	18.4	9.2	66.3
	12～17歳	115	0.9	9.6	13.0	74.8
手帳の種類	身体障がい	58	5.2	20.7	5.2	67.2
	知的障がい	178	3.4	10.7	12.4	71.9
	精神障がい	19	5.3	10.5	5.3	73.7
	難病	25	0.0	20.0	8.0	72.0

12. ご意見・ご要望等について

問40 障がいのある方への取り組みとして、今後、三鷹市に重点的に進めてほしいことは何ですか。(複数回答)

今後、三鷹市に重点的に進めてほしい取り組みについて全体的に前回調査から増加傾向となっており「障がいのある人もない人も、お互いに理解しあって協力していくこと」が6割を超えており、「日中一時支援や移動支援を充実させること」が前回調査より大幅に増加し約5割となっています。



B 障がい児調査 12. ご意見・ご要望等について

■ 性別・年齢・手帳の種類

(単位：%)

		回答者数	障がいのある人もない人も、お互いに理解しあって協力していくこと	障がいのある人が、企業などで働けるように支援すること	障がいのある人への差別や偏見をなくすこと	通所施設やデイケア施設を充実させること	自立して暮らせるように、グループホームやひとり暮らしを体験できる場があること	一人ひとりの個性を生かした保育や教育をすすめること	日中一時支援や移動支援を充実させること	放課後の活動場所を確保すること	障がいのある人が安心して医療を受けられるようにすること	障がいのある人への相談窓口を充実させること	スポーツ、レクリエーション、文化活動に参加しやすくすること	地震や台風などの災害時の情報提供や安全対策を充実すること	重度の障がいがあっても、地域の中で通える場所(日中活動の場)を確保すること	重度の人のための入所施設や短期入所を整備すること	道路や公共施設などを障がいのある人にも使いやすくすること	ホームヘルプサービスを充実させること	市のWebサイトの情報を充実させること	バスや鉄道などの交通機関をバリアフリーにすること	手話、要約筆記、点字などコミュニケーションの支援を充実すること	
全体		238	64.3	57.6	56.3	54.6	54.2	53.4	52.5	49.2	48.3	40.3	37.4	31.5	26.9	24.8	23.9	23.9	20.6	18.1	16.0	13.0
性別	男性	163	61.3	60.1	54.0	57.1	60.1	58.3	49.1	50.3	49.1	42.3	33.1	34.4	24.5	23.9	25.8	21.5	19.6	16.0	15.3	12.3
	女性	73	71.2	53.4	61.6	49.3	41.1	43.8	58.9	46.6	46.6	37.0	45.2	26.0	32.9	26.0	19.2	30.1	23.3	23.3	17.8	15.1
年齢	0～5歳	24	66.7	58.3	58.3	50.0	45.8	37.5	70.8	45.8	70.8	20.8	37.5	25.0	29.2	41.7	37.5	12.5	25.0	12.5	16.7	25.0
	6～11歳	98	58.2	57.1	52.0	63.3	52.0	52.0	61.2	54.1	59.2	43.9	31.6	33.7	19.4	22.4	18.4	24.5	26.5	16.3	18.4	9.2
	12～17歳	115	69.6	58.3	59.1	48.7	57.4	58.3	41.7	45.2	34.8	41.7	42.6	31.3	33.0	23.5	26.1	26.1	14.8	20.9	13.9	13.9
手帳の種類	身体障がい	58	55.2	44.8	44.8	34.5	34.5	39.7	39.7	39.7	36.2	32.8	32.8	22.4	32.8	27.6	27.6	25.9	15.5	15.5	17.2	15.5
	知的障がい	178	69.7	61.8	63.5	65.2	63.5	61.8	53.9	53.9	55.6	44.9	40.4	35.4	25.8	29.8	28.1	23.0	23.6	19.1	15.2	14.0
	精神障がい	19	47.4	63.2	42.1	36.8	36.8	42.1	57.9	42.1	26.3	36.8	42.1	21.1	15.8	5.3	5.3	26.3	15.8	5.3	15.8	5.3
	難病	25	52.0	44.0	44.0	36.0	48.0	52.0	56.0	52.0	44.0	44.0	36.0	32.0	40.0	32.0	24.0	28.0	24.0	28.0	20.0	16.0

問41 障がいのある方への取り組みとして、今/後、三鷹市に新たに組み込んでほしいことや特に充実してほしいことについて教えてください。(自由回答)

■福祉・相談支援

- 支援学級の拡充 (6~11歳・知的)
- 公共施設での積極的な就職を支援してほしいです。(12~17歳・身体)
- 受けられるサービスやそのための手続きを分かりやすくしてほしい(12~17歳・身体,難病)
- 中学生以降の支援が、手薄のように感じる。相談場所が少なくなっている。(12~17歳・精神)
- 全部の小学校に、支援学級を作り、通常学級と頻繁に行き来できるようになってほしい(0~5歳・知的)
- 軽度知的障害の子がいるが、学校に行くときに移動支援を使えるようにしてほしい。(12~17歳・知的)
- 就労支援の充実、希望する障がい者が一人暮らしできるような仕組みづくり(6~11歳・身体,知的,難病)
- 不登校になって1年半ですが、地域で孤立しています。福祉のことを相談できる人が欲しいです。(6~11歳・精神)
- 福祉作業所の充実。もっと福祉作業所を増やしてほしい。グループホーム等を三鷹市にもっと建ててほしい。(12~17歳・知的)
- 障害がある人でも一人一人の個性を活かして、生活ができるよう、生活支援と仕事の環境を整備してほしい。(6~11歳・知的)
- ヘルプカードを持たせるか悩んでいます。将来的な事考えると必要でしょうか?相談できる人が周りに居ません。(12~17歳・知的,精神)
- ・色々な所にスロープやエレベータの導入。・ストーマケアをするためのトイレにベッドの導入。・通学、通勤のための移動支援。(12~17歳・身体)
- 放デイ事業所を増やしていただきたいです。日中一時支援事業所が小学生が利用できる場所を作っていただけると大変助かります。(6~11歳・知的)
- 受けられるサービスのしつこくがわかりにくい。もう少し専門的に理解して、制度やサービスの案内ができるスタッフを配置してほしい。(0~5歳・身体)
- 就労継続支援B型事業所を充実させてほしい。精神障害の方が利用する施設が多く感じている。知的障害の方への就労支援の充実を求めたい。(12~17歳・知的)
- 障害者が安心して働ける所が沢山できるといいなと思います。将来上の子に負担がかからないように、支援を受けられる様にしていただきたいです。(12~17歳・知的)
- 就労先の拡充と就労したあとも放課後等デイサービスのような居場所作り。グループホームの拡充。グループホーム入所後も生涯安心して暮らせる環境。(12~17歳・知的)
- 障がいのある子どもも通える習い事を増やしてほしい。幼少期から障がいや病気、年老いていくことへの教育をしてほしい。福祉に関わる職員の質の向上。(6~11歳・知的)
- デイサービスの自己負担額が約37000円であり、子供の将来に貯金を少しでも増やしたいので、上限をもう少し減額していただくと助かります。(6~11歳・身体,知的)
- 放課後デイサービスが三鷹市では一つも利用できなかった。すべて断られました。そのため、特に肢体不自由の障害を持つ施設が増えてほしいと願います。(6~11歳・身体,知的)
- 親亡き後に安心して暮らしていけるように信頼できる支援員などを沢山育てて欲しいと切に願います。その為には障害者に対する理解を日々広げていけるようにしてほしいです。(12~17歳・知的)
- 学齢期が終わると、福祉サービスが減ると感じています。生活介護などの施設を利用するが、帰宅が早くなるので(現在は放課後デイを利用)居宅介護などの制度を広げてほしいです。(12~17歳・知的)
- 第一小学校・北野小学校区に固定の特別支援学級を設置して頂きたかったです。また、小中学校に、情緒面の困難を抱えるお子さんを対象とする特別支援学級がもっとあるとよいと思います。(12~17歳・知的)
- 移動支援を余暇活動に限定せず、デイの送迎や学校の送迎などにも使えるようにしてほしい。障害者の家族が本当に困っていることに使用用途を拡大してほしい。現況では非常に使いにくい。(12~17歳・身体,難病)
- 三鷹市内に特別支援学校を作りたい。グループホームを増やしてほしい。親の会内や知人同士でグループホームを作りやすいようにサポートしてほしい。(作りたい気持ちはあるがどのようにしたら良いのか分からないので)(6~11歳・知的)
- ・手当ての所得制限の撤廃を希望します・放デイを作っていただきたい・日常生活用具給付(排泄管理支援用具)の紙おむつ対象。下肢又は体幹機能障がい1級又は2級→知的障害(2度)もあるので、対象を拡げていただきたい(0~5歳・身体,知的)
- 保護者の仕事との両立のため、・自主通学のための公共交通機関利用の付き添い・自宅からバス停までの歩行の付き添いについて支援を必要としています。ヘルパーと利用希望者をマッチングさせるサービスが市にできて欲しいです。(12~17歳・知的)
- 18歳なった後放課後デイが使えなくなった後の支援短期入所施設を増やしてほしい福祉就労の選択肢を増やしてほしい将来の住まい(グループホームや入所施設)を市内や近隣に増やしてほしい親なき後の相談窓口があるといい(12~17歳・身体,知的)

- 親元から自立できるよう相談窓口、支援、グループホームなどの拡充を望みます。発達診断できる医師、病院が市内に少ないので手帳の取得・更新に困っている。かかりつけ医がないので、日常的に頼れる窓口があれば安心できます。(12～17歳・知的)
- 放デイ、相談事業、移動支援、ほとんどのサービスが利用者が一杯で利用することができません。事業所を増やすことは難しいと思いますが、せめて必要な情報を必要としている人に届く様情報の収集、開放をしていただきたいです。(12～17歳・知的)
- 奇声を出す事が多く公共施設に行っても人の目が冷たく感じ中々行く事に抵抗を感じてしまう為、障がいがあっても行きやすい公共施設にしてもらいたい。障がい支援サポートをもっと幅広くしてほしい。介助者へのサポートも充実してほしい。(6～11歳・知的)
- 知的に遅れがなくても発達障害が理由で通常級に在籍できない子供への教育環境をもっとお考えいただきたいです。支援級に転籍させるのもかなり大変でしたし、それ以前の市の対応はとてひどく毎回闘わなければならない手厚いとは言い難いです。(6～11歳・精神)
- 支援学校が調布になります。今後老朽化に伴い、学校の場所が遠くなります。仮校舎移動。三鷹市なのでより遠くなります。工事の期間も早くて4年もかかるそうです。工事の期間三鷹市なので三鷹市のどこかの支援級などに移らないのでしょうか？(6～11歳・知的)
- 送迎に対する支援が充実すると良いと思っています。療育のための学校に通っていますが、公共交通機関を利用すると往復2時間以上かかります。外勤での仕事を考える際にも、祖父母の協力がなければ、今の勤務状況は維持できないのが現状です。(6～11歳・知的)
- 調布の支援学校の建替えて、代わりの学校へ通わなければいけない情報をネットで検索しても分かりづらく、困っています電話での問い合わせの手間を減らすなら、インターネットや SNS をもっと分かりやすくしてほしいですよろしくお願いします(0～5歳・知的)
- 生活と福祉についてのアンケートと言う事ですが、何の為、何の目的でのアンケートかよくわかりません。障害をもっていない人の為のアンケートですか？もう少し現実を確認、現場をみていただいた方がよろしいのではないのでしょうか？(12～17歳・身体,知的,難病)
- 学校の進路にはどんな選択肢があるのか、デイサービスはどんなものがあるのか、人生の先輩(障害のある方)はどんな人生を歩んでいるのか、など、保護者が経験したことがないからこそ 知りたい時に情報が知れる環境があると有り難いと思います。(12～17歳・知的)
- ・放課後デイサービスの数が少なく、どこも満員で入りたい所に入れたい。子供に合った事業所を選びたいが、選択肢が少なく、入れる場所に入るしかない。・障がいのある人が企業で働けるよう支援してもらいたい。働ける場所をより多く確保してほしい。(6～11歳・知的)
- 支援級が全ての学校にあり、支援校もあると助かる。病気で早退などとなった時、保護者会など学校行事に参加する時に兄弟もいれば負担は大きい。また、教育委員会や役所、学校で、障害者、または、その家族に寄り添った声かけをお願いしたいと思います。(6～11歳・知的)
- 業者探し、契約、その他全て親が自分でやらなくてはならず、負担が大きい。相談支援事業所が手伝ってくれると言っても、ネットで調べられる業者リストをプリントアウトしてくれるだけ。自分でできる以上のことはしてくれない。そもそも業者数が少ない。(12～17歳・知的)
- 働きながら障がいのある子を育てるためのサポートを充実させてほしい。認可保育園の障がい児枠で延長保育を利用できると、フルタイムで働きやすい。また、幼稚園や小学校の後に療育先や放デイに送迎するサービスがあれば、親は療育・放デイ後まで仕事をすることができる。(0～5歳・身体)
- 放課後等デイサービスがいっぱい選べません。本当は行きたい所があったのですが、送迎範囲や空き状況だけでコソしか入れなかった…という状況です。もっと自由に選択出来るようになると思います。サッカーやバスケも出来たらいいなと思うのですが、現状ないです。(6～11歳・知的)
- ①18歳を過ぎてからの余暇活動の場を設けてほしい②グループホームの確保(自立した生活を送れるように)③就労支援の充実、一般企業も含めた障がい者が働きやすい場の確保④放課後や長期休暇中に過ごす場所の確保(放課後等デイサービスの事業所増設や利用時間の延長)(6～11歳・知的)
- 幼児期のPT、STなど、回数を増やして欲しかった。地域で育てていきたいので、支援学級の充実をお願いしたいです。現在小学校ではとても楽しく通っているのですが、中学の支援級へも同じ様にケアをして欲しい。学童が6年生まで行ける様になり、本当にありがたいです。(6～11歳・知的)
- 地域の学校にいけるようにしてほしい。管轄の調布特別支援学校が仮校舎として稲城に移転予定であり、それなら地域の支援級に通えるようにしてほしい。本来知的障害枠の支援級も本質を伴っておらず、障害児よりもグレーゾーンの子供たちの受け皿になっており、障害児の受け入れに小極的であり、居場所がない。(6～11歳・知的)
- 三鷹市内にある家々を、障がいのある人もない人もともにすごせるコミュニティスペースにしていくこと。このスペースを放課後デイに開放したり、地域で何かしたいと思っている人に気軽にかし出したり、オープンで開放的な公共の場を地域のあちこちに作ってほしい。移動支援サービスの充実もおねがいしたいです。(12～17歳・知的)
- 手帳や給付金など、自分が気がつかない制度や支援があることすら知らなかった(受けられない)ところが多いのかと思いました。療育や支援級に通う子には『東京都や三鷹市はこういう手帳を発行しているよ！こういう支援や助成があるよ！』みたいなインフォメーションを自分から探しに行かなくても知れる機会があれば助かります。(6～11歳・知的)
- 就学前は色々な支援があったが、入学とともにこちらから色々な選択をアプローチしないと前に進めなくなる。入学したらどのように動けばいいか、手引きかフローチャートのようなものがあれば助かる。例えば通常級へのチャレンジもその道筋が非常にわかりにくく、学校を通してやるのは分かるがまずは相談という場所も作って欲しい。(6～11歳・知的)
- ①福祉就労の選択肢を増やしてほしい。②自立支援事業所を市内で作ってほしい。(福祉作業所と並行して利用可)③短期入所施設を増やしてほしい。④将来の住まい(グループホームや入所施設)を市内や近隣に作ってほしい。⑤

B 障がい児調査 12. ご意見・ご要望等について

- 親なき後の心配事の相談窓口がほしい。⑥生活と福祉についてのアンケート 成人以降もあると良い。(12~17歳・知的)
- ・小学校の支援学級を、知的障害あり、なしではっきりわけてほしい。グループホームや、障がい者の方の就職について、成人された子供を持つ保護者の方から話を聞く機会を有料でもいいので設けて欲しい。(三鷹市で育て就職した方、三鷹市内のグループホームで暮らす方、など) 将来どのような道を辿るのかわからなすぎて不安です。(6~11歳・知的)
 - ・今は保育園に通っているのも母も就労できているが、支援学校へ進学すると仕事を続けられるのか不安。どのようなサポートがあるのか、自分から探すが、こういう状況ならこういったサービスが利用できる、または利用している前例があるといった情報を市から発信してもらえるとありがたい。(地域福祉コーディネーターさんからでも)(0~5歳・身体・難病)
 - ・三鷹駅周辺にイベントや本当は利用したい障害者施設が多く、時間的・距離的に利用が不可能な状態なので、中心部だけでなく、空家などを市が有効活用するなどして、端のところに住む者にも利用できるサービス、施設を増やしてほしい。あと、利用できるサービスが調べても分からないので、市報などでもっと積極的に情報公開してほしいです。(6~11歳・知的)
 - ・日曜祝日に重心の子どもが利用できるデイサービスを増やして欲しい・医ケア児のショートステイ施設を作ってほしい(現在世田谷区の成育医療センターで利用していますが、近くにあると助かります)・市のホームページをわかりやすく作り直してほしい・補装具費支給申請についても、所得制限の件など情報が古いままで非常に調べにくかったです。(6~11歳・身体)
 - ・あらゆる障害者支援サービスの利用料や助成で所得制限をなくしてほしい。きょうだいの教育などにお金がかかるので稼がなくてはならないのに、所得が増えると放課後デイサービスの利用料が月4600円から月37000円に跳ね上がるので働き損になる。国の制度なので難しいかもしれないが、所得制限の撤廃に向けて、三鷹市に先陣を切ってほしい。(12~17歳・知的)
 - ・障害者に対する利用できる制度等が調べないと(自ら申し出ないと)利用できないことが多いので、積極的に発信していただきたいです。市内の小・中学校で障害の理解教育を積極的に取り組んでいただきたいです。また、息子の小・中学校時代は支援学級の存在を忘れられて連絡事項が伝えられなく困ったり、嫌な思いをしたことが多々ありました。(子供、保護者宛も含めて)(12~17歳・知的)
 - ・1) 障害のある子供たちへの習い事の充実(スポーツ、学習など。例えば水泳、サッカー、ピアノ、習字、そろばん、塾など)2) 放課後等デイサービスを無償化してほしいです。現状の所得上限を撤廃してほしいです。毎月3万円近くの出費はとても大変です。3) 子供1人に市の担当者が付き、学校や放課後等デイサービスと連携しながら進路や就職などの相談やアドバイスをしていただけると(6~11歳・知的)
 - ・支援学級をすべての公立学校に設置してほしい。なぜ障害があると、定型発達児のようにスムーズに就学できないのか。親が子の就学について精神的負担があるのはおかしいと思う。支援学級に入れたとしても、毎年支援学校を勧められるのが当たり前などの話も聞くと、就学した後の心労、負担が凄く怖くなる。子どもを本来の学区の学校へ通学させるといって、ごく当たり前のことが叶わない現実を早急に変えて欲しい。(0~5歳・知的)
 - ・学校の支援級と普通級しかなく勉強が出来ないと支援級しか行くことしか出来なく発達障害に対して理解してくれる先生がいない。親にどう対応したらいいかと圧力的に言い療育の先生の言葉を使っているが、療育の先生と直接話してほしい。幼児期はあるが小学校に行った途端にケアがなく先生からは困ると言われて泣いた日々。先生の仕事も大変だと思いますが、親は死ぬ気で育てているのに学校での困りごとを延々とと言われても困る。(12~17歳・知的)
 - ・どうしても親子で家にこもりやすくなるので、訪問してくれるサービスがあれば孤独を感じる時間がすくなくなる。親の通院時、子のあずけ先がなく困っている。→ファミリーサポート利用してみたが、アスペルガーと強迫性を持っており不安が強く、またサポートさんが特性ある子の扱いが分からず難しかった。学校も小1から不登校しフリースクールを利用しているが、経済負担も多く、かといって休みがちなのでパートに出ることもできない。(6~11歳・精神)
 - ・幼保・教員に対して、障害福祉について差別解消のための研修や医療機関・デイサービス等との連携強化を充実させてほしい。理解がない話を親同士でもよく聞きます。また、先生方の支援・サポートの強化もしてほしい。現場の先生に抱えさせすぎて、先生があまりに大変そうなのも、行政としてサポートしてほしい。何も対応が見つからないのは本人が一番苦しいです。もっと包括的に対応できるよう、行政がしくみ作りできないものではないでしょうか。(6~11歳・不明)
 - ・息子は特別支援学校へ通っています。両親共働きで生計をたてています。小学校は学童と放課後等デイサービスに通えているので、長期休みもギリギリ対応できて仕事ができますが、中学生になると学童がなくなり、放課後がデイサービスのみになります。デイサービスの預かり時間だけでは、長期休み中に仕事に行くことができません。留守番ができるようになるというのですが、現実的ではありません。預かってくれる時間、場所が増えると助かります。(6~11歳・知的)
 - ・現在は自分も元気で、学校がない時、休みの時は付きあえるが、今後自分の体力、介護などが加わったらお手上げ状態になると思っています。本人が他の人や(多勢)コミュニティをあまり受け入れるタイプではないので、どこかへ参加させることにも無理があり、付きそいや移動支援、見守りなどが充実してくれると、自分も他の仕事や用事ができてありがたいのですが…。グループホーム、集団が苦手なので、サテライト型などできてくれたら助かります。(12~17歳・知的)
 - ・放課後デイサービスについては、他の自治体よりも送迎の制約もなく非常に利用しやすいと思います。施設も結構充実している気がします。18歳までしか利用できないので福祉サービスが途切れてしまうのが非常に不安です。非常に高いノウハウや人材(スタッフの質がよいと感じる)を抱えている放課後デイサービスもあるので、そういう施設には就労時や自立や生活なども含めた何らかの支援をそのままつなげていただくと安心できるのかなと感じています。(6~11歳・精神)
 - ・支援学校に通う小学生の子供を育てています。放課後等デイサービスにかかる費用の上限額が満額37200円の為、家計が圧迫していますので、補助していただきたいです。移動支援など世田谷区のように通学や習い事にも使えるようにしてほしいです。調布特別支援学校が稲城市に移転と話が出ていますが、三鷹台からは1時間半以上バスに乗らな

くてはならないなど、子供の体調にも不安があります。三鷹市でもこの件に関して、動いていただきたいです。(6～11歳・身体,知的,難病)

- 中度～軽度の知的障害の人でも自立生活が難しい人が多い。グループホームの創設とあまりお金がかけずとも本人が最低限人間らしく過ごせる部屋を作ってほしい。放課後デイの成人版を作ってほしい。また利用料の所得制限を撤廃してほしい。働くことも出来ず、誰にも相談できず、一生涯の子供の世話を親がし続けることに限界を感じる。障害者サポートセンターなどから家庭に連絡したり情報を発信してほしい。今のままでは本人家族からの問い合わせをしない限り、繋がりにません。(12～17歳・知的)
- 親の負担が大きく、精神的にも参ってしまうことがあります。手がかかるため働くことが難しかったり、通院の付き添いや外出時の送迎などで日常生活が制約されてしまいます。子どもときちんと向き合う時間が必要な家庭には、手当てや経済的支援をいただきたいです。また、家族の意思で気軽にレスパイト(休息や一時預かり)が利用できる仕組みを整えていただき、困ったときに助けを求められる体制をお願いしたいです。発達障害支援の拡充を強く要望します(特に家族支援)。(6～11歳・精神)
- 移動支援やグループホームでの一時宿泊などで家族の負担を手伝ってほしい。そのような施設が増えるよう市が積極的に動いてほしい。三鷹市に支援学校が無く調布特支に行っております。建て替え工事の為に稲城にまでスクールバスで通わなくてはならなくなりそうです。障害のある小さな子がスクールバスで1時間弱かけて支援学校に通うのは子供も家族も負担が大きいです。三鷹市に支援学校を作って欲しい。せめて仮設の支援学校を三鷹で建てられないでしょうか。お願いします。(6～11歳・知的)
- ろう学校へ通っています。小学1年～3年まで親が毎日登下校の送迎をしていました。市のサービスで送迎サービス利用したかったのですが市内しかできないと言われ使えませんでした。母親の私が1人毎日送迎をし仕事をし、家事をし身体的にも精神的にもとても辛かったです。我が家の様なケースは中々少ないかもしれませんが、義務教育の間の子供のサービスを充実させて欲しいです。送迎サービス充実させてほしいです。ろう学校へ通わせている親の負担はかなり大きいと思います。(6～11歳・知的)
- 家族の支援が欲しいです。一人でゆっくり休む時間が欲しい。タダ働き状態なので、少額でもいいので家族介助者に給付金が欲しい。一人で仕事をしながら育てているので、職場で理解を得るのが困難。市役所で、「障がい者雇用枠」はあるが、「障がい者を支えている家族の雇用の枠」があると良い。とにかく生き辛いです。自分自身のやりたいことや幸せは全て度外視で、子どもと家族に全てを捧げています。時々、一緒に死ねたら楽だろうと、頭によぎるくらいには追いつめられている毎日です。(6～11歳・知的)
- 相談窓口や通える施設、教育なども充実して頂けることもとても大事ですし有難いことですが、何よりも障害者とその家族について少し理解して頂くこと、日々の生活の中で出会われた際に「事情があるんだろうな」と想像して頂けると幸いです。障がいについて知って頂くこと、理解して頂けることで、本人やその家族も救われます。色々と障がいがある中でも、発達障がいや精神障害はとりわけその特性や症状について知っている人が少なく、その分周りの理解も低く、偏見を持たれがちだと思います。(6～11歳・知的)
- 私の子供は義足です。障害者でも色々な方がいますが、見た目では分からない障害者の理解が少ないように思います。小学校や中学校での講演会は、見た目で分かりやすい車椅子の方などの講演会はあるが他は特にありません。自分達で学校側と話をし、子供の障害についての講演会をしてもらいました。色々なサービスやサポートの取り組みをして下さっているのはとても有難いし、助けになってますが、もっとたくさんの人に色々な障害について知ってもらえる学びの場が増えれば良いと思います。(12～17歳・身体,難病)
- 小学校・中学校の特別支援学級について。通常級と支援級の関わりが少なすぎる。道徳・体育・給食など関わりを持つ機会は多いのに、運動会だけなぜか混合でしていました。交流で学ぶ事は多いと思います、が、小学校も中学校も交流を希望したが叶いませんでした。非常に残念でした。中学校卒業後の進路選択の幅は広がっています。中学校支援級→特別支援高等学校という進路が未だに教師の間では当たり前のようになっている。教師の研修の充実をはかり、視野を広げてもらいたい。子供1人1人にもっと寄り添って、進路指導していただきたいと思っています。(12～17歳・知的)
- 三鷹市では肢体不自由(重心を除く)はどうやって暮らしているのでしょうか。三鷹市子ども発達支援センターはほとんど機能していないのではないのでしょうか。知的障害専門でしょうか。肢体不自由の子どもは、リハビリも病院も他市に行くしかありません。放課後デイサービスも、肢体不自由の子はほとんど受け付けてもらえず、他市に行くしかありません。移動も車でないと難しいのです。どうか肢体不自由の子を受け入れてくれる施設が増える事を願っています。学校も他市まで行っています。三鷹に住んでいますが、ほとんど三鷹にいません。いられません。(6～11歳・身体,知的)
- 障がいの状況によっては将来就労が難しい可能性があるにもかかわらず、ほとんどの支援は所得制限で対象外です。特別裕福な家庭でもなく、少しでも多くのお金を子どものために残したいと望むなかで、支払う税金は他の人より高く、他の人が受けられる支援が受けられないのは不公平と感じます。障がいは自ら望んで得るものではありません。またほとんどは自らの責任に起因しないものです。にも関わらず、支援に制限を設けることは人権侵害であり、特に子どもの支援においては少子化を助長する要因になると思います。是非ご一考いただきますようよろしくお願いいたします。(6～11歳・身体)
- 放課後等デイサービスの送迎をサポートする仕組みがなにかあると助かるな…と日々感じています。学童の利用は4年生までだったと思いますが、その後の学年になっても一人で留守番するのが難しい子供を持つ親の場合、就ける仕事の選択肢が非常に限られてしまいます。特に学校が長期休暇に入る時期は、放課後等デイサービスでの滞在時間が短くなるため仕事と送迎の調整が非常に難しいです。子供の障害の程度によるとは思いますが、送迎ステーションのような子供が送迎を待ったり、送迎後親の迎えを待ったりできる安全な施設があり、地域の放デイと連携できるとも親の選択肢が増えるように思います。(6～11歳・知的)
- いつもお世話になっている発達支援センターと障がい者支援課の職員さんの対応の差が気になります。3～4回ほど、障がい者支援課の窓口へ直接うかがいましたが、冷たい対応でした。障がい児育てている親がどれほど不安で、社会に気を遣い、必死に子育てをしているか分かりますでしょうか。普通の子とは違う、支援が必要な子供を育てているんです。なので、もう少し寄り添ってください。障がい児が、その家族が、安心できる場所作りを作ってください。SUBARUの運動、スポーツ教室に興味がありますが、障がい児ということで参加をためらってしまいます。障がいがある子でも参加しやすいクラスがあると嬉しいです!(0～5歳・知的)

B 障がい児調査 12. ご意見・ご要望等について

- ・ベビーシッターの助成対象が小学校3年生までだが、障害をもっている子供に対してはより支援が必要という点を考慮して、対象年齢の引き上げや、利用時間の増加をしてほしい。また、その兄弟に対してもそのような考慮があることを希望します。・障害をもって子供や大人の方が対象にした医療機関を充実してほしい。(近くの病院での診療ができず、遠くの病院に連れていく必要があるのが負担である)・特別支援学校が市内にないため、通学や、親が出向くのに負担になっていることを考慮し、学区による指定をなくしてほしい。もしくは市内に支援学校を作してほしい。(娘は調布に通っているが、家からの距離は小金井の方が近い) (6~11歳・知的)
- ・★18歳の壁の解消→放課後デイが使用なくなった後の居場所作り(日中一時支援事業所等が市内にほとんどない)★短期入所(入所体験含め)できる施設を増やしてほしい★福祉就労の選択肢を増やしてほしい★自立支援事業所を市内に作してほしい(福祉作業所と並行して使える所)★親が仕事で送迎できないため、送迎可のガイドヘルパーを増やしてほしい★福祉訪問員制度があっても実際に頼める人が見つからないので使えない★将来の住まい(グループホームや入所施設)を市内や近隣に増やしてほしい★親なき後の心配事を相談できる窓口がほしい★このアンケートは18歳以降はないのであれば、成人用のアンケートも作ってほしい(12~17歳・知的)
- ・フラットで、スーパーもアクセスしやすく、市役所の支援課の方の対応もとても良い。・障害の程度が進行し、ベッドで寝がえりができなくなったマットレスの補助が2万円以下で、自費でマットレスを購入できず、レンタルしている(介護保険使えない)。新しいベッド購入のかわりに、エアーマットレスベッドの購入補助などにしていただけたら、災害時に避難所でも使えそう。褥傷が何度もくりかえしているが、感覚がないので気付いた時にはかなり進行していて、1年間寝たきり生活でフレイルが進んだ。リハビリ施設に車椅子使用者用のリハビリ器具(QoL社)を、元気創造プラザなどにおいていただけないだろうか。HALのスタジオなど。(12~17歳・身体)
- ・三鷹市から支援学校に通うのは不便なので支援校への自主通学に関する支援が何かできないか?特に高等部は自主通学ができることが就労の窓口が広がることにつながる。福祉作業所やグループホーム・入所施設が将来的に増えるといい。三鷹は農業も盛んなので農福連携が進むといい。最近では農産物の返礼品も農福連携した福祉作業所のものも増えてきている。受給者証の利用者負担額の上限撤廃、特別児童扶養手当で所得制限で縛られているのに受給者証も上限があるとデイを利用したくても金額的に利用を諦めることが多い。特別児童扶養手当の所得制限縛りで水道代やごみ袋の支援も受けられなくなったが縛るのは手当だけで他の支援は継続してほしい。(6~11歳・知的)
- ・義務教育期間に入ってから、手当等の手続はいいに行っていて頂いていると思いますが、それ以外はすっかり疎遠になっていると感じます。親が介護状態になった際は、ケアマネさんがとても親切にして下さいました。障がい者にもケアマネさんのような相談相手がいてくれたら良いのと思いました。子どもは現在高校生で卒後を考える時期ですが、三鷹市は作業所や生活介護事業所が少ないと思います。日中支援を受けられるグループホームも増えて欲しいです。障がい者(成人)を受け入れる病院も(日常の通院先)欲しいです。求めるばかりで申し訳ないです。親を対象にした成年後見制度やグループホームの作り方などの講習があると嬉しいです。(12~17歳・知的)
- ・現状支援学校で満足しています。しかしながら、そこに至るまでの市役所や小学校の支援学級、三鷹一中の教員から受けた思いやりのなさや対応にたくさん傷つきました。悪いところ、できないところばかり指摘されたり、自信満々に東京はIQで行くべき学校をわけていると親に言い張るなど、令和のいま、あり得ない対応です。周りでも同様の意見が多いです。今一度障害がある方への差別の心に気づき傷つく人が一人でもでないような差別を認めない心、学校教職員や市役所職員への教育徹底をお願いします。結果はどうであれ親に寄り添う支援で傷つかなくてすみません。支援学校の先生方から嫌な思いをさせられたことは皆無です。見習っていただきたいです。(12~17歳・身体、知的、難病)
- ・令和11年から都立調布特別支援学校の改築工事が始まります。それに伴い仮設学校(新座市)へのバス通学が非常に遠くなり、子供の負担が大きくてとても心配です。通えるのかという不安もあります。子どもが具合が悪くなった場合、学校からの呼び出しがあっても、バスと電車を使っても2時間はかかるため、お迎えは無理だと思っています。子どもが体調不良でお迎え要請がある時は、市からの支援が必要不可欠だと思います。放課後はデイサービスを利用していますが、お迎えに行ってもらえるかも心配です。中には調布特別支援学校へ通っている子供は、新規契約をしない放デイもあります。放課後の過ごせる場所が確保できるのか、今から心配でしかありません。(6~11歳・身体、知的)
- ・放課後デイサービスが少なく、希望日に全て入れるというわけではないです。積極的に増やしていただく取り組みに向かうとありがたいです。また一方で放デイの経済的負担が大きく、子供の障がいがあり母が働けない→放デイの負担があるという負のループを止まれません。費用負担についても、今一度見直していただきたいです。障がい児を受け付ける(発達相談)医療機関が市内に少なく、普通の子より遠出させることが難しい状況で、都度心身共に疲れてしまいます。お話を聞いてくださるだけでも良いので、訪問でご相談等させていただくと非常に有難いです。とにかく、子供より先に死ねない…(無理ですが)そんな思いを毎日抱えており、将来が不安でしかありません。(6~11歳・知的)
- ・ピアえきまのような施設をもう少し増やしてほしいです。日曜日や祝日に仕事が入ることがあるので、利用できる施設があるとありがたいです。(土・日・祝日、デイサービスはお休みのところが多いので)・中学生になりますが、オムツが取れそうになくオムツ代の負担が大きくなってきています。オムツのサイズが大きくなり、大人用のオムツは高いです。重度障害児にオムツの支給を考えてほしい。隣の調布市は重度障害児には支給されているので、中学生から支給など取り入れてほしいです。・高校卒業したあと作業所などの施設に通うことになると思うが、帰宅時間が15や16時などと早い時間だと、働いている親には難しいです。延長できることや作業所のあとに通える施設などを考えてほしいです。(12~17歳・身体、知的)
- ・市の支援は基本的にこちらから動かないと受けられないと感じます。市から動いてくれることはないのと、とあきらめています。補助について、身体的な障害がないと介助備品の補助がなく困りました。特に車のジュニアシートは通常のものだと座ってられず、車内を立ち歩き、とても危ないので障害児用の固定するタイプのジュニアシートの購入の際、市に相談しましたが、検討してくれることもなく「支援はないですね」の1言。こちらの声も聞いてほしい…と思います。上記のような場合など障害があるがゆえに支出は多いですが、補助金は収入制限があり、受けられません。収入制限についても都の管轄つかもありませんが、市が一番支援が必要な人の意見が集まるはずなので、主体的に動いて都に働きかけて頂きたいです。(0~5歳・知的)
- ・作業所等の日中支援施設、また親が安心して死を迎えられるよう、グループホーム等を充実させて下さい。上記施設を縮小させ、家や地域で暮らす時間、人を無理やり増やすようなやり方はやりたくないです。息子のような自閉症のある方にとって非常に大切な安心した生活を崩壊させてしまい、問題行動を加速させたいと思います。ひとり暮らしは不可能と思えますし、安心した環境でスケジュールの決まった活動が本人にとってとても大切です。また比較的

障害特性の少ない方を施設側も望むので、障害特性の強い方など入所する必要性が高い人の方が入所が難しいというのを解決してほしいです。あとは、グループホーム等に親が死ぬ前に、一時利用等の利用などから入所へすこしずつ移行できるようにシステムしてほしいです。(12~17歳・知的)

- 移動手段に困っています。子どもが大きくなって、送迎や通院の時に気軽にタクシーを使えたらうれしいのですが…。井の頭のデマンド交通(井のバス)を使いたいの時間に9:00~17:00平日ですので、利用できておりません。自宅からバス停まで送迎があると登校ももう少し楽だし、夕方もう少し遅い時間に運行があればデイサービスの帰宅時に利用できるのですが、せめて19:00までなら願っています。障がい者向けに新たに、というのではなく、既存の制度を拡充することで対応してもらえるとうれしいです(きっと障がいのない住民にも井のバスの運行時間を伸ばしてもらうことはありがたいことだと思います)。朝7:00から使えたらさらにありがたいです。登校に利用できるの。良く利用する「三鷹台団地店サミット」や「三鷹駅」などまで送ってくれるとさらにありがたいです。(12~17歳・知的)
- このアンケートに答えていて、私が感じた事は、障がいのある人に対してサービスを充実させたいという市長の気持ちは分かりますが(ハード面、施設も作って欲しいけど)、やはり、助ける人の障がいに対する理解を深めてもらうのが先ではないかと思えます。うちの子もは、利用している福祉サービスは少なく、私もあまり相談する場を持っていない。話をしても、ただ個人情報を流しているだけ。障がいの程度は様々で、どこに自分の子どもが当てはまるのか親でも分かりません。それでも一緒に成長・発達を見守ってくれる、大変だけど頑張っているよね、と日々伝え合える他人が「主にケアする人」には必要。だから、今ある福祉サービス事業の方々や、これから働いてみたいと考えている人達のスキルアップがとても大切だと思います。どうぞ宜しくお願いします。私も日々勉強中です。(12~17歳・身体,知的,難病)
- 働くお母さんが増えて、障がいがあるお子さんを保育園に預けて、子供と一緒にいる時間が少ないことが増えている。よって、昔より家庭療育に関心が低く、療育先や保育園、放デイにまかせっきり…という風調を感じます。これは社会に発達障がい認知されてきていること、また、三鷹市に充実したサービスがあるしょうこでもあり、三鷹市の良いところだと思います。私自身は子ども発達支援センター、就学相談、支援級、放デイ…とても良い相談相手、サービスを受けてきて満足しています。あえて新たに取り組んでほしいことをあげるのなら、これらのサービスを知っている人、知らない人の情報かく差をうめることです。それにはWebでの情報提供のレベルアップが効果的だと思います。困っている人はなかなか動けません。まずスマホで検索するからです。市のHPのリニューアルをお願いします!(12~17歳・精神)
- グリーンアップルの相談支援を受けられるまでは、親がすべての道を作らないと先に進めず、障がいの受容の問題もあり孤独になりやすかった。相談支援につながったことで、児童発達支援につながり、その後は放課後デイサービスを利用できているので、そこが進むべき道を見つける分起点であったと思う。三鷹市の発達支援センターにも登録していたが、あまり助けにならなかった。電話か郵送か直接出向くしか手段がなく話も遠かった。本来であれば、一番助けが必要な幼少時に、センターが総合的に相談窓口となって、そこから必要なところにつながると良かった。どれも一時的な支援で、仕事だからやっているような印象で、長期的な当事者家族の視点で考えてくれないと感じた。ここまでで感じるのは、三鷹市は加配のハードルが高いこと。発達支援センターがあまり助けにならなかったことです。これからの方々のためにはこの2点が改善されると良いと思います。(6~11歳・知的)
- 牟礼に在りますが、利用できる放課後等デイサービスは少なく、定員枠は満杯。武蔵野市や西東京市や調布や府中には若い人向けの新しい作業所が増えているのに、三鷹市にあるのは昔ながらの作業所ばかり。場所を提供して、新規参入を検討してほしい。定期的に利用できる、体制がしっかりしたショートステイもない。ないなら調布市のように滝野川学園のショートステイ枠を確保してほしい。泊まりに行く経験ができず、本人も将来に家から離れるイメージが持てない。学校の保護者は、調布市の手厚さを羨んでいる。(ショートステイが利用できること。放課後等デイサービスや作業所が多い等)三鷹市牟礼3丁目に市民農園ができると伺いました。牟礼にはすでに他に貸農園は数ヶ所あり必要性を感じません。牟礼は在宅の高齢者がたくさんいらっしゃる状況で今後も増えると思えない状況の先を見据えて高齢者施設や、親の高齢化に伴う障害者の受け入れ施設を作るべきだと思います。(6~11歳・知的)
- 放課後デイサービスの空きが無く、必要である子が入っていない状況です。事業所を増やすなど、対応してほしいです。うちの子は今年から調布特別支援学校に通っているのですが、校舎の改築をするということで3年後に仮設校舎の方に移動するとの事なのですが、仮設校舎の場所の予定地が稲城市ということで、遠すぎて保護者が困惑しています。東京都として建設可能な土地を探しているが今のところそこしか無いとのことで説明が進んでいますが、その場合にも放課後デイの送迎は対応してもらえるのかなどを含めて問題点がたくさんあります。(今通っている放課後デイでは、そこまで遠くなると送迎は無理になるので、別の場所を探したり調べたりしてもらった方が良く声がけをしていると聞きました。)調布特別支援学校は中学部までなので、高校に行くお子さんは府中のけやきの森学園に行くのですが、この状態ならば中学校の時点で転校したい、もしくは引越しても視野に入れるという保護者の方もいらっしゃいます。三鷹市としても、この問題について何かしら取り組んでいただけたらと思います。(6~11歳・知的)
- ・小中学校の支援級のスクールバスが希望者が全員乗れるようにしてほしい。現在羽沢学区→大沢谷小へスクールバスで通学中。5、6年生になると席が足りない時は低学年優先と聞いていますが、障害もあり体も小さく(9才で115cm)、夏の炎天下、ゲリラ豪雨などの際、荷物がかかり重い中徒歩30~40分かけて毎日通わせるのが不安です。・スクールバスは親の迎えが必須ですが、自宅に近い場所での降車であり本人も地理感があるので、本人だけで下車→自宅へ1人で帰ることを認めてほしいです。親が仕事をやめないと、あの時間帯に迎えに行くのが難しいです。・支援級に籍を有する児童が6年生まで申しこめるようになったこと、本当に感謝しています!放デイにも入りづらく、仕事をやめなければいけないと何年も悩んでいました。中学生の夏休みの場居所についても、親が仕事をやめなくても良いように、充実させてもらえると本当に助かります。・就労やグループホームでの生活など、本人が自立して生活していける希望が持てる三鷹市であってほしいです。大変と思いますが、どうぞよろしくお願いいたします!!(6~11歳・知的)
- ・一般障がい手当を増額してほしい。子どもはもうすぐ5才ですが、オムツがはずれないため毎月のオムツ代の負担が大きいです。発達支援センターくるみ幼稚園に在園ですが、通園している子の多くはオムツで、障がい児は健常児に比べるとオムツはずれの時期がとても遅いと実感しています。体が大きくなるとオムツのサイズが上がり、オムツ1袋の枚数は減り金額も高くなります。軽度に分けられているため手当てが少なく家計の負担となっています。くるみ幼稚園の一時保育の時間枠の拡充してほしい。現在、申請日は14時~17時の利用ができるが、朝の一時保育実施を要望したい。くるみ幼稚園は9:15登園ですが、兄弟(小中学生がいます)の学校行時の時(1時間目)に間に合いません。昨年度は下の子を預けられないため上の子の卒業式に行くことができませんでした。夕方せめて1

B 障がい児調査 12. ご意見・ご要望等について

8時まで選択できると嬉しいです。障がい児ですので、安心してできる場所、人をお願いしたいという気持ちがあります。どうかご検討をよろしく願います。(外部に預けるのは、障がい児ということでイヤな顔をされることがあります) (0~5歳・知的)

- 幼児期に療育機関で、健常児の通う幼稚園への通園をやめるように指導があり、また、相談時に「あなたが東大の理学部で講義を受けているようなものだ」と言われたことがありました。その後、統合保育もある療育機関に籍を移すことで、納得のいく療育を受けることができるようになり、心穏やかに現在まで子育てを続けることができています。現在は、当時のような指導は不適切だと広く認識されていると思いますが、つい数年前まで行われていました。障害児の権利ばかりを主張するつもりは全くありませんが、地域で当たり前になり成長できるということは、どういうことなのか。しっかりと理念のある療育機関に籍を移すことができたことで、私自身も地域で当たり前になり暮らすことを堂々と胸を張って続けることができていると感じます。課題や困難を抱えない人はこの世の中に誰もいない事、誰も1人では生きていけない事、誰にも迷惑をかけずに生きられる人間などいないという真理と向き合えば、どんなことでも、自分ごととして当たり前を受け入れられると思うのですが、三鷹市も、自分ごととして、取り組んでくださることを願っています。(12~17歳・知的)
- 専門の医療機関との連携です。世田谷の病院に通院しているが乳児の時には東京都という事で泊まれず日々通いだった。三鷹市でも、多くの障害を抱えている方はいると思う。年齢や内容、全て叶えることは厳しいと思うが、どんな病気を抱えているのか、申請しているためデータはあるはず。特にレアなケースの場合は、かかりつけの医療機関からの情報やコーディネーターを呼び相談できる場が理想。移植の会はあるが専門病院でありそこで同じ境遇の家族からの情報を得ている状況です。市役所に向いた際、保育園に入る時の話で、窓口の方もかなり戸惑っていたことを思い出しました。現在小学生になり生活は当たり前になっていますが、当時は何が正しいのか病院からの情報のみでしたし、ドナーとなり私自身仕事を休み傷病手当を使いましたが、まともな生活ができるまでに回復するまでが、金銭的にも苦労しました。保険もかけてましたが、ドナーの保証はありませんでした。子供のオペ代治療費は制度で保障されましたが、私の入院代は支払いしなければならぬ。市でサポートがあればかなり救われたと思います。子が死ぬのではないかと悩み、オペ後の自分が前の様に仕事ができず収入が減り。支払うものは当たり前で9年前が1番不安でありませんでした。理想は、それぞれのピンポイントな専門の相談窓口が必要かと考えます。(6~11歳・身体、難病)
- ①三鷹市に幼児に特化したクルミさんがある事は良いと思うが、卒園後小中高は中~重度の子供は地域から離断されて他市に通う。身近に障害者が居ない健常者が偏見を持つので、障害があっても普通小、支援級に追加をして教育を三鷹市で受けられるようにすべき ②副籍は9年間利用したが年に1,2回の交流ではお客様にしか成れずもっと回数を増やすなり、普通小から特支への訪問を特に三鷹市は他市に比べて全く訪問しないので、もっと訪問して健常な子供たちの障害児者教育の理解を助けるべき! ③他市の特支へ行ったらおしまいではなく、幼児~小中高~成人へ一貫して繋がる地域での生きる(活きる)福祉政策をするべき ④福祉訪問員は気軽に身近に頼める人が居ないので、市で養成した方を紹介する形にして欲しい ⑤日中一時や短期入所の施設が少なく満員で他市まで行って利用しているのでも増やして欲しいのと、グループホームを増やして地域で将来暮らせるようにして欲しい ⑥自立支援や生活スキルを学び続ける場が必要、高卒後に学べる場を造る、就労する場を増やす、多様な余暇を過ごせる場を設ける ⑦子供の生末について相談し、いざという時に託せる機関や支援施設等具体的な連携が日常的に欲しい ⑧成人の方々にも意見があると思うので、本人が難しくても家族や兄弟が答えられるように広くアンケートを実施して意見の聞き取りをして欲しい (12~17歳・知的)
- 調布支援学校でスクールバスを利用していますが、今年度初めて、地域からのクレームのためバス停を移動せざるを得なかったことをご存じでしょうか。中学部までは、義務教育です。クレームが直接支援学校にはいったのかとは思いますが、市内の児童の学区域に関することには三鷹市として地域と間に合っていない対応はほしかったです。また、4年後の建て替えの際の仮校舎が稲城市とのこと。三鷹から稲城市に通わせることになる親の不便を知ってほしいです。三鷹市では「小中一貫教育」9年間切れ目のない教育支援をうたっているのに、小学校で支援学級に在籍していたらそのまま中学の支援級に行けるのかと思いきや、中学の教員から「ここ(三中)では、息子に相応しい対応ができず、力を発揮できない」と言われて支援学校へ進学しました。それでも親が希望すれば三中に通えたのだとは思いますが、そのように言われて断念しました。教員個人のスキルなのか、学校の考えなのか、三鷹市の方針なのかかわかりませんが、地域から放り出された感、いつまでも消えません。障がいのある子どもでも、地域で教育が受けられる環境をのぞみます。卒業後、まずは自宅から作業所に通うことを希望しますが、牟礼地区から通える作業所は少なく、いずれ考えているグループホームも少ないです。きょうだいは、学区域の小中学校で楽しく、しっかりと教育を受けて高校大学と進学しています。障がいがあっても地域で暮らしていきたいと願う家庭は多いです。安心して暮らしていける三鷹市であってほしいと願います。(12~17歳・知的)
- 発達障害があるのに療育につながれず、困っています。居場所型の大人数のデイなら入れますが、そういうところは療育らしいことはしてくれません。何よりも本人が集団を拒否するため、ノー支援の状態です。児発のときは個別指導の教室がたくさんあってよかったのですが、加算の問題でデイは経営が厳しいと聞きました。また、通級も原則2年で出されると聞いており、心が落ち着きません。特別支援は魔法ではないので、2年受けたらその後も問題なく過ごせるようになることは考えにくいです。継続した支援が必須です。また、三鷹市に固定の支援級がないことは、インクルーシブという名の怠慢だと思います。支援級も選べたうえで、普通級で配慮を受けながら過ごすこともできるという二択であって初めてインクルーシブです。知的な遅れがないから、他に行く場所がなく、無理やり普通級でみんなと足並み揃えて頑張ると、オーバーヒートして不登校になるしか道がありません。先生がどんなに手を尽くしてくださっても学校に適應できず、療育も受けられず、通級も出されそうで、本当に苦しいです。ただ、市の子ども家庭支援センターにはいつも大変お世話になっています。ピンチのときに時間外でも緊急の対応をしてくださったこともあり、命が救われたと言っても過言ではありません。センターの職員の皆様には頭が上がりません。私がこれからも三鷹市で子育てをしたいと思っている理由はこれに尽きます。ソフト面の対応はとて素晴らしいので、教育の大きな枠組みをぜひ変えてください。あと、フリースクールの誘致を是非してほしいです。(6~11歳・精神)
- 都立支援学校のスクールバス停となる歩道にベンチなどを置いてほしい。管轄が都なのか市なのかよくわからないが、協議してもらって可能にしてほしい。疲れやすく、立って待つことが難しい子どもも多く、やむなく歩道に座り込んだりしていると、奇異の目で見られます。復籍交流の連絡協議会のようなものに、狛江市、調布市の担当者が出席しているのに、三鷹市欠席のことを事後報告から知った。代理を立てるなどして協議会などには参加していただきたい。障がい者理解より深い教育現場にしてほしい。障害のある者が、健常者のコミュニティに入れてもらうのではなく、障害者のコミュニティも見て学んで知っておいてほしい。知らないから差別も生まれるし、発展的な考えが育ちにくいように思う。特別支援学校を見に行くなど。放課後等デイサービスも急速に増えている気がするけれども、質が保たれるのか心配がある。たとえば開所後も行政が評価する仕組み、認定制度などを設けてもらえたら安心

して利用できる。判断力のない子どもを赤の他人に預けるのは本当に勇気がいる。たとえば実際に近隣の市で利用している施設などはコロナ給付金の不正受給で行政から公表されているような異業種の方が放デイに参入してきていた。事業所開所までに審査のようなものはあるかもしれませんが、本当に心配。また、今後は多様な国籍の多様な働き手が用いられるように思われるが、とくに資格を問わないようなアルバイトなどに、たとえば言葉も十分に解しないような方が労働力として採用されたりしないか気がかりである。正職員以外でも、適切な人材が供給されるような仕組みを考えてほしい。知的障害者は自分では困った状況を切り抜けられないので、相手がどのような人かによって命の安全まで預けることになってしまうのが現実。(6~11歳・知的)

■施設・居場所

- ・グループホームや入所施設を増やしてほしい(12~17歳・知的)
- ・知的障がいの人に向けての、B型通所施設や特例子会社を増やしてほしい。グループホームが少ないので増やしてほしい(12~17歳・知的)
- ・学校卒業後、就労すると帰宅が15:00や16:00なので、17:00や18:00迄の居場所(サークル、運動など)障がい者が参加できる余暇活動が増えるとありがたいです。(12~17歳・知的)
- ・グループホームや障がい者就労施設などを信頼のおける民間企業と共同で行なってほしい。自分が高齢者になった時子どもとなるべく近くで暮らせるように共同施設があってほしい。(12~17歳・知的,難病)
- ・料理や登山など、グループで交流しながら参加できるイベントがあればいいですね。三鷹市SUBARUで、障害のある子どもたちも参加できる運動体験レッスンがもっと増えるといいですね。(6~11歳・知的)
- ・ガソリン代の補助、対象世帯の拡張。週3回の療育施設通所で車を頻繁に使っています。現状補助はありませんが、家計に負担がかかる費用である為、補助金交付の対象世帯を増やしていただきたいです。(0~5歳・身体)
- ・おむつ代の助成。・愛の手帳2度の障がい者に対して、ガソリン代助成に加えてタクシー券も選べる様にしてほしい。・行動障害者向けの短期入所施設の増設。・行動援護事業者、ヘルパー不足の解消。(12~17歳・知的)
- ・親がいなくなった後、子供がどうなるのかが心配です。兄弟児に大きな負担をかけるわけにもいかず、信用できるような、責任をもって子供のめんどうを見てくれるような施設、仕組みがあるとよいです。(6~11歳・知的)
- ・仕事はもちろん介護している親の休養の為にも、ショートステイ出来る設備整った施設を希望します。重度の知的障害者は受け入れ先が本当でないのだなと実感していて疲労とともに生きる力も失われていきます。(6~11歳・知的)
- ・現在高等部2年の知的障害児の親として、三鷹市に・市内公共施設(井の頭公園等、徒歩で通える地元)での知的障がい者雇用創設・B型事業者の設置運営・女性特化のグループホームの設置運営を希望します。(12~17歳・身体,知的)
- ・障がい者やその保護者が交流できる場の拡大。良質な療育施設増やす(療育施設のレベル確認や観察)費用負担の軽減(収入による制限や上限管理の撤廃)障がい者への補助金の充実障がい者の将来への不安を軽減できるような制度(6~11歳・知的)
- ・個別の放デイを作ってほしい。去年の終わりごろに、不登校の小中学生向けメタバース校を三市合同で取り組んでいたものに参加したが、日中の居場所ができ、先生たちもとてもよかった。またお願いしたい。子供も毎日参加するのを楽しみにしていました。(6~11歳・精神)
- ・三鷹は色々遅れていると思います。世間の意識を変えるのは簡単なことではないのでそこは地道に。あとは障害者、障害児が利用する施設を作るべきです。放デイも少なく、就労も全然なく、グループホームなども全然ありません。あと、就労すると終わる時間が早いので家に帰宅するのが早くなります、学校のときは学校→放デイなので仕事もできていますが(長期休みは調整しています)高校卒業したらどうしようか今から悩みます。(6~11歳・知的)
- ・1 ショートステイの申込みについて 現在の本件の申込みは、2か月前の平日初め 8時30分~9時00分間の電話受付で行われています。制限時間内、限られた回線数で、更に先着順になっています。結果として、申込み制限ができています。せめて、ネット申込みと、選考結果を抽選にするなどの仕組みにして、申込みの機会をいただきたいと思えます。ご検討ください。2 ショートステイの等級ショートステイ「みずき」は三鷹市では身体障害手帳1級、2級で受け入れられています。当方では身体障害手帳4級ですが、障がいの程度は均等ではないので、施設の受け入れには、緩和措置などを設けて、より柔軟な対応を検討いただきたいと思えます。以上、よろしく願います。(12~17歳・身体,知的)

■移動・交通

- ・都バス、都営地下鉄など無料で利用できるが、三鷹市内に都バスが走っていないため、バスを無料で利用する事ができず、同じ都民でも生活圏で差があるため、小田急バスも市の補助で手帳のある人は無料で利用できるようにしてほしい。(12~17歳・精神)

■就労・雇用

- ・学校を卒業したあとの、職場の整備。仕事後のケア(現在は放課後デイ)居宅介護などを充実させてほしい。(12~17歳・知的)
- ・就労する場所を充実させてほしいです。また、成人後自立して安心して過ごせるようなシステムを作って頂けたら親や家族ももっと安心して自分たちの人生も充実させられると思うので宜しくお願い致します。(12~17歳・知的)
- ・市での療育は未就学児までがほとんどですが、高校卒業までいろいろなトレーニングをした方がいいと思えます。ぜひ療育の範囲を広げて欲しいです。例えば作業療法ビジョントレーニング言語トレーニングコミュニケーショントレーニングなど就労にも繋がっていくようなものがあると嬉しいです。(12~17歳・知的)

B 障がい児調査 12. ご意見・ご要望等について

- ・障害のある、なしに関わらず一人一人の個人及び個性を尊重して日常生活を送れるような全体の雰囲気、また文化が根付くことを希望します。また、障害者の就労について、市、国、民間企業に十分な間口を確保でき、個人に合わせた働き方ができるようなより一層の制度作りに取り組んで頂けるとありがたいと考えます。(12~17歳・身体、知的)
- ・いつか親が亡くなっても、一人暮らしが出来る位の給与を障害のある人達もしっかりもらえる仕事求人を増やしてほしいです。どんなに頑張っても手元に残るお金が10万足らずでは、自立したくとも生活すらままなりません。軽度の子達は障害年金もたいしてもらえず、給料も最低限しかもらえず賞与もほぼなく苦しい生活を強いられます。(12~17歳・知的)
- ・就学前のサポートがほぼなく、つらかったです。保育園はフルで働いていないと入れない上に、枠自体が少なく仕事をあきらめ、くるみ幼稚園をすすめられました。説明会で方針にしたがえない者、他の家族がなどと言いついて言う通りに出来ない者は入園しないでほしいと説明があり、入れませんでした。民間の幼稚園に入りましたが、OTやSTなど受けられず、進学先で始めてからは手先が器用になったり話しも上手くなり、もっと早く始めたかったです。市内で受けられるようにしていただきたいです。就学前の一番孤独な時期に、サポートしてもらえるようになる事を願っています。(12~17歳・知的)

■理解促進・啓発

- ・合理的配慮のある教育です(6~11歳・身体)
- ・健常者の人達と交われる機会がもっと増え、共存の理解が深まる機会が増えることを希望します。(12~17歳・知的)
- ・◎ケア者向けの勉強会。各種の手続き、今後の見通しなど知っておくべき事への情報提供。Zoomなどでもできるとよい。◎健常者への勉強会。理解と知識をつけて頂きたい。(6~11歳・精神)
- ・障害のある子どもとその家族のために市の体育館または児童館等の一室で少人数で遊べる空間を作りたいです。人の多い公園やイベントには障害ゆえにルールや順番が守れないことが理解されず周囲から疎ましく思われて付き添う保護者は精神的に疲弊します。自宅にこもりがちになると親子共にストレスが溜まってしまい子どもの睡眠サイクルが崩れて夜中に起きてしまうことが多くなり、それに毎晩対応していると保護者の負担が増え、生活が荒れていきます。(6~11歳・知的)
- ・障がい者がいる家庭が全て「やってほしい」「取り組んでほしい」と他人任せ、行政任せにしようとしている訳ではありません。ほとんどの人たちが「自分たちでなんとかしなきゃ」と思っていると思います。一番に望むとしたら、障がい者本人や家族に対する理解です。障がいを持つことは本人が望んだ訳でも家族が望んだ訳でもありません。みなさんはたまたま健常者だけです。どうしようもないハンデを背負いながら、本人と家族が日々奮闘しながら日常生活を何とか送っていること、少し知っていただけるとありがたいと思います。(なかなか、身近に障がいを持つ方がいないと想像することが難しいことは重々承知しております)(0~5歳・知的)

■医療体制

- ・専門性の高い病院にかかる時は三鷹市外になることが多く、医療費を一次負担しなければならない。(12~17歳・身体)

■その他

- ・働く場を増やしてほしい(12~17歳・知的)
- ・グループホームの増設B型作業所の増設(12~17歳・知的)
- ・障がい児が危険のないよう遊べる公園を増やしてほしい。(6~11歳・知的)
- ・どのようなサポートがあるのかをもっと発信してほしい。(6~11歳・身体、知的、難病)
- ・他の市や区同様、IQによらず、通級利用できるようにしてほしい。(12~17歳・知的)
- ・期待しています。よろしく願います。三鷹市でも緑ヘルプマークの作成をお願いします。(6~11歳・精神)
- ・親にがんばらせない仕組みを作ってください。このままだと親が潰れてしまいそうです。(6~11歳・知的、難病)
- ・車イスをそのままのせられる(車イスに座ったまま)タクシー(オンデマンド)が使えると外出時に助かります。(12~17歳・身体)
- ・将来グループホームを検討したいので見学会などを開催してほしい。既に開催している場合は周知をもっとしてほしい。(6~11歳・知的)
- ・金銭的負担が少し大きい。バギーや車椅子など、成長期なのですぐに合わなくなるのに、調整では間に合わないときもある。(6~11歳・身体)
- ・障がいのある子とその家族が安心して参加できるイベントを充実してほしい。また、その情報の発信をライン等活用して行ってほしい。(0~5歳・知的)
- ・障害児向けのイベントを増やして欲しいです。特に身体の子が参加できるイベントがほぼないので地域に対する愛着が湧きづらいです。(6~11歳・身体)
- ・学校や市全体で差別の少ない、障害者が困らない、嫌な思いをしない、住みやすい町にしてほしいです。グループホームや活動の場を増やしてほしいです。(6~11歳・知的)
- ・やりたい事はあるのですが、気軽に参加できる場所(ぜったいこうしないといけないとか、がんばらないといけない等がなく)を見つけられると、生きやすくなると思います。(12~17歳・知的)

-
- 要望ではありませんが、保育園のケアプラス制度があり、とてもありがたく思っています。市の方の循環サポートなどもあり、園とも連携を取っていただいたりと、この時期だからこそ、普通の子と一緒に過ごして欲しいという思いが叶い嬉しく、感謝しています。ありがとうございます。（0～5歳・身体）
 - 三鷹市での障がい者への取り組みに心より感謝申し上げます。子どもに障がいがあるとわかった時の絶望感は今でも覚えています。これまで多くの方々に支えていただき今日があります。生活訓練など自立に向けて学べる場を三鷹市で作っていただきたいです。調布、府中はあるとききました。三鷹市がこれからも障がい者に優しい街、安心して暮らせる街であることを願っています。いつも本当にありがとうございます。（12～17歳・身体,知的）
-

